

令和3年度沖縄振興特別推進市町村交付金事業計画
成果目標

令和4年2月25日

那覇市	1	嘉手納町	88
宜野湾市	13	北谷町	92
石垣市	21	北中城村	96
浦添市	27	中城村	100
名護市	33	西原町	104
糸満市	39	与那原町	108
沖縄市	42	南風原町	111
豊見城市	49	渡嘉敷村	118
うるま市	52	座間味村	123
宮古島市	59	粟国村	123
南城市	63	渡名喜村	126
国頭村	66	南大東村	127
大宜味村	67	北大東村	129
東村	69	伊平屋村	132
今帰仁村	70	伊是名村	136
本部町	73	久米島町	139
恩納村	74	八重瀬町	143
宜野座村	75	多良間村	148
金武町	78	竹富町	151
伊江村	81	与那国町	154
読谷村	85		

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	1	観光案内所外国人対応スタッフ配置事業	H25 ～ R3	・外国人観光客への利便性確保を図るため、外国語対応可能なスタッフを配置している観光案内所の運営を支援する。	・英語、中国語、韓国語での観光案内の実施に必要なスタッフ(常勤7名)配置等に係る経費を支援する。 ・アンケートの実施等により利用者の満足度及びニーズを把握し、サービスの更なる充実に努め、本市の観光イメージのアップ及び観光誘客を図る。	・外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(満足度80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・案内所を利用する外国観光客の多様化するニーズに対応できるよう、アンケート調査を継続して実施し、アンケート結果の内容からニーズの把握を分析し、今後のサービス向上に努める。	【R3成果目標の考え方】 ・事業の成果目標として、案内所を利用する外国人観光客へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたと回答した割合を80%以上とした。
1	2	めんそーれ観光充実事業	H28 ～ R3	観光地としてふさわしい景観等を確保するため、国際通りを中心に迷惑行為の指導、是正要請等を行う。	迷惑行為に対する指導及び、具体的手法の検討	「迷惑行為防止重点地区」における看板等の違法な設置に関する指導回数月平均370件以内	【今後のスケジュール】 今後も良好な観光地を保つため、巡回指導を続ける。また、関係団体との調整会議を行い、課題解決に向けて具体的手法の検討を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 R3年度は指導員数が減少するため、令和元年度の年平均指導回数を目標値とした。
1	3	バス停上屋整備事業	H24 ～ R3	観光客がバス停で強烈な日差しや風雨を避け快適に利用できるようにするため、バス停上屋を整備する。	バス停上屋の設置工事:2基(設置箇所:真嘉比、松山)	本事業により、整備を行ったバス停上屋について、観光客へのアンケート調査等を実施し、快適にバスを待てるようになったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 令和4年度以降も観光振興のため、整備を要するバス停箇所が残っていることから、必要な箇所の事業実施について検討する。	【R3成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客へのアンケート調査等を実施し、「快適にバスを待てるようになった」と回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
1	4	歴史散歩道整備事業	H24 ～ R3	観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散歩道を整備する。	歴史散歩道の整備:道路整備工事等(整備路線:識名繁多川線、外1路線)	本事業により、整備を行った歴史散歩道について、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 令和4年度以降も観光振興のため、整備を要する箇所が残っていることから、必要な箇所の事業実施について検討する。	【R3成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客へのアンケート調査を実施し、歴史を感じて歩くことができたと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
1	5	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	H24 ～ R3	観光客が快適に公園を利用することができるよう、公園の美化(植栽剪定等)および便所整備工事を行う。	観光客の利便性の確保を図るとともに、観光地としてふさわしい公園を創出することができるようにするため、公園の美化(剪定・植栽)等および便所整備工事を行う。 植栽剪定業務の実施 便所整備工事の実施	本事業について、観光客等へのアンケート調査等を実施し、観光地としてふさわしい公園美観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【R4成果目標】 本事業について、観光客等へのアンケート調査等を実施し、トイレが整備されたことにより利便性が確保されたか、観光地としてふさわしい公園美観であると感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としてふさわしい公園景観であると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	6	福州園再整備事業	H28 ～ R3	県内唯一の中国式庭園である福州園において、機能強化を行う。今年度は池大(欧治池)の整備に伴う土木工事、機械設備工事、電気設備工事を行う。	福州園再整備工事(3期)の実施	福州園再整備工事(3期)の完了	【R4成果目標】 整備工事完了後1年目の目標を以下のとおりとする。 利用者数:100,000人	【R4成果目標設定の考え方】 開園当初の平成5年度実績を参考値として、後年度効果が発現する成果目標(指標)に利用者数を設定した。 (参考)平成5年度実績 110,882人
1	7	リュウキュウマツ害虫対策事業	H24 ～ R3	リュウキュウマツの害虫による枯損被害を減少させるため、薬剤の樹幹注入を行う。	リュウキュウマツへの薬剤注入の実施	リュウキュウマツへの薬剤注入の完了	【R4成果目標】 予防達成率を90%以上とする。	【R4成果目標設定の考え方】 枯損木の目標値は過去の事業実績を基に、90%以上の予防を目標と設定した。
1	8	花いっぱい運動推進事業	H24 ～ R3	亜熱帯ならではの緑化景観を創出するため、市内の観光振興に資する路線沿線を対象に、市民等へ草花苗を配布し、花壇への植付等を行う。	・対象路線沿線の市民、自治会、学校関係、ボランティア団体等へ草花苗の配布数:約13,000鉢 ・公共花壇の年間管理:4箇所	本事業により、花壇への植付を行った路線について、観光客へ「観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じるか(80%以上)」を含めたアンケート調査を実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R4年度以降は市の一般財源を活用し継続して緑化推進を図ることで、観光振興に資する。	【R3成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、観光客等へのアンケート調査を実施し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じる人の割合を指標として設定した。大多数の観光客がふさわしいと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
1	9	那覇市三大祭り関連事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、那覇市の三大祭りである「那覇ハーリー」「那覇大綱挽」「琉球王朝祭り首里」の開催支援等を行う。	・「那覇大綱挽まつり」の綱保管など事業実施に係る支援 ・「琉球王朝祭り首里」の古式行列等を支援 ・「那覇ハーリー」広報	・「那覇ハーリー」中止 ・「那覇大綱挽」中止、綱保管のみの事業実施 ・「琉球王朝祭り首里」来場者数:48,600人(参考:平成30年度、令和元年度は中止)+H17:H18	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、「那覇ハーリー」「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」の開催の支援等を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	10	観光入込統計調査事業	H28 ～ R3	那覇市における国内観光客の旅行実態を把握し、その結果の活用を図る。	アンケート調査モニターに登録された中から、那覇市内に1泊以上宿泊した国内観光客(修学旅行生・県内在住者は除く)を対象に、WEB等を用いたアンケート調査による観光に関する調査を行う。アンケート結果から観光施策全般に対する分析を行い、本市の観光の実態を明らかにし、今後の観光振興に役立てるための観光統計資料として作成する。	・WEBアンケート調査等における回収件数600件以上。	【今後のスケジュール】 WEB等によるアンケート調査により、宿泊人数、平均泊数、消費額等について、過去の調査結果と比較するなど、また全国・沖縄県と比較することで今後の事業のあり方を検証する。 また、新たに行ったWEB調査等について検証する。	【R3成果目標設定の考え方】 アンケートの回収件数を確保することで、より正確な旅行者の実態等の内容の把握及び分析を行うことができると考え設定した。 これまでの郵送回収に代わる新たな調査方法を確立するため、初めてWEBを取り入れた調査等を実施する。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	R3事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
1	12	プロ野球キャンプ等支援事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季那覇キャンプ及びプロ野球公式戦を実施することで、観光誘客を図る。	・巨人主催試合を「那覇の日」協賛試合として「キャンプ地那覇」をPR活動を実施し、キャンプ誘客を図る。 ・雨天時に対応する屋外ブルペン用大型テントを設置する。 ・屋外ブルペン及びグラウンド等整備しキャンプ実施支援を行う。 ・奥武山野球場内に選手食堂を整備する。 ・陸上競技場、補助競技場をプロ野球キャンプ仕様に整備作業を行う。 ・来場者と選手の安全確保を行う。 ・公式戦開催に向け主催者の事業費を支援する。	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 84,000人 ・プロ野球公式戦 1試合入場者数:7,500人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、読売巨人軍春季那覇キャンプの誘致及びプロ野球公式戦への支援等を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 (見学者数)H31年度より1軍キャンプのみの実施となっており、従来の3軍キャンプの見学者を除いた数となる。 (入場者数)コロナ感染拡大防止の観点からスタンド収容人数の約50%を採用した。
1	13	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	H24 ～ R3	読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等を設置することにより、キャンプ会場を訪れる観光誘客を図る。	・キャンプ期間中ステージイベント等の実施 ・案内施設等の設置 ・運営(インフォメーションブース、受付ブース、選手ケータリングブース、警備員控室、マスコミ控室、スタッフ控室、ゴミ箱の設置、各種案内看板の設置、夜間警備) ・キャンプ休養日警備 ・広報活動の実施	・読売巨人軍那覇キャンプ延べ見学者数 84,000人	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント、案内看板等の設置を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 (見学者数)H31年度より1軍キャンプのみの実施となっており、従来の3軍キャンプの見学者を除いた数となる。
1	14	国際通りトランジットマイル推進事業	H24 ～ R3	観光客・地元客の誘客を図るため、那覇市国際通り商店街振興組合連合会が実施するトランジットモールの取組みを支援する。	那覇市国際通り商店街振興組合連合会のトランジットモール実施を支援 実施回数:35回 過去(下記の実績)の平均値で設定 【実績】 H24:35回 H28:34回 H25:37回 H29:36回 H26:35回 H30:35回 H27:36回 R1:33回	歩行者通行量1日:23,400人	【今後のスケジュール】 引き続き、トランジットモールの実施を支援するとともに、国際通りトランジットモールビジョンに基づき、通りの魅力を強化し、誘客につなげる。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	16	那覇まちまーい推進事業	H24 ～ R3	観光客の誘客を図るため、地元ガイドと那覇市内の観光地を巡る「那覇まちまーい」の支援を行う。	「那覇まちまーい」実施に要する費用の支援	参加者数 8,900人	【今後のスケジュール】 今後も(一社)那覇市観光協会が実施する「那覇まちまーい」に要する費用に対する支援を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を考慮し、設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	17	歴史博物館企画展事業	H24 ～ R3	地域の歴史・文化を学べる機会を増やすため、歴史博物館において、沖縄の歴史・文化に特化した企画展を開催する。	・企画展の開催(年3回) ・チラシ及びポスターの作製(年3回)	来館者数 9,150人 過去3年度企画展1回あたり3,050人 ×3回=9,150人	【今後のスケジュール】 令和3年 那覇・沖縄の歴史文化に関する企画展の開催	【R3成果目標設定の考え方】 {来館者数(H29+H30+R1)÷開催回数(H29+H30+R1)} =42,703人÷14回=3,050人
1	18	第一牧志公設市場再整備推進事業	H26 ～ R3	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場を再整備することにより、観光客の誘客を図る。 今年度は、仮設市場の賃貸借および必要な商業支援を実施する。	仮設市場賃貸借の実施 商業支援業務等の実施	仮設市場賃貸借の実施 商業支援業務等の完了	【R4成果目標】 供用開始後1年目(令和4年度)の目標を以下のとおりとする。 年間来訪者数目標256万人 【今後のスケジュール】 R3年度 仮設市場での営業、商業支援 R4年度 供用開始予定	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1	19	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	H24 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。	・観光プロモーション映像等の放映(毎日9:00～20:00) ・那覇大綱挽等のイベント中継(年8回以上)	視聴者測定システムによる集計数 令和元年度視聴者数に過去対年度比の平均値17.4%程度増の17,400人(月平均)	【今後のスケジュール】 大型ビジョンの多用途活用により中心市街地の魅力向上を図り、来街者の増加に継続的に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 これまでの実績値と増加率を基に目標値を設定した。
1	20	外国人観光客受入整備事業	H26 ～ R3	外国人観光客の受入体制の整備を図るため、那覇クルーズ促進連絡協議会の活動支援、市街地や周辺店舗・事業所へサポート要員の派遣、語学講座の実施等を行う。	・店舗へのサポート要員の派遣 ・語学講座の開催 ・クルーズ受入に係る事業に対する支援	外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も外国人観光客の受入体制の整備を図るため実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 外国人観光客にアンケートを実施し、受入体制について満足であるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。
1	21	マチグラー総案内所事業	H26 ～ R3	観光客の利便性の確保を図るため、中心商店街(マチグラー)に案内所を配置する。	案内所の運営 案内スタッフ 常時1名以上配置(開所時間9時～20時 年中無休 元旦を除く) 中心商店街(マチグラー)情報の発信 HP、SNS、情報誌制作等	案内所利用者数:18,032人 (R1年度実績 20,260人)	【今後のスケジュール】 引き続き、案内所を運営する。 案内スタッフの配置:常時1名以上 中心商店街(マチグラー)情報の発信	【R3年成果目標設定の考え方】 R1年度実績に平和通り通行量(平日)の対前年度比(伸び率)をかけて設定した。 <対前年比(伸び率) 89%>
1	22	観光イベント等映像発信事業	H24 ～ R3	市内観光地への観光誘客を促進するため、移動式車載大型ビジョンを活用して、観光客向けに那覇市の観光情報を発信する。	各イベントに移動式車載大型ビジョンを派遣して那覇市の観光情報を発信	・読売巨人軍那覇キャンプ、その他イベントへの派遣30回	【今後のスケジュール】 今後も観光誘客を図るため、各イベント会場での情報発信を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	1	市魚マグロ等水産物流通支援事業	H24 ～ R3	「那覇市の魚(市魚) マグロ」の消費促進を図るため、漁業組合等のイベントへ助成を行うとともに、民間企業及び組合等への業務委託をし、PR活動を実施する。	・イベント等開催:1回 ・イベント等開催支援:3回 ・水産教室等開催支援:3回	・市内世帯のマグロの年間支出金額の維持:5,469円以上 ・PRイベント来場者37,525人 ・学生等若者向けの水産教室等マグロPR事業の参加者:107人 ・アンケートを実施し、その結果「マグロが市魚であることを知っているか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に漁業組合等へ助成や企業及び組合等への業務委託を行うことで、マグロの消費促進を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ・アンケート調査を実施し、大多数が「マグロが市魚であること」の認知度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	漁船近代化機械設置推進事業	H24 ～ R3	漁業者数の維持を図るため、漁船の近代化機械等の整備を支援する。	漁船近代化機器等の設置経費への支援実施:10件	漁業者数 186名	【今後のスケジュール】 今後も継続的に漁船の近代化機械等の整備を支援することで、漁業者数の維持を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	1	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	H24 ～ R3	販路開拓の前段となる商談会への出展して、商談の機会を増やし、商談成約を図る。	・販路拡大支援:4件 (県外2件、海外2件)	商談成約率(商談成約件数/商談件数)が10%以上 セミナー参加者へのアンケート調査を実施し、「経営基盤強化に役立った」旨の回答割合を80%以上	【今後のスケジュール】 中小企業者支援の実施	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	2	那覇市長賞選定・販売促進支援事業	H24 ～ R3	那覇市長賞を受賞した商品、その他市内事業者の商品を知ってもらい、売上増加に繋げるため、様々な媒体を活用した情報発信等を行う。	・那覇市長賞商品の選定 ・那覇市長賞及び、那覇市長賞受賞商品のPR	・市長賞申込件数:17件以上 ・受賞商品の販売実績(金額)前年比10%増	【今後のスケジュール】 今後も市長賞商品の選定及びPRを展開する。	【令和3年成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 また、受賞商品の販売実績(金額)前年比10%増も成果目標とした。
3	4	市内企業経営基盤強化事業	H27 ～ R3	市内中小企業の経営基盤の強化を図るため、各種セミナーや企業の実情に合った制度導入のための専門家派遣を実施する。	経営課題解決に資するセミナーを14回開催 専門家派遣を20社×3回(計60回実施)	セミナーに参加した事業者や専門家派遣による支援を受けた事業者に対するアンケート調査等を実施し、「経営基盤の強化に役立った」旨の回答割合を80%以上	【今後のスケジュール】 今後も、市内事業者を対象としたセミナーの実施、企業の実情にあった制度導入のための専門家派遣を実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 事業者へのアンケート調査等を実施し、セミナーへの参加等により経営基盤の強化に役立ったと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	5	頑張るマチグワ - 支援事業	H25 ~ R3	観光客及び地元客の誘客を図るため、商店街等が行う事業を支援する。	【補助】 商店街振興組合等が取組む、中心商店街の活性化に向けた事業への支援(20件程度) 【通行量調査】 市内38地点で、歩行者通行量の調査を行う。	中心商店街の平日歩行者通行量 108,900人	【今後のスケジュール】 引き続き中心商店街で実施するハード整備、誘客活動等の事業支援を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 例年、過去2年間の伸び率の平均値を最新データ(R1年度)に乗じて目標値を設定しているが、前年度実績を下回る為R2年度当初の目標と同程度に設定。
3	6	なは産業支援センター育成支援事業	H28 ~ R3	なは産業支援センターに入居する企業及び市内関連企業等を対象にニーズを把握し企業経営に役立つ支援を行う。	対象となる事業者に対するニーズ調査及び支援。	対象となる事業者に対するアンケート調査等を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業の在り方について検討する。	【今後のスケジュール】 対象となる事業者に対するアンケート調査等によりニーズを把握した上で事業を実施し、実施後に支援を受けたことで、企業経営に役立ったか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業の在り方について精査する。	【R3成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、事業者へのアンケート調査を実施し、支援を受けたことで、企業経営に役立ったと回答した割合を80%以上とした。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
3	7	企業立地促進事業	H28 ~ R3	那覇市内の雇用拡大と産業の振興を目的とし、一定数・一定期間以上、那覇市民の新規常時(常用)雇用を行い、市内に事業所等を設置した企業の申請に対し、事業内容・雇用や産業振興への効果等を総合的に検討し、助成金を交付する。	・市民新規雇用支援 ・市内立地企業への支援	・新規常用雇用者数:25名 ・新規企業立地社(申請者):3社	【今後のスケジュール】 今後も、雇用の創出及び企業の立地促進を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	8	なはし創業・就職サポートセンター運営事業	H24 ~ R3	創業・就業の支援を図るため、創業・就職相談等を行う。	・創業・就職相談実施 ・創業・就職セミナー開催	相談窓口利用者1,800人 創業者5人以上 就職した人数の割合3.06%以上	【今後のスケジュール】 今後も創業・就職支援の体制づくりを図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績と那覇市創業支援事業計画を勘案して設定した。
3	9	新商品開発支援事業	H29 ~ R3	那覇市の観光・地域資源を活用した商品、サービスの販売や売上の促進を図るため、新たな特産品、土産品、サービスの企画・開発を支援する。	・支援対象事業者数:5社以上	各事業者が設定した目標(販売額等)を達成した商品数の件数が開発した商品等の全件数に絡める割合80%以上	【今後のスケジュール】 商品・サービスの販売・売上計画を立て、販売等を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 各事業者において、概ね達成したと考えられる値として設定した。
3	11	市内中小企業経営実態調査事業	R3	本市に立地する中小企業の経営実態について調査を行い、より適切な本市施策の展開に努める。	・市内中小企業へのアンケート調査(サンプリング調査) ・回答が合った事業者のうち、数社に対するヒアリング調査 ・まとめ、分析、事業提案等	・本市への事業提案 21件	【今後のスケジュール】 アンケート調査とヒアリング調査結果の分析・まとめ等により、市内中小企業の経営実態を把握し、本市に必要な事業立案に繋げる。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。(H29年度実績:21件) (平成29年度にソフト交付金事業として実施実績有り)

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	R3事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	12	那覇市IT人材育成支援事業	R3	県内のIT産業に資する人材の育成につなげることを目的に、次世代を担う市内小学生プログラミングコンテストを開催する。	・那覇市小学生プログラミングコンテストの参加者 20名以上	知識習得度や情報技術への興味関心や就業意識の向上(80%以上)など、アンケート調査を通じて事業の成果や今後のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も市域のIT関連産業の継続的な振興発展に向け、市民の情報通信技術に関する知識及び技術の向上に関する取組みを継続していく。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、概ね肯定的であるといえる数値を設定した。
3	13	市内事業者事業刷新支援事業	R3	市域の事業者が金融機関等と連携して策定した経営計画に基づき事業活動を継続するため新たな分野への業態変化や、新事業への転換などにかかる経費の一部を補助する。	事業の転換や業態変更にかかる経費の一部を補助	補助実績15事業者以上	【今後のスケジュール】 落ち込んだ経済状況にある中の事業者の事業領域を広げることを支援する補助であることから、補助実績数そのものを目標設定とする。	【R3成果目標設定の考え方】 補助の性質を勘案して目標設定した。成果指標に加えて、事業実施後にアンケート等で満足度調査を行い、事業の貢献度について別途把握に努めたい。
4	2	那覇港輸出貨物増大促進事業	H29 ~ R3	沖縄県は地理的要因などから輸送コストが割高となっているため、その解消策として、那覇港に寄港する船社を対象とした実証実験を実施し、取扱貨物量の増加及び航路の拡充を図る。	船社を対象とした実証実験及び検討業務委託の実施。	既存開設航路の維持 1航路 新規外航航路の開設 1航路	【今後のスケジュール】 引き続き新規航路開設のため、船社を対象とした実証実験を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 取扱貨物量の増加に資する新たな航路を開設する。
6	1	基礎学力向上のための学習支援事業	H24 ~ R3	小学校への学習支援員の配置及び申請のある小中学校への学習支援ボランティアの派遣により学力の向上を図る。	学習支援員配置:36名 学習ボランティア:54名	小学校算数(3年): +1.2ポイント 沖縄県学力定着状況調査の正答率の県平均との差 中学校数学(2年): +3.1ポイント 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差	【今後のスケジュール】 学校と教育委員会との連携を充実・強化し、きめ細かな教育環境の提供を図ることで、児童の積極性や学習意欲が向上し、基礎学力の向上を図る。また、学校教育に精通した退職教員を中心にボランティア確保に努め、学習に遅れのある児童生徒を個別に対応することによって、基礎学力の定着を図り、本人のやる気を導き出せる指導に取り組んでいく。	【R3成果目標設定の考え方】 小学校・中学校 沖縄県学力定着状況調査及び沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差を指標とする。 R3年度の成果目標は、指標の過去の実績値から0.1ポイント改善することとする。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考		
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		R3成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
6	2		英語指導員配置事業	H24 ～ R3	市内の小中学校に英語指導員を配置することにより、長期的な英語指導を行い、英語能力の向上を図る。話す・聞くといった言語活動を取り入れた英語指導を行い、児童生徒の英語を用いて簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合う力の育成・向上を図る。	・英語指導員の配置 小学校(外国人14人、日本人14人) 中学校(外国人10人)	小学校 英語に対する興味・関心が高まった児童割合80%以上(アンケート調査実施) 中学校 沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 中学校英語(2年): +3.4ポイント	【今後のスケジュール】 英語指導員を配置することにより、話す・聞くといった言語活動を多く取り入れた英語指導を行う。英語を用いて簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合う力の育成・向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 ・小学校 英語に対する興味・関心が高まった児童割合80%以上 ・中学校 英語について沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差を指標とする。 R3年度の成果目標は、指標の過去3年間の実績平均値から0.1ポイント改善することとする。	
6	3		特別支援教育充実事業(小・中学校)	H24 ～ R3	特別な支援を要する児童生徒へ、教育相談員の派遣や特別支援教育補助員の配置を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図るための支援を行う。	・特別支援教育補助員配置:小中学校88人 ・学校の要請による特別支援教育相談員の派遣・教育相談・検査・面談等の実施	特別支援教育補助員の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育相談員や特別支援教育補助員を配置し、支援を要する児童生徒への継続した支援を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。また、アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	
6	4		特別支援教育充実事業(認定こども園)	H24 ～ R3	特別な支援を要する園児に対応した支援等を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別な支援を要する園児の生活面や安全面の援助を行うとともに、特別支援担当教諭(主任ヘルパー)による個別支援計画の作成、関係機関との連携等、個々に応じたきめ細かな教育を実施することにより、インクルーシブ教育を拡充する。 特別支援担当教諭(主任ヘルパー)を各園に1名配置するとともに、支援ヘルパーを支援を要する園児数に応じて適切な人数を各園へ配置する(配置目途数) 6H勤務ヘルパー 41人 4H勤務ヘルパー 34人 対象園児の保護者やヘルパー、学級担任等の相談依頼に応じて臨床心理士等による巡回相談を行う。 (派遣目途数) 19園×2回	特別支援教育のヘルパー対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる園児の保護者へのアンケート調査により、事業の成果を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に実施し、特別支援教育の拡充を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	5	学力向上に向けた調査研究事業	H25 ～ R3	授業の改善に資するため、学力調査を小学校で実施し、その結果を分析して、教師が指導するに当たっての資料を提供する。	小学校第4学年の、全国での位置づけが判る学力調査の実施により、実態や課題を把握し、結果概要を作成し学力向上の推進を図る。	調査結果を踏まえて、指導方法等、授業の改善に役立ったか(80%以上)を含め、教師へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 那覇市内全36小学校での学力向上を目指し、また定着を確認するため令和3年度まで毎年実施予定。	【R3成果目標設定の考え方】 成果目標としては、大多数が授業の改善に役立ったと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
6	6	不登校対策等支援事業	H24 ～ R3	不登校など課題のある児童生徒に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。	心理士等の配置数:9人 きら星学級支援員の配置数:9人 # 事務員の配置数:1人 学習支援員の配置数:3人	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 32%以上 中学校 51%以上	【今後のスケジュール】 不登校児童生徒等の教育相談全般に継続的支援を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 那覇市における平成30年度から令和元年度にかけての登校復帰率は、小学校については上昇傾向にあるが、中学校においては下降傾向にある。また新型コロナウイルスにおける小中学生の学校生活への影響も非常に大きく、令和元年度実績と同等程度と設定した。
6	7	教育相談支援員・生徒サポーター配置事業	H24 ～ R3	学校内の相談室等において不登校傾向にある児童生徒の相談・支援等を行うことで、不登校の改善を図る。	教育相談支援員の配置率(数) 小学校:100%(36校:36人) 中学校:100%(17校:17人) 生徒サポーターの配置率(数) 中学校:100%(17校×2人)	不登校児童生徒の登校復帰率 小学校 32%以上 中学校 51%以上	【今後のスケジュール】 学校内の相談室において不登校傾向にある児童生徒の支援を継続的に行い、学校等の連携を深める。	【R3成果目標設定の考え方】 那覇市における平成30年度から令和元年度にかけての登校復帰率は、小学校については上昇傾向にあるが、中学校においては下降傾向にある。また新型コロナウイルスにおける小中学生の学校生活への影響も非常に大きく、令和元年度実績と同等程度と設定した。
6	9	街頭指導(がいとうPolaris)事業	H24 ～ R3	青少年の非行の未然防止と早期発見・早期対応のため、専任指導員を学校外に配置し、巡回指導等を行う。	専任指導員の配置数:6人 青少年指導員の配置数:17中学校区に各5人程度	19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合 1.5%	【今後のスケジュール】 今後も継続的に巡回指導を行い、問題行動の把握と青少年の非行の早期発見及び早期対応を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 那覇市の19歳以下の青少年の深夜徘徊補導割合は年々減少傾向にあるが、令和3年度に新型コロナウイルスが収束した場合、経済活動の活発化における外出者の増加等も想定し、令和元年度実績値の同等程度を目標と設定。
6	10	児童のスポーツ県外派遣補助金	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の県外大会派遣支援	児童生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、沖縄の振興に資する人材育成のため、学校教育以外のスポーツ活動で、市・県を代表して派遣される児童生徒に対する支援を継続する。	【R3成果目標設定の考え方】 保護者へ児童生徒の変化の状況を聞き取ることで検証を行う。80%の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	11	児童・生徒の県外派遣旅費補助金(大会派遣)	H24 ~ R3	児童生徒の県外大会派遣支援を行い、島外の人との競争や交流の機会を増やすことで、児童生徒に広い視野を持たせる。 ○航空運賃実費額の1/2補助	児童生徒の県外大会派遣支援	児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答(80%以上)を含め、派遣された児童・生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の県外派遣の補助を継続的に、費用の一部を助成することにより、大会への積極的な参加を促す。	【R3成果目標設定の考え方】 保護者へ児童生徒の変化の状況を聞き取ることで検証を行う。80%の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。アンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。
6	12	自然教室実施事業	H24~ R3	児童の豊かな社会性を育むため、自然体験活動を実施する。	自然体験学習実施学校数:小学校:36校(5年生対象)	自然教室を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したと評価する学校の割合 90%以上	【今後のスケジュール】 自然体験活動実施児童数(累計) R3年度まで:26,858人	【R3成果目標設定の考え方】 学校からの実施報告書内でのアンケートにより、児童生徒の変化の状況を聞き取ることで検証を行う。90%の設定については、R01年度の結果をもとにその数値以上を目標とした。
6	13	学校施設老朽化抑制事業(塩害防止・長寿命化)	H24 ~ R3	小中学校校舎等の塩害を防止し長寿命化を図るため、校舎等外壁面の塗装対応を行う。	校舎等外壁の塗装:小学校2校 中学校2校	学校長及び教育委員会による点検を実施する。 ・外壁等の剥離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件	【今後のスケジュール】 令和3年度までに計画していた小中学校校舎等外壁面の塗装対応を完了し、令和4年度以降は、事業の効果(劣化の抑制状況)の確認のため、完了した校舎等の点検を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 事業の効果(劣化の抑制状況)を確認するため、学校長及び教育委員会による点検を実施し、事業を実施した建物に剥離や亀裂等生じないこと(0件)を成果目標とした。 過年度に実施した事業については、学校長による点検を実施する。
6	14	教育用ソフト購入事業	H27 ~ R3	教育環境の充実を図り、将来の沖縄振興に資する人材を育成するため、主要教科のデジタル教科書を市内小中学校に配布し、児童生徒の学習能力の向上を図る。	市内小学校における教育用ソフトの導入率:100% 国語・社会・数学・理科・英語	・沖縄県学力到達度調査の正答率の県平均との差 中学校2年 国語:+1.6ポイント 数学:+3.2ポイント 社会:+1.8ポイント 理科:+1.3ポイント 英語:+3.4ポイント	【今後のスケジュール】 R3事業終了後: 全国学力・学習状況調査において小中学校の平均正答率が、全国平均以上を維持する。	【R3成果目標設定の考え方】 ・R02の指標及び成果目標は全国学力調査の全国との差としていたが、成果目標検証時に調査結果の公表がされていないため、沖縄県学力到達度調査の県平均との差に変更した。
7	1	文化芸術ふれあい事業	H24 ~ R3	鑑賞する機会の少ない沖縄の伝統芸能に触れる機会を創出し、沖縄伝統芸能の普及継承を図るため、「地域文化芸能公演」を開催する。	地域文化芸能公演の開催	地域文化芸能公演への来場者 1,090名以上	【今後のスケジュール】 今後も沖縄伝統芸能に触れる機会の創出を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	2	新文化芸術発信拠点施設整備事業	H24 ～ R3	市民、県民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図るため、新文化芸術発信拠点施設を建設する。 本年度は、施設本体の建設工事等を実施する。	施設本体建設工事 一式 建設工事業務委託(監理) 一式 備品購入業務 一式	施設本体建設工事 4年目完了 建設工事業務委託(監理) 4年目完了 備品購入業務 完了	【R3成果目標】 年間利用者数 延べ10万人 【R4成果目標】 年間利用者数 延べ20万人 【今後のスケジュール】 R3 施設本体建設工事 完了 建設工事業務委託(監理)完了 備品購入業務 完了 開館	【R3成果目標設定の考え方】 施設規模や稼働日数等を想定し設定した。
7	3	市民文化支援事業	H24 ～ R3	那覇市の指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存継承を図る。	本市の市指定無形民俗文化財をはじめとした民俗芸能の保存、伝承、普及、後継者育成などに関わる事業に対し補助金を交付する。	市民文化支援事業の対象となる市内の民俗芸能団体数 12団体(約390名)	【今後のスケジュール】 本市の民俗芸能を保存継承するため、継続的に支援を実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 民俗芸能を保存継承するため、現状を維持することとし、民俗芸能団体数を指標として設定した。
8	1	認可外保育施設的环境整備事業	H24 ～ R3	認可外保育施設において、指導監督基準を維持継続し保育環境の向上を図るため、改修整備費の補助を行う。 また、施設の衛生環境の向上を図るため、認可外保育施設の害虫駆除を行う。	改修施設数 1施設 衛生消毒及び害虫駆除実施施設数 約50施設	保育従事者や保護者等を対象に、施設の改修等により保育環境の質の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に、施設の害虫駆除や改修等により保育環境の質の向上を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 成果目標としては、大多数の保育従事者や保護者が保育環境が向上したと考えられる数値として「80%以上」と設定した。
8	2	児童クラブ賃借料補助金	H24 ～ R3	児童クラブの運営を支援することにより、子供たちが安心・安全な環境で保育を受けることができるようになることで、育児の負担感の軽減を図る。	民間賃貸物件を賃借して活動している放課後児童クラブに対し、賃借料補助を行う。 対象放課後児童クラブ数:65クラブ	対象となる児童の保護者へのアンケートで、安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 賃借料補助を行うことで、公的施設で活動している児童クラブとの格差是正、保護者の負担軽減及び利用児童の増加を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8	4	ふれあいのまちづくり事業	H27 ～ R3	生活課題を抱える、障がい者や高齢者、生活困窮者等からの相談を受け、課題の解決に資するため、総合相談窓口を設置する。	専任相談員の配置:1名	対象となる相談者等へのアンケートで、相談したことにより課題の解決に役立ったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も生活課題を抱え、困っている人が気軽に相談でき、早期に支援が受けられるよう相談窓口の体制を継続的に強化する。	【R3成果目標設定の考え方】 生活課題を抱えた相談者が相談したことにより課題の解決に役立ったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

那覇市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		R3成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
8	5	ボランティア振興事業	H27 ～ R3	ボランティア活動を促すため、ボランティアを養成するとともに、ボランティア活動のコーディネート等を行う。	ボランティア支援員1名配置	ボランティア登録者数(新規)70人 ボランティアのマッチング件数280件	【今後のスケジュール】 ボランティア活動を促すため、今後もボランティア活動のコーディネートを継続的に実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 行政の福祉サービス等には該当しない生活課題を地域のボランティア等による相互扶助の構築が求められている。ボランティア事業を促進するため、ボランティア登録者数(新規)及びマッチング件数の値として設定した。	
11	1	救命講座普及啓発推進事業	H24 ～ R3	災害時等において市民及び観光客等の安全の確保を図るため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	・定期救命講習会の実施:28回(普通救命講習/12回、普通救命講習/8回、上級救命講習/4回、普及員講習/4回) ・出前救命講習会の実施:120回 ・応急手当の重要性及び救命講習に関するPR活動:10回 ・消防署見学における救命講習(入門コース):40回	応急手当講習受講者数:6,000人以上 救命講習会の受講者へアンケートを実施し、応急手当に自信がある、できると思うが(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も目標設定の講習会を継続的に開催し、市民の救命能力の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定 受講者のうち大多数が緊急時に応急手当を実施できると考えられる値として設定した。また、講習会実施後のアンケートにより検証する。	
12	1	地下壕対策事業	H24 ～ R3	沖縄戦時に使用され、その後も未対策のまま放置されている地下壕に起因する陥没・落盤等の危険性のある地下壕の埋め戻し対策を行う。	・地下壕対策工事(1箇所)の着手	・地下壕対策工事(1箇所)の完了	【R4成果目標】 対策を実施した地下壕での事故発生件数 0件	【R4成果目標の考え方】 危険性のある地下壕の対策工事を行うことで、陥没・落盤等の事故や、子供たちの地下壕への侵入による事故の防止に繋がると考え、設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	宜野湾市西海岸エリア活性化事業	R2 ~ R3	沖縄西海岸の中心に位置するアクセス性の高い立地を生かして、各種イベントを開催し、観光産業の振興を図る。	「琉球海炎祭」、「はごろも祭り」の開催を支援する。	・琉球海炎祭・・・来場者数1.6万人(うち県外8千人、海外2千人) ・はごろも祭り・・・来場者数16.5万人 カチャーシー大会参加者個人35人、25団体 ・海浜公園周辺宿泊施設宿泊者数3%増(H30年度実績:279,874人 目標:288,500人)	【R4成果目標】 ・琉球海炎祭:17,000人 ・はごろも祭り:173,000人 ・周辺宿泊施設宿泊者数:294,000人 【今後のスケジュール】 ・琉球海炎祭やはごろも祭り、産業祭り等を中心として、本市海浜公園エリアでのイベントの実施、開催支援、誘致等を促進していく。 ・年間を通して様々なイベントを実施することで、多くの観光客を誘致し、周辺宿泊施設の利用者数の増加を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 琉球海炎祭、はごろも祭り等各イベントの来場者数をR3年度比較で約5%増を目標とする。 ・琉球海炎祭:16,000人 17,000人 ・はごろも祭り:165,000人 173,000人 年間を通して様々なイベントを実施することで、多くの観光客を誘致し、周辺宿泊施設宿泊者数を増加を図る。 ・周辺宿泊施設宿泊者数H30年度比較で約5%増を目指す。 (H30年度実績:279,874人 目標:294,000人)	
1	企画展開催事業	H24 ~ R3	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	企画展を開催:2本	企画展1本あたりの平均入館者数:1,470人以上	【今後のスケジュール】 年間2本以上企画展を開催する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。 コロナの影響を考慮して前年度ベース。	
1	文化財説明板・標識設置事業	H24 ~ R3	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」を設置する。	指定・登録文化財に文化財説明板と標識を作成・設置する。 地域文化財案内板を自治会事務所等に設置する。	地域文化財案内板:5件 文化財標識・説明板設置件数:3件	【R4成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数 200人以上 【今後のスケジュール】 令和3年度で地域文化財案内板および文化財説明板の必要箇所が設置完了予定。 宜野湾間切誕生時からある地域に概ね設置完了することから、気軽に市内外の方々各市の自然・歴史・文化に対する知識と理解が深められる。	【R4成果目標設定の考え方】 類似の学習会(市文化課主催の文化財教室)等を参考に設定した。 【未設置の地域】 全域が基地内にある「安仁屋区」については、返還後に設置を検討した。	
1	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業	H25 ~ R3	プロ野球のキャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信する。	植樹する花の苗(10,000鉢)	来場者へのアンケート調査による満足度調査80%以上	【今後のスケジュール】 プロ野球キャンプ地としての魅力的な景観形成を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 大多数の来場者にとって魅力的な景観形成が図られていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業	H30～R3	海浜という立地を活かした公園としての魅力の向上及び誘客の促進を図るため、文化スポーツ施設を中心に宜野湾海浜公園及びその周辺施設の整備を実施する。	再編整備工事(倉庫・投球練習場)の実施	再編整備工事(倉庫・投球練習場)の完了	[R4成果目標] 施設利用者数 611,000人 【今後のスケジュール】 R3:再編整備工事	[R4成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。	
1	嘉数高台公園等施設整備事業	H30～R3	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性向上を図るため、公園施設の整備を実施する。	再編整備工事(2期)、(植栽)、広場側トイレ・東屋(4棟の内2棟)の実施	再編整備工事(2期)、(植栽)、広場側トイレ・東屋(4棟の内2棟)の完了	[R5成果目標] 戦跡等を活用した観光地としての利便性の向上が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R4:再編整備工事(3期・東屋)	[R5成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数が利便性の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	H30～R3	野球場施設の機能拡張整備を実施し、継続して合宿を受け入れる体制を確保する。	内野グラウンド機能拡張設計及び工事の実施	内野グラウンド機能拡張設計及び工事の完了	[R4成果目標] ・プロ野球キャンプ実施件数 1件 ・スポーツ合宿誘致件数 3件	[R4成果目標設定の考え方] 過去の実績を参考に設定した。	
1	博物館機能強化事業	H26～R3	観光振興及び生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である市立博物館の案内板充実など機能強化を実施する。	館内施設整備(企画展示室改修工事)	館内施設整備(企画展示室改修工事)の完了	【今後のスケジュール】 整備後(R4) ・年間利用者数 24,573人	[R4成果目標設定の考え方] 過去の実績を参考に設定 【実績】 H27:15,461人 H28:10,713人 H29:22,972人 【目標】 過去3年間の平均値(16,382人)を基準値とし、そこから1.5倍向上することを目指して目標値を設定。	
1	ぎのわん美ら海クリーン活動支援事業	R3	・市観光振興協会を中心としたダイビング、マリンスポーツ事業者等の組織体への補助金を支出し、活動を支援する。 ・サンゴの植樹、清掃活動を当てて海の環境を保全しながら、観光コンテンツの開発、観光プロモーションを行う。	ぎのわんマリンスポーツ協会の支援	・サンゴの植樹 ・海中の清掃活動 ・本市の海をPR	[R4成果目標] 観光客の誘客を図る。ダイビング観光客:200人(R4目標値) 【今後のスケジュール】 ・サンゴの植樹、清掃活動を継続して実施する。 ・本市の美ら海をPRし、観光コンテンツとして確立する。	[R4成果目標設定の考え方] ・ダイビング観光客の増: 107人(R2実績) 200人(R4目標値)	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	スクールソーシャルワーカー活用事業	H24～R3	スクールソーシャルワーカー等を配置し、学校及び関係機関と連携しながら不登校や問題行動の未然防止、早期対応、改善に取り組む。	小学校9校に各1名 中学校4校に各1名の計13名の学校配置と、センター内にコーディネーター4名及びアドバイザー1名を配置、学校と連携し寄り添い支援や関係機関につなぐ支援活動を実施	スクールソーシャルワーカー等の支援による不登校児童生徒学校復帰率（「学校復帰、学級復帰、未然防止」に占める「学校復帰」の割合）H29～R1までの直近3か年の平均値 26.9%	【今後のスケジュール】引き続きスクールソーシャルワーカーを配置し、学校や関係機関と連携し、児童生徒や保護者の支援に努める。	【R3成果目標設定の考え方】スクールソーシャルワーカー等の支援による不登校児童生徒学校復帰率について、H29～R1までの直近3か年の平均値で設定した。	
2	適応指導教室事業	H24～R3	不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究、相談を実施し、児童生徒の居場所づくりとして、宿泊・自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するなど不登校児童生徒の学校適応を促進する。	適応指導教室支援児童生徒数:8名	適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率:10%	【今後のスケジュール】他の適応指導教室との宿泊学習での交流や講師を招いての体験交流会等を行い、集団生活に適応するための意識向上やコミュニケーション能力向上を図るための支援を行う。	【R3成果目標設定の考え方】過去の実績の平均値(8%)を基準値とし、R2年度の児童生徒の実態をふまえたうえで設定した。	
2	児童生徒等相談事業	H24～R3	臨床心理士、青少年教育相談指導員を配置し、相談等支援をとおして、不登校等の課題の改善に取り組む。	臨床心理士2名と青少年教育相談指導員3名を配置 教育相談等を実施	はごろも学習センターに通所する児童生徒等のうち、主訴「不登校」とする児童生徒のうち、令和元年度並みに、学校への登校数が改善した件数 21件	【今後のスケジュール】配置された臨床心理士と青少年教育相談指導員が、スクールソーシャルワーカーと連携し困り感のある子どもの相談対応をし、問題行動の未然防止や適応指導教室との連携により不登校児童生徒の学校復帰につなげる。	【R3成果目標設定の考え方】相談受付件数と改善件数から過去3年平均での算出	
2	非行防止等巡回活動事業	H24～R3	青少年の健全育成に寄与するため、街頭指導員を配置して夜間街頭指導等を実施する。また、実施にあたっては、地域や学校、関係機関と連携し、各所から寄せられた情報を活かしつつ、季節に合わせて巡回時間を調整するなどの工夫を行い、巡回指導を強化することで、青少年の深夜はいかい、非行などの問題行動の未然防止、早期発見、事件・事故の抑止につなげる。	・4中校区から各4名の街頭指導員を計16名委嘱し、4グループを編成。4名1グループが週3回(平日21時～23時)(金・土曜日21時半～23時半)の公園を中心に巡回し夜間街頭指導等を実施。 ・現在公園を中心としたポイントに加え、繁華街や学校周辺などの必要箇所の巡回にも対応し、深夜はいかい等から不登校へと進む問題行動の未然防止に努める。	夜間街頭指導件数:495件	【今後のスケジュール】地域や学校からの情報を活かし、季節に見合う巡回指導を強化することで、青少年の深夜はいかい、非行防止や事件事故の抑止につなげる。	【R3成果目標設定の考え方】H30年度の指導件数が前年度比60%の大幅な増となっているため、H27～29年度の平均の減少率を設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
2		学習支援員活用事業	H24 ～ R3	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置し、個々の学力に応じた学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	小、中学校において学力の定着に遅れがちな児童生徒に対して、個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・小学校 算数：+2.0ポイント以上 ・中学校 数学：-6ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も、小、中学校において学力の定着に遅れがちな児童生徒に対して、個に応じた学習指導を行うことで、基礎的・基本的な知識技能の習得を図り、学習意欲を高め、学力の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		派遣費補助金交付事業	H24 ～ R3	児童生徒の文化及びスポーツ活動を奨励し、県外の人との競争や交流の機会を増やすため、学校教育の一環としての県外派遣を支援する。	県外へ派遣される団体への支援を実施 支援団体数：13団体 (スポーツ活動団体：9団体、文化活動団体：4団体)	対象児童生徒の保護者へのアンケートの結果「子どもの視野が広がったと思う」：80%以上	【今後のスケジュール】 R3の支援団体数見込は、13団体	【R3成果目標設定の考え方】 アンケート結果「視野が広がったと思う」80%は、大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。
2		スポーツ少年団派遣費補助事業	H25 ～ R3	スポーツ活動による児童生徒の健全育成及び県外の人との交流の機会を増やすため、一定の基準を満たすスポーツ少年団に加盟登録している団体又は個人の県外派遣を支援する。	県外へ派遣された団体等への支援を実施する。 支援団体数：65団体	対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続きスポーツ少年団等への支援を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。
2		特別支援教育支援員派遣事業	H28 ～ R3	宜野湾市立の幼小中学校における、特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援者として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員派遣 (幼稚園：10人、小学校47人、中学校20人)	特別支援教育支援員を宜野湾市立小中学校へ77名派遣する。特別支援教育支援員派遣事業に対する満足度について、アンケートを実施。 成果目標としては、大多数が満足していると考えられる数値として「95%以上」と設定。	【今後のスケジュール】 今後も宜野湾市市立の幼小中学校における、特別な配慮を要する幼児・児童・生徒の支援として特別支援教育支援員を派遣し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 満足度を検証するアンケートであるため、数値設定は、大部分が満足していると考えられる値を設定。

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	文化財保存整備事業	H24～R3	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるように、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行う。	本部御殿墓の保存整備工事を行う。	本部御殿墓の基本実施設計:1件	<p>【R4成果目標】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加人数 200人以上</p> <p>【今後のスケジュール】 重要な文化財を景観・安全に配慮した保存整備を行い、文化教育、観光振興につなげる。</p> <p>本部御殿墓 R3年度:工事完了 R4年度:公開</p>	【R4成果目標設定の考え方】 類似の学習会(市文化課主催の文化財教室)等を参考に設定した。	
3	歴史公文書等整理・活用事業	H24～R3	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し、今後の市民・利用者の資料要求に迅速に対応することを目的に、公文書の保存及びデータベースへの登録を行い、公開基準を基に順次公開を行う。	・歴史的価値を有する公文書等の整理 ・公開基準に基づいた公文書の順次公開	・アンケートを実施し、市の歴史や文化への理解が深まった方の割合が80%以上とする。	<p>【今後のスケジュール】 公文書と写真整理を継続して整理を完遂させ、公開できる簿冊等を増やすとともに、歴史公文書の順次公開をすすめていく。</p>	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が、市の歴史や文化への理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	平和市民啓発事業	H24～R3	<p>【平和大使育成事業】 戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを次代へ継承する人材を育成するため、市立中学生8名と青年層1名を平和大使に認定し、県内研修を行う。</p> <p>【平和祈念事業】 また、沖縄戦から76年余が経過する中で、改めて戦争の悲惨さ、平和の大切さ及び命の尊さを市民に啓発するため、平和大使を活用したイベントを実施する。</p>	<p>【平和大使育成事業】 県内研修及び県外研修に派遣する人数 ・市立中学生:8名、市内青年層:1名 ・フォローアップ研修:1回</p> <p>【平和祈念事業】 平和大使を活用した啓発イベント実施回 ・5回</p>	<p>本事業に参加した生徒や市民からアンケートを徴収し (1)「平和に対する理解が深まった。」 (2)「この事業で学んだことを誰かに伝えたいと思う。」と回答する割合:80%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 市立中学生8名及び市内青年層1名に平和大使に認定証を交付し、県内研修及び県外研修に派遣する。派遣後は、平和大使として市が実施する平和に関する事業に積極的に関わっていただき、市民に戦争の悲惨さや平和の大切を啓発していただく。また、その為のフォローアップ研修も行っていく。</p>	【R3成果目標設定の考え方】 啓発事業のため、どのように感じたのかだけでなく、アウトプットについてもアンケート項目に入れ、本事業の効果的な在り方について検証を行う。	
4	小学校英語教育課程特例校事業	H24～R3	外国人英語指導助手(ALT)及び日本人英語教師(JTE)を小学校に派遣し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	英語教育を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的に英語によるコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指し、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、英語によるコミュニケーション能力の素地を養うとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。	<p>小学1～4年生 英語による質問4項目に対する平均正答率 85%以上</p> <p>小学5～6年生 小学校児童英語検定において、全国と本市との平均正答率の差 +1.7ポイント以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 今後も英語によるコミュニケーション能力の素地を養うとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。</p>	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		外国人教師招致事業	H24 ～ R3	外国人英語指導助手(ALT)を中学校に派遣し、生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力(英語)の向上を図る。	本市では、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要な外国人との英語による実践的コミュニケーション能力の基礎を育むとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 ・中学校 英語: +1.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も英語による実践的コミュニケーション能力の基礎を育むとともに、学習に対する意欲を高め学力の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4		学校ICT活用指導支援事業	H24 ～ R3	ICT支援員4名を配置し、児童生徒がICTを活用することで興味、関心を高めるなどの教育効果を図ることができる授業の支援、教職員向けの校内研修(ICT活用研修)の実施、ICT機器整備に関する施策・事業計画の作成を行う。	ICT活用主任担当員1名、ICT活用補助員3名配置 情報夏期講習会13回 情報教育研究会検証授業4回	教員にアンケート調査を実施し、授業にICTを活用して指導できる割合を80%以上を目標とする。 ICT機器活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童生徒の割合80%以上	【今後のスケジュール】 教師用アンケート「授業にICTを活用して指導できる」割合を求め、積極的にICT機器を活用した授業の展開を促進させる。	【R3成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
4		ICT機器活用推進事業	H24 ～ R3	生徒の情報活用能力の育成環境を整備するため、中学校に指導者用デジタル教科書を整備する。	指導者用デジタル教科書:国語、社会、数学、理科、英語	教員にアンケート調査を実施し、授業にICT機器とデジタル教科書を活用して指導できる率:80%以上 生徒にアンケート調査を実施し、ICT機器とデジタル教科書の活用により、授業が分かりやすかったと答えた児童の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 教員を対象にした研修会を実施し、ICT機器とデジタル教科書を活用した情報教育授業を推進する。	【R3成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。
5		市民防災事業	H27 ～ R3	宜野湾市地域防災計画に基づき食糧、飲料水や自主防災組織の強化を行い、適切な被災者支援を行う。国土強靱化地域計画等を策定することにより、自然環境と共生しながら災害リスクを軽減する宜野湾市に適した減災地域社会を形成する。	保存食及び保存水の備蓄 ・R2年度備蓄食糧購入5,500食 ・R2年度保存水購入(500ml)1,104本 自主防災組織への資機材整備完了(7団体) 国土強靱化地域計画等の策定	保存食及び保存水の備蓄 ・R3年度備蓄食糧 備蓄率99% ・R3年度保存水 備蓄率10% 自主防災組織への資機材整備完了(23団体) 国土強靱化地域計画の策定完了	【R4成果目標】 毎年、整備した資機材を活用した避難訓練を年に3回以上は実施することを目標とする。	【R4成果目標設定の考え方】 補助金で購入した防災資機材を活用した避難訓練を実施・検証を年に3回(土砂災害・全国統一防災訓練、沖縄県広域地震・津波避難訓練、宜野湾市西海岸地区地震・津波避難訓練)行う。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
5		防災情報システム整備事業	H29 ～ R3	大規模災害時に備え、市内に高速無線LANネットワークを構築し、市役所と避難所間の連携や、沿岸監視カメラの設置などの総合的な防災情報システムの整備を行う。	防災情報システムの整備の実施	防災情報システムの構築・整備の完了	【R4成果目標】 毎年、整備した防災情報システムを活用した避難訓練を年に3回以上は実施することを目標とする。	【R4成果目標設定の考え方】 防災情報システムを活用した避難訓練を年3回(土砂災害・全国統一防災訓練、沖縄県広域地震・津波避難訓練、宜野湾市西海岸地区地震・津波避難訓練)実施・検証を行う。
6		普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)	H24 ～ R3	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を支援し、合意形成についての取り組みを行う。	市民向けの意向醸成イベント等・地権者向けの意見交換会の実施	市民向けの意向醸成イベント 来場者数:230人 地権者向けの意見交換会 参加者:80人	【今後のスケジュール】 今後も普天間飛行場の跡地利用計画の意向醸成・合意形成の推進を図るため、若手の会及びNBミーティングの活動を支援する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6		普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同調査)	H24 ～ R3	普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けて、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討及び市民・県民・地権者との合意形成、情報発信等を実施する。また、普天間飛行場跡地利用計画検討委員会を開催し、「第2回全体計画の中間取りまとめ」を作成する。	「第2回全体計画の中間とりまとめ」作成	「第2回全体計画の中間取りまとめ」の作成に向けた検討調査を行い調査内容報告書の作成	【R4成果目標】 跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【計画策定の進捗スケジュール】 R1 配置方針・配置方針図の更新 R2 「第2回全体計画の中間とりまとめ」作成へ向けた検討 R3 「第2回全体計画の中間とりまとめ」作成	【R4成果目標設定の考え方】 跡地利用の具体的な内容やスケジュール等が定まっていないため、計画策定後、アンケートにより本事業の在り方を検証する。 大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80%以上」と設定した。
7		被覆資材等導入推進補助事業	H27 ～ R3	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行う。	被覆資材等導入にかかる経費に対して支援し、導入面積率を上げる事で、安定的な農業生産活動を推進する。	被覆資材等を導入したことによる生産上昇率5%	【R4成果目標】 被覆資材等を導入したことによる生産上昇率5% 【今後のスケジュール】 台風等の気象災害や害虫による農作物被害を軽減する為、被覆資材等導入にかかる経費に対して支援し、導入面積率を上げる事で、安定的な農業生産活動を推進する。	【R4成果目標設定の考え方】 類似事業を参考に設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野湾市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8			地域キャリア教育支援事業	H30 ～ R3	地域の企業、学校、保護者等が連携した連携協議会を開催、子どもたちが抱える課題の共有、解決策の検討をし、市内小中学校で職業体験プログラムを実施することで、児童生徒の就業意識の向上を図る。	・宜野湾市みらいづくり連携協議会の開催(2回) ・市内小中学校全校での職業体験プログラムの実施 ・中学生の職場体験事業所の開拓支援 ・保護者向けキャリア教育講演会の拡大	就業意識の肯定的変化(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証を行う。	【今後のスケジュール】 地域ぐるみでの子どもたちのキャリア教育の取り組みが充実したものになるよう、連携協議会の活性化を図っていく。	【R3成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の意識に肯定的な変化が生じたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
9			市民会館機能強化事業	H30 ～ R3	建設から37年以上が経過し施設の老朽化が進んでいる現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図り、市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。	市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会や文化芸術活動を行う場の確保を図る。	舞台機構改修工事 車いす専用駐車場等整備工事	【R4成果目標】 ・施設利用者数:24,619人 ・年間公演回数:34回 【今後のスケジュール】 R4 空調設備改修【設計】 中央監視盤改修【設計】 防災盤改修【設計】	【R4成果目標設定の考え方】 【施設利用者数】 施設利用者数:24,619人 H30の利用者実績(月平均)×(7ヶ月開館期間)×(0.8) 理由 これまでは過去3年の平均を設定していた。R1年、2年と改修工事のため、年間通して開館していないこととコロナ禍を考慮し、0.8を調整率として計算 (公演回数) 施設の強化による利便性の向上により、イベント回数の増加が見込まれるため、後年度に公演回数等の数値を成果目標として設定する。 R3年度目標公演数:34回 H30の利用者実績(月平均)×(7ヶ月開館期間)×0.8調整率

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			観光地受入基盤強化事業	H24 ～ R3	観光客の満足度向上並びに誘致拡大、利便性確保を図るため、観光スポット等における受け入れ態勢の構築、観光案内サービスの実施、観光誘客イベントへの支援を行う。	(観光誘客) ・クルーズ船での来島客を対象とした案内所設置 ・石垣島天文台内の「星空学びの部屋」で案内業務等を実施 ・南の島の星まつりへの補助 ・とっばらーま大会への補助 (観光客の利便性向上) ・空港にて観光案内サービスを実施	(観光誘客) ・クルーズ船での来訪客数:18,930人以上 ・南の島の星まつりへの来場者数:9,000人以上 ・とっばらーま大会への来場者数:3,000人以上 (観光客の利便性向上) ・空港での観光案内によって利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する	【今後のスケジュール】 『石垣市観光基本計画』に基づき、観光まちづくりの課題解消と推進施策に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 観光需要の 字回復を目指し、過去(R1年度)の実績を勘案して設定した。
1			スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業	H24 ～ R3	本市で各種スポーツ合宿が開催されることによって島外から競技関係者及び観客等の誘客を図るため、プロスポーツキャンプ等の誘致及び受入環境の整備を行う。	・スポーツ合宿の誘致活動 ・プロ野球チーム等への営業活動 ・スポーツ合宿受入環境の整備 ・プロ野球キャンプ開催に係る案内、広報、警備業務	・プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数 8団体以上 ・プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に来場した観客数 23,500人以上	【今後のスケジュール】 運動施設の有効利用、スポーツツーリズムの情報提供や受入が継続できるよう来場者と選手に安全で快適な会場を提供する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			石垣市内文化財環境整備事業	H27 ～ R3	市民が市内にある文化財に触れる機会を確保するとともに、文化財を活用した観光誘客を図るため、指定文化財等の周辺環境を整備し、説明板を設置する。	・文化財説明版設置 5箇所	・文化財説明板設置完了	【R4成果目標】 地元のエコツーリズム協会が整備完了後の文化財を活用して行う史跡めぐりの実施(年12回以上開催) 【今後のスケジュール】 市内にある文化財について市民が学べる機会を増やすことができるよう文化財の周知や文化財の保護、利活用に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 月1回の開催を想定して設定した。
1			八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	H24 ～ R3	歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、博物館所蔵資料の修復及びデジタル化を行いそれらを展示に活用するとともに、研究に供する。	・所蔵資料の修復及び修復済資料のデジタル化	・新聞資料2点の修復及びデジタル化	【R4成果目標】 令和2年度に修復した資料を活用した企画展を開催し、観覧者数220人以上を目指す。 【今後のスケジュール】 所蔵資料のうち、状態の良くないものやレファレンスなどの優先度が高いものから年次的に修復・デジタル化を推進し、資料の保存管理を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 観光需要の 字回復を目指し、過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号 パ 細	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
					R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			旧空港跡地環境影響評価事業	H24 ～ R3	旧石垣空港跡地の有効利用を図るため、土地区画整理事業を実施するために必要な環境影響評価を実施する。	・評価書作成手続きの実施	・評価書手続きの完了(環境影響評価事業の完了)	【R4成果目標】 円滑な土地利用に向けた取組の実施 【今後のスケジュール】 旧石垣空港跡地にて約50haの新たな土地利用につなげる。	【R4成果目標設定の考え方】 土地区画整理事業の実施など、旧石垣空港跡地の円滑な有効利用に向けた取組の実施につなげることを目標とした。
2			観光施設及びキャンプ場誘客整備事業	H24 ～ R3	観光施設利用者の利便性を確保するため、便益施設の整備、機能強化を行う。	・平久保灯台駐車場整備工事の実施	・平久保灯台駐車場整備工事の完了	【R4成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。 【今後のスケジュール】 観光施設の更なる利便性向上に資する施策を継続して行う。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3			離島保育士確保総合対策事業	H28 ～ R3	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島内外からの保育士誘致や島内在住者の保育士資格取得支援等を行う。	・島外保育士の渡航費、転居費等の支援 ・潜在保育士の再就職の支援 ・保育士養成校への支援 ・保育士試験離島開催に係る本部長研修への参加	・保育施設の新規開設による受入可能園児数:136人以上	【今後のスケジュール】 待機児童解消に必要な保育士を確保する。	【R3成果目標設定の考え方】 開園を予定している保育園による受入可能園児数から設定した。
3			ひとり親家庭生活支援モデル事業	H30 ～ R3	ひとり親世帯の生活状況の改善を図るため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親世帯に対し、各家庭の状況に応じた支援を組み合わせて実施する。	・年間支援対象世帯数:5世帯	・支援開始1年後の自立した世帯の割合:65%以上	【今後のスケジュール】 自立に向けた意欲のあるひとり親家庭の支援を継続して行う。	【R3成果目標設定の考え方】 他自治体の過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			ものづくり、マーケティング総合支援事業	H24 ～ R3	<p>本市のものづくり産業に関する販路開拓を図るため、石垣空港からの海外輸出体制の構築、国内外でのPR販促活動を行う。 また、伝統工芸の担い手確保を図るため、技術者養成等を行う。</p>	<p>・関税空港活性化運用業務 石垣空港から海外へ物品を輸送するための体制構築(保税蔵置場の設置・運営、利活用促進) ・販路開拓業務 需要調査、特産品の営業活動 ・物産PRイベント業務 物産展等への出展 ・八重山上布技術者養成事業 八重山上布生産技術の伝承 ・粘土原材料確保業務 焼き物に適した粘土の確保、島内で生産した焼き物の販促</p>	<p>・特産品の保税輸出货量:1.6トン以上 ・PR催事(離島フェア)における出展ブース来場者数 延べ2,750人以上 ・八重山上布の研修終了者:15人以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 特産品やものづくりの更なる振興に資する施策を継続して行う。</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
3			石垣市就業支援事業	H30 ～ R3	<p>本市の将来を担う小中学生の職業観の醸成や就業意識の向上、起業精神の育成のため、職業体験イベント開催等のキャリア教育に取り組む。</p>	<p>・石垣市グッジョブ連携協議会による、小学生向けの職業体験イベントの開催や中学生向けのキャリア教育セミナープログラムの実施</p>	<p>・「わくわくワーク仕事体験会」来場者数:1,000名以上 ・島内の就業に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証</p>	<p>【今後のスケジュール】 島内での就業意欲が向上する施策を継続して行う。</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち大多数が島内就業の意欲が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
4			"石垣産の牛"生産推進事業	H24 ～ R3	<p>肉用牛の生産拡大を図るため、素牛及び肥育牛の増産及び売上増加に向けた支援並びに家畜伝染病対策を行う。</p>	<p>・優良母牛導入補助の実施 ・優良肥育素牛への補助実施 ・石垣牛宣伝活動への補助実施 ・殺虫剤購入費補助の実施 ・靴底消毒の実施(空港、離島ターミナル)</p>	<p>素牛の年間出荷頭数:7,191頭以上 素牛の平均販売額:710千円以上/頭 肥育牛の年間出荷頭数:834頭以上 肥育牛の年間売上高:1,022百万円以上 伝染病等にかかった頭数:0頭</p>	<p>【今後のスケジュール】 石垣産の牛の供給量の増加及び価値向上に向けた施策を継続して行う。</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
4			生鮮水産物流通条件不利性解消事業	H25 ～ R3	<p>本市に水揚げされた生鮮水産物の販路確保を図るため、石垣市から沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の輸送費を補助する。</p>	<p>・生鮮水産物の空路輸送(沖縄本島)に対する補助</p>	<p>・生鮮水産物の沖縄本島への出荷量:120トン以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 島内需要と島外出荷との需給バランスをみながら、沖縄本島への出荷量が更に増加するような支援を行う。</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
4			水産振興事業	H24 ～ R3	<p>沖縄ミーバイの生産量の増加を促進するため、沖縄ミーバイ種苗を沖縄本島の本部にある栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。</p>	<p>・沖縄ミーバイ種苗の輸送費支援(種苗輸送数38,500尾)</p>	<p>・沖縄ミーバイ種苗の輸送費支援完了</p>	<p>【R5成果目標】 沖縄ミーバイ出荷量:5,775尾以上 【今後のスケジュール】 ミーバイ生産量の増加に資する支援を継続して行う。</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 種苗購入予定数と出荷サイズに成長するまでの標準的な歩掛を勘案して設定した。</p>

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			児童・生徒派遣費助成事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。	・県内外大会等派遣児童生徒支援	・申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたとの回答割合80%以上	【今後のスケジュール】 児童・生徒が島外の人との競争や交流の機会を持てるような支援を継続して行う。	【R3成果目標設定の考え方】 派遣された児童生徒のうち大多数が島内ではできない経験をする事ができたと考えられる値として設定した。
5			平和推進事業	H24 ～ R3	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、平和について学ぶ機会をつくる。	・児童生徒を対象とした「平和を考える作文」「平和を考える絵画」コンクールの実施 ・慰霊祭、平和フォーラム等の開催	・平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、コンクールや催事に参加した児童生徒を対象としたアンケートにより本事業の在り方について検証する ・慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数 延べ740名以上	【今後のスケジュール】 市民が平和について学ぶ機会をつくる。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が平和に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 参加者数については、過去の実績を勘案して設定した。
5			石垣市発達支援システム事業	H28 ～ R3	発達の気になる子を早期に発見し、早期の支援につなげるため、心理専門職への相談業務委託、地域子育て相談員を配置し、乳幼児期から就労までライフステージに応じて、心理専門職、地域子育て相談員による発達相談等を実施する。	・心理専門職による発達に係る各種相談の実施 ・地域子育て相談員5人の確保	・乳幼児健診(1歳6か月児・3歳児)等において発達要フォロー児と判断された乳幼児について、1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合:15%以上 ・心理専門職等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方について検証	【今後のスケジュール】 発達の気になる子の早期発見・早期支援に向け、より多くの保護者が発達相談を受けられる体制の構築するとともに、支援を要する乳幼児や配慮が必要な児童生徒の支援体制の構築を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 1年以内に保護者が個別相談等の支援を受けた割合は、過去の実績を勘案して設定した。 育児・発達等に対する不安が軽減されたかについては、相談・支援を受けた児童生徒の保護者のうち大多数が育児・発達等に対する不安が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5			「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学校教育支援員の配置及び、学力先進地域より講師を招聘し教員を対象とした研修会を開催する。また、英語に対する興味・関心の向上を図るため、外国語学習支援員を派遣する。	・授業時並びに放課後学習支援(学校教育支援員配置数32名) ・外国語活動と英語指導支援(外国語学習支援員配置数:小学校4名、中学校2名) ・学力先進地域交流招聘実施(学力先進地域交流研修会:招聘2名)	・沖縄県到達度調査の全体平均正答率:小学校60%以上、中学校50%以上 ・英語への興味・関心が向上したと回答をした児童生徒の割合(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 決め細やかな学習支援による学力の向上及び英語に対する興味・関心の向上を図る取組を継続して行う。	【R3成果目標設定の考え方】 平均正答率は、過去の実績を勘案して設定した。 外国語活動については、児童生徒のうち大多数が英語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ	細							
5		情報教育充実事業	H24 ～ R3	ICT機器を使用し、分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置し、ICT活用推進を支援するとともに、デジタル教材の整備等を行う。	・学校ICT支援員の配置:2名 ・教職員研修会の実施(定期研修会7回/年)	・ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	【今後のスケジュール】 ICT活用に関する研修会等を実施し、教員の指導力向上と教科におけるICT活用の定着を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5		専門人材育成事業	H28 ～ R3	島内から多くの教員採用試験合格者を輩出し、教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	・一般、教職教養、専門教科試験対策講座の開催	・小学校での教員採用試験合格者数:9人以上 ・中学校での教員採用試験合格者数:6人以上 ・受講することで有効な試験対策ができたか(80%以上)を含め、受講者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 教員採用試験対策講座を継続して実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。対象者のうち大多数にとって有効な試験対策ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5		オオゴマダラ地域交流事業	H25 ～ R3	児童が自然や地域特性について学ぶ機会の充実を図るため、本市の市蝶であるオオゴマダラの、飼育・観察・評価による「チョウを調べる」学習を行うとともに、オオゴマダラを温室を利用して育成している奈良県橿原市の昆虫館との遠隔交流を実施し、取材と学びの体験交流を行う。	・「オオゴマダラ」の飼育・観察・評価による学習の実施 ・奈良県橿原市の昆虫館との遠隔交流学習を実施	・本事業の対象児童へアンケートを実施し、「地域の自然への興味・関心が深まった」と回答する児童の割合(80%以上)を含め、事業の効果を検証する。	【今後のスケジュール】 児童の理科や自然に対する興味・関心を高めるための取組を継続して行う。	【R3成果目標設定の考え方】 児童のうち大多数が「理科や自然への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5		スポーツ教室・交流事業	R1 ～ R3	市民が様々なスポーツに触れる機会を創出するため、トップアスリートによる講演会、指導者講習会、スポーツ教室を実施する。	・トップアスリートによる講演、指導者講習会、スポーツ教室の実施	・トップアスリートによる講演会、指導者育成講習会、スポーツ教室の参加者数:延べ250名以上 ・指導者講習会を通じて指導力の向上につながったか(80%以上)を含め、参加者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 市民のスポーツへの参画を促進する。また、児童生徒の視野を広げるため、県外の同世代の児童生徒との交流を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 参加者数については、定員数を考慮し設定した。対象者のうち大多数が、指導力の向上につながった、または視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5		不登校対策等支援員配置モデル事業	H30 ～ R3	児童生徒の不登校未然防止及び不登校児童生徒の復学を図るため、市内の小・中学校にスクールライフサポーターを配置し、児童生徒の学校生活支援や不登校児童生徒の復学支援を行う。	・スクールライフサポーターの配置:2名 ・学校生活支援、復学支援の実施	・スクールライフサポーターを配置したモデル校の不登校率: 小学校1.69%以下 中学校4.34%以下	【今後のスケジュール】 不登校の児童生徒に対応した支援を行うため、スクールライフサポーターの配置を継続する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

石垣市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	子ども若者総合相談支援事業	R1 ~ R3	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置、ユースアドバイザーを配置し、相談受付及び支援を実施する。	・ユースアドバイザーの配置:4名 ・相談窓口の設置 ・相談・支援業務の実施	・本事業で支援を受けた者の数:40名以上 ・支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合:37.5%以上	【今後のスケジュール】 支援を必要としている子どもや若者が適切な支援を受けられるよう、関係機関との連携を継続して行う。 支援を必要としている児童生徒や若者の相談支援を行うため、ユースアドバイザーの配置を継続する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
6	新石垣空港国際線旅客施設強化事業	H27 ~ R3	八重山圏域の戦略的な国際観光拠点として、国際線旅客ターミナルを中型機対応施設として整備することにより、受入態勢の強化を図るため、施設の増改築に係る工事費を補助する。	・建築工事の補助	・建築工事の補助完了	【R4成果目標】 国際線旅客数 106,400人以上 【今後のスケジュール】 R4年度:国際線旅客施設供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 ・数値目標について 国際線の就航便数、機材及び搭乗率を踏まえ設定。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	ありんくりんクリーン事業	H24～R3	グスク時代の古城である「浦添城跡」や歴史の道「中城方西海道及び普天満参詣道」、信仰の場である御嶽や井泉、歴史的人物の墓陵などを観光資源として活用するために、それらの文化財の環境整備を行う。	・文化財の清掃:1箇所 ・文化財の除草等環境整備:11箇所	安全・快適で魅力的な観光地としての景観形成を図れたか(85%以上)を含め、見学者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も清掃や除草等環境整備を行い、観光地としての安全性・快適性の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数から観光地としての安全性や快適性に高い評価が得られたと考えられる値(85%以上)を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	歴史・文化ガイダンス強化事業	H25～R3	歴史文化の継承と観光誘客を図るため、市内の歴史・文化ガイダンス施設へガイドを配置する。	市内ガイダンス施設へのガイド配置:1.25名/270日	ガイダンス施設入館者数:17,300名以上/年	【今後のスケジュール】 引き続き観光客の受入体制の強化を実施すると共に、文化財案内の充実化を推進する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績と新しい生活様式の中で県内における新たなニーズの見込みを勘案して設定する。	
2	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	H24～R3	観光地としての魅力向上及び、地域の歴史文化の継承を図るため、「沖縄らしい美しいまちなみ景観」の創出・保全・再生に向けた各種の取り組みを行う。	景観計画委託業務の完了 風景づくり推進調査業務による計画策定に向けた検討等(シンボルロード、都市モノ沿線地区等) 補助(工事)完了 風景づくり推進のためのまちなみ景観を修景するための支援(例)赤瓦、琉球石灰岩を使用した石張り工事に対する補助 地域景観資源を保全、活用、創造する自主的なまちづくり活動団体等への支援	魅力的なまちなみ景観形成の取り組みを実感できる(80%以上)内容を含め、観光客及び市民等を対象にアンケートを行い、本事業のあり方についての検証を行う。 地域の歴史や文化に対する興味、関心度の確認(80%以上)を参加者に対し、アンケートを実施するとともに本事業のあり方の検証も行う。	【今後のスケジュール】 ・地域における景観の向上に関する計画等の策定 ・地域における景観の向上を図るための景観修景のための支援。 ・地域景観資源を活用したまちづくり活動の支援。	【R3成果目標設定の考え方】 魅力的なまちなみ景観形成の取り組みに対する評価を客観的に図るため、当該取り組みを実感できる人の割合を指標に設定している。また、本事業のあり方については、アンケートにより検証を行う。 当該活動への参加者が、歴史文化への興味及び、関心を持っていただけたら、歴史文化の継承が行われているものと判断する。アンケートを実施することで効果の検証を行う。	
2	地域資源復元推進事業	H24～R3	沖縄の歴史的景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進することにより、文化・観光の振興を図る。そのために、地域に所在する文化・観光資源である市指定文化財等や中頭方西海道等の歴史の道のルート整備を行う。	・中頭方西海道ルート石畳敷設工事 ・中頭方西海道ルート実施設計	整備を行った文化財を活用したイベントへの参加人数 290名以上/年	【R4成果目標】 中頭方西海道を活用したイベントへの参加人数 290名以上/年 【今後のスケジュール】 R4: 石畳舗装の供用	【R4成果目標設定の考え方】 類似のイベント等を参考に設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	悠々ロマン漆とアートに出会うまち浦添推進事業	H24～R3	市民への文化の継承と観光振興を図るため、琉球漆器の歴史や文化を紹介する浦添市美術館において、常設展の充実、関連講座、企画展等を実施する。	常設展 ・器のなかの生きもの ・近代沖縄の漆器 ・土(サムレー)の嗜みとお洒落 ・関連講座 企画展 ・新収蔵品展(新規入手作品) ・琉球八景展 ・戦がやってきた展 美術作品購入・修復事業 ・購入3点、修復1点	常設展観覧者数:2,604人以上/年	【今後のスケジュール】 ・市内の文化施設等を活用し、周遊する仕組みをつくる。 ・アンケートを活用し、来館者の満足度を分析、リピーター獲得や観光誘客の効果的な広報に取り組む。 ・美術作品購入と修復に重点を置き、収蔵品の充実化と展示公開を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。	
4	島桑オーヂー&オーバーで観光・産業・街おこしプロジェクト	H24～R3	浦添市の特産品である沖縄在来種のシマグワ関連商品の販売額の増加を図るため、シマグワの栽培、加工、商品開発・製造、販売等を行う。また、量産化した桑果実の保管等を行うため、桑果実等生産拠点施設の整備を行う。	・桑の栽培 ・商品製造 ・商品開発 ・販売促進 ・桑果実等生産拠点施設整備の実施	・桑関連事業売上目標:35,000千円 ・桑果実等生産拠点施設整備の完了	【今後のスケジュール】 桑の生産量については、概ね目標値に近づくことが出来たため、今後は商品開発や販売促進に比重を置き事業を展開する。	【R3成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。	
4	浦添観光振興事業	H29～R3	観光誘客を図るため、観光ポータルサイトの活用等により市の観光資源の情報発信を行う。また、公衆無線LANを活用した観光客の動態調査を行う。	【浦添観光振興業務】 ・浦添PR(Web)120件 ・プロ野球キャンプファン誘客イベント2回 【公衆無線LANを活用した観光客動向調査】 ・データ分析1回	ポータルサイト訪問者数:450,000人 プロ野球春季キャンプファン誘客:30,000人 ウィズコロナにおける観光戦略の確立	【今後のスケジュール】 ウィズコロナにおける観光戦略に基づき、情報発信を継続的に行うとともに、「新たな生活様式」に則った観光施策を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案して設定した。	
4	浦添前田駅周辺地区賑わい創出事業	H29～R3	観光誘客並びに観光客と地域住民間及び地域住民相互の交流機会の増加を図るため、沖縄都市モノレール浦添前田駅周辺地域において、観光交流拠点施設等の整備を行う。	交通広場工事の実施	交通広場工事の完了	【R5成果目標】 年間利用客数100,000人 【今後のスケジュール】 R3:交通広場部分 整備工事 R4:観光交流施設 設計・工事(民間事業者) R5:供用開始	【R5成果目標設定の考え方】浦添前田駅年度乗客数の実績を参考に設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			災害時備蓄食料及び保管倉庫等整備事業	R1 ～ R3	災害時における住民及び観光客の安全確保を図るため、未整備の避難所等に備蓄倉庫を設置し、備蓄米、飲料水及び災害用備品等を配備する。	備蓄倉庫、備蓄米、飲料水及び災害用備品等の配備 ・浦添市社会福祉センター ・浦添市障がい福祉関連複合施設 ・市内12か所の福祉避難所 ・浦添市役所	整備した備蓄食糧及び備品等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後新たに避難所等が追加された場合、該当箇所へ保管倉庫を設置し、避難所生活における必要最低限の備品や消耗品を整備する。	【R3成果目標設定の考え方】 整備した食糧及び備品等を活用した避難訓練の実施、検証を行うことで住民の安全確保に資すると考え成果目標として設定した。
6			那覇港輸出貨物増大促進事業	H29 ～ R3	沖縄県は地理的要因などから輸送コストが割高となっているため、その解消策として、那覇港に寄港する船社を対象とした実証実験を実施し、取扱貨物量の増加及び航路の拡充を図る。	船社を対象とした実証実験及び検討業務委託の実施。	・既存開設航路の維持 1航路 ・新規外航航路の開設 1航路	【今後のスケジュール】 引き続き新規航路開設のため、船社を対象とした実証実験を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 取扱貨物量の増加に資する新たな航路を開設する。
7			未来へ翔たく太陽っ子育成事業	H24 ～ R3	市内在住又は市内小中学校在籍の児童生徒がスポーツ・文化活動の全国大会において、県外生徒との競争や交流機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、全国大会に参加する児童生徒を対象として、大会開催地までの渡航に必要な経費の一部を支援する。	県外大会等派遣支援の実施	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業の効果を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に派遣支援を実施し、競争や交流を通じて技術向上や健全育成、並びに経済的負担の軽減を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象児童生徒の大多数に効果があったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
8			エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業	H24 ～ R3	児童の豊かな社会性を育むため、市内全11小学校の5年生全員を対象に、農村部での体験学習を行う。	・農村部での体験学習 ・市内全11校の5年生1,300名と保護者対象	体験学習によって児童にプラスの変容があったかを児童自身及び保護者を対象としたアンケート等で検証する。 事業のねらいに沿った5つの質問項目(児童対象)における事業実施後(事業実施後1ヶ月以内)調査において、肯定的な回答児童(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 自然体験活動を通して、児童の社会性(協力的な姿勢)が向上したか(80%以上)を含め、保護者アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R3年度 ・本事業終了後の効果的な後続事業の実施方法について調査研究を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 対象児童のキャリア教育の一環として効果があったと考える値として設定した。また、アンケート及び報告書により成果と課題を検証する。 大多数の保護者が、体験後の児童の社会性等の考え方や行動に変化が生じたと考える値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	学力等底上げ推進支援事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、各小中学校へ学校教育支援員及び日本語教育支援員を配置し、学習支援を行う。	学校教育支援員 ・小学校 14名(各校1名～2名) ・中学校 7名(各校1名～2名 5校) 日本語教育支援員 ・3名	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差を以下のとおりとする ・小学校:算数 +0.2ポイント以上 ・中学校:数学 +0.2ポイント以上	【今後のスケジュール】 R3年度 学校教育支援員・日本語教育支援員の配置 ・学校教育支援員 R1年度からR3年度まで、学校教育支援員を継続配置し、沖縄県学力到達度調査における浦添市と県の差が減少し、小中学校がともに県平均以上になるように学力の底上げを図るとともに、学力の二極化の改善を図る。 ・日本語教育支援員 支援を必要とする児童が小学校を卒業し、中学校の生徒数が増加するため、より計画的な支援を継続していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
8	課題を抱える児童生徒支援事業	H26 ～ R3	情緒不安やあそび非行傾向等課題を抱える不登校児童生徒へ支援を行うために、各支援員を配置し登校復帰や不登校未然防止を図る。	教育相談員6名 青少年相談員5名 自立支援員3名 教育相談支援員8名	不登校児童生徒復帰率 小学校:40.5%以上 中学校:48.6%以上	【今後のスケジュール】 R3:各支援員配置 教育相談の充実とあそび・非行傾向生徒への支援を継続的に実施する。学校配置相談員による効率的・効果的な支援を行うため、学校との連携をより強化する。 事業終期のR3年度において、不登校児童生徒出現率を沖縄県平均以下を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
8	適応教室適応指導員配置事業	H26 ～ R3	不登校児童生徒の学校復帰を図るため、適応指導教室に適応指導員を配置し、小集団のなかで個々の状況に応じた学習活動や体験活動、教育相談などの支援活動を行う。	・適応指導員を1名配置 ・適応指導教室入級児童生徒数5名程度 ・不登校児童生徒保護者交流会を3回実施	・適応指導教室入級生の学校復帰率100% 学校復帰率=(チャレンジ登校できた入級生/適応指導教室入級生) ・支援登校率60.4%以上 支援登校率=(チャレンジ登校できた日数/チャレンジ登校計画合計日数)	【今後のスケジュール】 チャレンジ登校を積極的に計画・支援し、引き続き学校復帰へ向けた支援活動を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	子どもが主体的に学習するための学校ICT機器整備事業	H27 ～ R3	学校教育の質の確保を図るため、市内の小中学校にICT機器を整備する。	・市内小中学校7校へICT機器を整備 【小中学校7校】 電子黒板+PC等：普通学級+特別教室 充電保管庫	ICT機器を整備した16校の教員にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を授業で活用している」と答えた割合(90%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 ICT機器を整備した16校の児童生徒にアンケートを実施し、「整備されたICT機器を活用した授業が分かりやすかった」と答えた割合(90%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ICT機器が活用されることにより学校教育の質の確保が図られると考える。教員、児童生徒を対象にアンケート調査を行い、本事業の効果を検証する。	【R3成果目標設定の考え方】 大多数の教員が整備した機器を活用していると考えられる数値として90%以上と設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。 大多数の児童生徒にとって授業がわかりやすかったと考えられる数値として90%以上と設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
8	デジタル教科書導入事業	R2 ～ R3	市内小中学校へ、指導者用デジタル教科書を導入しICT環境を整備する。	各中学校に、指導書には含まれない指導者用デジタル教材5教科を購入する。	指導用デジタル教科書の活用により「授業がわかりやすかった」とアンケートに回答した児童の割合80%以上	【今後のスケジュール】 R3年度 中学校指導用デジタル教材の導入し、指導方法の工夫・改善を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
10	浦添市学童っ子応援プロジェクト事業	H24 ～ R3	放課後児童クラブの安定的な運営と保護者の就労を支援する為、家賃補助を行う。	放課後児童クラブへの家賃補助2ヶ所(補助内容) 家賃と8万円を比較し低い方	安定的な運営支援となっているか、安心・安全に子どもを預けることができ、就労の支援となっているか(80%以上)を含め、対象となる放課後児童クラブ及び児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証。	【今後のスケジュール】 本事業について放課後児童クラブの安定的な運営の支援となっているか、保護者の就労支援に繋がっているか検証する。	【R3成果目標設定の考え方】 放課後児童クラブの安定的な運営に繋がっているか、また、利用者の大多数が就労の支援となっていると考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
11	浦添市中学生平和交流事業	H25 ～ R3	平和への願いを風化させることなく次代に引き継いでいくため、中学生を対象に平和研修を実施する。研修を修了した者は、「浦添市ピースメッセンジャー」として認定され、壁新聞展などを通して平和伝承の活動を行う。	・事前研修(ビデオ学習、戦跡巡り等) ・本研修(2泊3日) ・事後研修(研修報告、壁新聞作成) ・浦添市戦没者追悼式 ・事業報告会(浦添市まなびフェスタ) ・ピースメッセンジャー認定：10名	研修やピースメッセンジャーの活動を通じ、平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証。	【今後のスケジュール】 引き続き平和の大切さを伝承する取り組みとして、平和学習を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 参加生徒の大多数が平和等に対する理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
11	里道及び水路の境界確定復元事業	H24 ～ R3	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、今後の道路整備や緊急時避難路の確保につなげるため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	・里道及び水路の隣接地権者との境界立会による、表示登記 令和3年度における里道の登記済延長 5km	登記済延長率：100% (R3実施分：5%)	【今後のスケジュール】 今後も継続的に里道及び水路の境界確定・復元を行い、公共用地を適正に管理する。 【R4成果目標】 公共用地の適正管理に向けた各種施策の実施につなげる。	【R4成果目標設定の考え方】 境界復元・確定の測量中であるため、当該測量後に策定する計画に基づき、目標値を設定し施策を実施していくことを成果目標として設定した。	

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

浦添市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
11	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業	H24 ~ R3	地主会若手組織の活動体制づくり、地主相互及び地主と行政の連携強化を通して牧港補給地区の跡地利用の円滑な推進を図るため、牧港補給地区地主会若手組織による勉強会等の活動を支援する。	牧港補給地区地主会若手組織による勉強会(年3回)等の活動支援	勉強会への参加者に対して、跡地利用について理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 返還を見据えた跡地利用計画への提言書とりまと及び周知を支援することにより、地主相互及び地主と行政の連携強化を通して牧港補給地区の跡地利用の円滑な推進を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 勉強会に参加した地権者等の大多数が理解が深まっていると考えられる数値として設定した。アンケートの結果を踏まえ本事業のあり方について検証する。	
11	牧港補給地区返還跡地転用推進基金事業	H24 ~ R3	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、牧港補給地区の土地の先行取得を実施するための基金を造成する。	公園緑地としての土地先行取得に向けた基金積立。	特定事業の用に供する土地取得目標42,000㎡(達成率100%) 達成率:先行取得目標面積(174,000㎡)に対する累積取得面積の割合	【今後のスケジュール】 駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、各種施策の実施につなげる。	【R3成果目標設定の考え方】 事業計画の見直しを変更し、先行取得目標面積を174,000㎡としたことから、令和3年度において、特定事業の用に供する土地42,000㎡の取得を目標とする。	
12	浦添市防犯灯LED化推進事業	H28 ~ R3	二酸化炭素排出量を削減するため、既存防犯灯を消費電力の少ないLEDへ切り替える設置者(自治会)に対して補助金を交付する。	防犯灯をLEDへ切り替えを行う自治会に対して補助金を交付し、防犯灯300基をLEDへ切り替える。	R3年度中に切り替える防犯灯による二酸化炭素排出量年30,000kg-Co2の削減(H29年度からR2年度までの累計削減量:355,993kg-Co2/年(H28年度比))	【今後のスケジュール】 引き続き既存の自治会所有の防犯灯をLEDへ切り替えを図り、二酸化炭素排出量を削減する。 R3年度までに自治会所有の防犯灯をLEDに切り替え、R4年の二酸化炭素排出総削減量を約400,000kg-Co2削減する。(H28年比)	【R3成果目標設定の考え方】 切り替え予定の防犯灯の基数からCo2削減量を算定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	学習指導支援者配置事業	H24～R3	市内小中学校に学習指導支援者を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	学習指導支援者19人の配置 学習支援の一環として、ICTを活用した授業準備等を支援に含む	沖縄県学力到達度調査における平均正答率(県と市との差) 小学校 -3.0以内 中学校 -3.0以内	【今後のスケジュール】 引き続き学習指導支援者による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査の平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	生徒指導支援者配置事業	H24～R3	生徒指導支援者を配置し、特別な支援を要する不登校及び不登校気味の児童生徒個々のニーズに対応した支援を行う。	市内小・中学校へ生徒指導支援者を配置：8人	支援対象の不登校児童生徒の登校復帰人数の割合 21%	【今後のスケジュール】 引き続き各学校が生徒指導支援者を有効に活用し、不登校及び不登校気味の児童生徒へ個別の支援を効果的に行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	小中学校英語支援員配置事業	H24～R3	市内小中学校に英語支援員を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行う。	小中学校英語支援員12人を市立小・中学校にシフト配置	学力調査(英語)の正答率 ・小学校5年生:正答率80% ・小学校6年生:正答率82% 沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 中学2年生英語: -3ポイント	【今後のスケジュール】 引き続き英語支援員による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査(英語)の平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	適応指導教室支援員配置事業	H24～R3	適応指導教室へ支援員を配置し、心理的、情緒的要因による不登校児童生徒及び不登校気味の児童生徒に登校復帰のための指導・支援を行う。	適応指導教室へ支援員3人を配置する。	適応指導教室に通級している児童生徒のうち、学校復帰できた児童生徒の割合22% 適応指導教室に通級している児童生徒のうち、チャレンジ登校できた児童生徒の割合72%	【今後のスケジュール】 引き続き適応指導教室の活動を指導・支援し、適応指導教室に通級スツ児童生徒の社会適応能力の育成及び学校復帰に資するよう取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	H24～R3	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校の生徒に広い視野をもたせるため、県外で開催される運動競技会又は文化関係大会へ参加する際の派遣費用を支援する。	県外で開催される大会等へ参加する児童生徒への派遣に関する補助金支援	派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで「児童生徒が県内ではできない経験をすることができたか」の項目で80%以上。また、他項目も併せて当該事業の在り方について検証の実施。	【今後のスケジュール】 今後も児童生徒に広い視野を持たせるため、令和4年度以降についても引き続き県外大会へ参加する際の派遣費用の支援について取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が県内ではできない経験をすることができ、広い視野を持つことができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	小中一貫教育推進事業	H24 ～ R3	小中一貫教育校「屋我地ひるぎ学園」に非常勤講師を配置し、小中学校において相互乗り入れ授業やチームティーチング(TT)授業等より分かる授業を実践する。	非常勤講師の配置人数:1人	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差 小学5年生 算数:県平均以上 中学2年生 数学:県平均以上	【今後のスケジュール】 引き続き非常勤講師による児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を実施し、沖縄県学力到達度調査(算数・数学)の平均正答率が県平均以上となるよう取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	ファイターズ・キャンプ支援事業	H24 ～ R3	北海道日本ハムファイターズのキャンプ受入体制を整えることで、見学者数の増を図る。また、観光誘客を図るため、札幌ドームで名護市PR イベント「名護スペシャルデー」を開催する。	・シャトルバスの運行 ・誘導員の配置 ・名護デーの開催	プロ野球キャンプ時における見学者数 28,950人以上 名護市観光統計入込客数 6,462,994人以上	【今後のスケジュール】 今後も球場周辺の交通渋滞、事故等の防止に取り組み、見学者の安全や利便性を確保し、スポーツキャンプを通じた観光地としての魅力の発信及び観光誘客を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	やがじ地域観光拠点整備事業	H28 ～ R3	修学旅行等の誘致を図るため、やがじ地域の観光地周辺及び観光体験施設の整備を実施する。	・オランダ墓通路整備(その2、ウッドデッキ)の実施 ・塩づくり体験施設用地購入	・オランダ墓通路整備(その2、ウッドデッキ)の完了 ・塩づくり体験施設用地購入の完了	【R4成果目標】 修学旅行受入数:100校 【今後のスケジュール】 オランダ墓の見学や農業体験施設及び塩づくり体験施設における体験によって地域における滞在時間の延長化を図りながら地域にお金を落とす仕組みを構築し、素通り観光からの脱却を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績から毎年20校増加で設定していたが、コロナ禍でキャンセルが相次ぎ観光産業の今後の見通しが不透明なため過去の最大値から微増として設定した。	
2	名護市地域商業グロウアップ支援事業	R1 ～ R3	市内の中小規模事業者の販路拡大及び売上増加を図るため、商品の高付加価値化を支援するとともに、新しい販売システムを構築する。	・事業者の支援 5社 ・ハンズオン支援:1回/月/社 ・専門家派遣:2回/社	高付加価値化した商品数:5品 ふるさと納税返礼品登録:3品 支援を受けた事業者へアンケート調査を実施し、今後の事業展開にあたり役立つ支援内容であったか(80%以上)含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 これまでに開発してきた商品の販路拡大を含め新たな商品開発支援を行い、地域経済の活性化に繋げる。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績及び市内事業者の現状等を勘案し設定した。	
2	自転車まちづくり普及事業	R1 ～ R3	健康増進や環境にやさしい交通手段として、自転車の普及や安全運転を啓発するイベントを開催し、サイクルツーリズムを推進する。	自転車普及イベントの開催(3回)	イベント参加者数:72名	【今後のスケジュール】 安全教育のノウハウを蓄積することで、自転車関連団体によるイベント開催等の自走化に向けて取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	名護湾沿岸実施計画策定事業(名護漁港周辺エリア活性化計画策定事業)	H30 ~ R3	名護湾沿岸基本計画において検討してきた「名護漁港周辺エリア」で示された必要機能の整備に向けた詳細検討及び将来の整備につながる事業化検討及び基礎調査を行う。	必要機能の整備に向けた詳細検討を行い、将来の施設整備につなげるための事業化検討及び基礎調査を行う。	事業化検討・基礎調査の完了	【R7、R12成果目標(R7年度中間目標・R12年度目標)】 ・(例)名護漁港及び中心市街地への入込客数〇〇(千人/年) 【今後のスケジュール】 R3 事業化検討・基礎調査業務	【R7、R12成果目標設定の考え方】 R3年度事業においてR7年度中間目標、R12年度目標値を設定する。	
2	21世紀の森公園周辺エリア活用推進事業	R3	PFI等導入に向けたトライアル・サウンディングの実施等	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるトライアル・サウンディングの実施	「21世紀の森公園周辺エリア」におけるトライアル・サウンディングの完了	【R5成果目標】 ・公園来訪者数:〇人 ・公園来訪者の満足度向上の割合:〇割 【今後のスケジュール】 R3:トライアル・サウンディングの実施	【R5成果目標設定の考え方】 R3年度事業においてR5年度目標値を設定する。	
2	名護市武道場基本計画策定業務	R3	市内の武道振興を図るほか、大会誘致等スポーツコンベンションに寄与する目的で武道場を整備する。今年度は基本計画を策定する。	基本計画策定業務の実施	基本計画策定業務の完了	【R7年度成果目標】 年間利用者数7,000人 【今後のスケジュール】 R3:基本計画 R4:基本設計 R5:実施設計 R6:整備工事 R7:供用開始	【R7成果目標設定の考え方】 沖縄県及び市内・近隣自治体の武道関係利用実績を参考。	
2	名護市観光施設機能強化事業	R3 ~ R3	名護市の観光振興に寄与する拠点施設であるネオパーク・オキナワ、なごアグリパークの施設機能を強化する。	・浄化槽高機能化の実施 ・観光広告物設置の実施	・浄化槽高機能化の完了 ・観光広告物設置の完了	【R4成果目標】 観光客へのアンケート受入体制について満足である80%以上 【今後のスケジュール】 R3:施設整備 R4:供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 両施設を訪れた観光客のうち大多数が受入体制の充実が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	R3事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	(仮称)真喜屋大川利用基本計画策定事業	R3	名護市羽地地域にある羽地地域直売加工施設「羽地の駅」に隣接する真喜屋大川の護岸を親水護岸として整備し、羽地の駅周辺の拠点性を高め、観光拠点としての機能強化及び地域活性化を図るため、基本計画を策定する。	真喜屋大川利用計画の策定	供用開始後1年目(令和7年度)の成果目標を以下のとおりとする。 ・羽地の駅利用者数(入込客数) 86,000人/年間	【R3成果目標】 利活用計画の策定完了 【今後のスケジュール】 R4 基本設計・実施設計 R5 整備工事 R6 供用開始	【R3成果目標設定の考え方】 対象施設の過去3年間(2017年～2019年)の入込客数から伸び率を算出し、2021年から2025年までの入込客数を試算した。	
2	二見以北交流拠点施設機能強化事業	R1～R3	二見以北地域唯一の観光拠点「二見以北交流拠点施設(わんさか大浦パーク)」に、来場者が学習、交流できる機能や名護・やんばる東海岸地域の情報発信機能、シャワー・トイレ等を新たに整備する。 R3年度は機能強化に向けた実施設計を行う。	実施設計の実施	実施設計の実施完了	【R6成果目標】 年間利用者数 129,583人 【今後のスケジュール】 R3年度:実施設計 R4年度:土木工事 R5年度:建築工事 R6年度:供用開始	【R6成果目標設定の考え方】 第2次名護市観光振興基本計による入込客数目標値を勘案して設定した。	
3	名護市金融・情報特区企業招聘セミナー等広報イベント事業	H24～R3	金融・情報関連企業の誘致を促進するため、学生・市民向けの金融・IT講座を実施する。	・高校生・学生・一般市民の金融・IT基礎知識の習得:150名	・金融・情報基礎人材育成講座の参加者:150名	【今後のスケジュール】 今後も金融・情報通信関連企業に対して、企業招聘セミナーなどの広報イベント・誘致活動に取り組み、企業の誘致を図る。また、金融・IT基礎講座・講話への参加者が増加することで、誘致した企業の求人に対応できる人材の育成を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	優良繁殖雌牛導入事業	H27～R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入導入支援:30頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合113%以上	【今後のスケジュール】 本事業で導入した子牛のセリ販売価格とそれ以外の販売価格を比較することで、ブランド化の促進の成果を検証する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
5	救命処置普及強化支援事業	H27～R3	急病や事故、災害等により市民及び観光客が負傷した際の救命体制を確保するため、救命講習会を実施する。また市内全てのコンビニエンスストアへAEDを設置する。	・各種救命講習会開催150回以上、受講者数3,600人以上。 ・まちかど救急ステーションの認定:5件 ・市内全てのコンビニエンスストアへのAED設置率100%	救命講習会参加者へのアンケートで、自信をもって応急手当が出来ると回答した割合80%以上 まちかど救急ステーション認定事業所:5件以上	【今後のスケジュール】 今後も本事業の実施に取り組み、市民及び観光客が負傷した際の救命体制を確保する。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が理解できたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			ハブ等対策事業	H27 ～ R3	観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害を防止するため、危険なハブ等を捕獲・駆除する。	ハブ捕獲器の設置総数：600器 犬用捕獲器稼働数：4器以上	捕獲器設置箇所周辺における咬傷被害件数：0件	【今後のスケジュール】 捕獲器の設置を増やし、咬傷被害件数を減らす。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5			環境再生・活用整備事業	H29 ～ R3	喜知留川の集中豪雨による浸水災害防止を図り、地域の自然を活かした教育の場・憩いの場としての活用する河川に整備する。	・用地取得 ・物件補償 ・河川整備工事 (磁気探査含む)	・用地取得の完了 ・物件補償の完了 ・河川整備工事(磁気探査含む)の完了	【R7成果目標】 環境学習参加数116人 地域の自然を活かした憩いの場として活用できたか(80%以上)を含め、市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R4～R6: 橋梁整備工事、河川整備工事 R7: 供用開始	【R7成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した
6			名護市自転車まちづくり推進事業	H24 ～ R3	名護市自転車ネットワーク計画に基づき、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、市内の市道に自転車の通行空間となるモデルレーン(自転車指導レーン)整備を実施する。	自転車指導レーンの整備率：88.51%	令和3年度自転車指導レーン整備延長：3,400mの整備 柳原線：L=1,340m 外郭線：L=1,480m 北農線：L=580m	【R4成果目標】 温室効果ガス排出量の削減効果：t-CO2 【今後のスケジュール】 R4年度にまちなか市道部分が全面供用開始となるため、設定した成果目標に基づき、温室効果ガス排出量の削減が図れたかについて検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 H30～R2の交通量調査の結果を踏まえR3に精査・検証を行い、R4年度までに目標値を設定する。
7			スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R3	児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	スポーツ教室等の開催：4回	スポーツ教室・講演会への参加児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識がさらに高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 講習会を受講した参加者(指導者)に対して、指導力が向上したと感じたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【R4成果目標】 市内中学校の運動部への在籍生徒数：1,404名 【今後のスケジュール】 引き続き参加者やスポーツ関係者のニーズに対応した市民参加型のスポーツ教室等を開催する。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が意識が高まった又は指導力が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

名護市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	多世代交流施設整備基本計画策定業務	R3	子どもや子育て家庭に対する支援を強化するため、子どもの健やかな育ちを地域で見守り、子育て家庭の相談窓口として切れ目のない支援が行え、子どもから高齢者までの多世代が集集うことができる機能等を備えた多世代交流施設を整備する。	・基本計画の策定	・基本計画の策定完了	【R8成果目標】 ・子育て支援機能に係る平日の利用者数 ・高齢者の利用者数 ・施設全体の年間利用者数 【今後のスケジュール】 R4: 土地鑑定評価、用地取得、基本設計 R5: 実施設計、造成外構設計、土質調査 R6: 造成外構工事 R7: 建築工事 R8: 供用開始	【R8成果目標設定の考え方】 基本設計において、整備する施設規模等を勘案し設定する。	
9	名護・やんばる平和学習推進事業	R3	地域の歴史文化を継承し平和への理解を深めるため、『名護・やんばるの沖縄戦ガイドブック』を制作・配布し、平和学習を行う。	『名護・やんばるの沖縄戦ガイドブック』の制作・配布及びそれを活用した平和学習の実施。	平和への理解をより一層深められたか(80%以上)を含め、平和学習会でのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後は、中学校の新一年生を対象に配布を行うほか、希望する一般市民や団体にも提供し、平和学習の資料として継続的な活用を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が平和への理解をより一層深められたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
10	名護市観光プロモーション推進事業	R3	第5次名護市総合計画および第2次名護市観光振興基本計画に基づき、市民や関係機関等と連携・協働した情報発信戦略を構築し、本市の観光資源の認知度向上を図る。	・プロモーションツールの作成 ・プロモーション支援の実施 ・プロモーションイベントの実施	認知度向上がはかられたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光プロモーションの実施(年7回)	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が本市の観光資源の認知度が向上するものとして設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
11	防災対策基盤強化事業	R3	トンネル火災を含めた多様な災害に対応するため、県内に配備の少ない泡消火剤混合システムの機能や高い放水機能を有する大型水槽車を整備する。	大型水槽車(1台)の購入	大型水槽車(1台)の配備	【R4成果目標】 名護市消防本部警防規程及び名護市消防計画に基づき、大型水槽車を活用した消防訓練を年間12回以上実施し消防防災体制の強化を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 防災基盤強化するために配備した大型水槽車を用いて、日頃から訓練を実施し、強化された基盤を維持できるよう設定した。	
12	名護市テレワーク人材育成事業	R3	即効性のある市民の新たな収入源の確保に繋げ、地域経済の立て直しを図るため、市民に対しテレワーク環境を構築するとともに、テレワーカーとしての人材育成及び就労支援などを実施する。	名護市民50名のテレワーカー登録を実現し育成を図る。	・テレワーカー50名の育成 ・テレワーカーの稼働率:80%	【今後のスケジュール】 テレワーカーの育成継続とスキルアップ支援を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 他市町村の同様の事業を参考に設定した。即効性のある市民の新たな収入源の確保に繋げるため、80%という高い目標設定にした。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		生活感幸(観光)環境づくり事業	H24 ~ R3	観光地としての魅力発信の向上を図るため、各地域の歴史民俗地図を作成する。	・旧摩文仁村の歴史民俗地図・現況図の作成	・市ホームページ上での歴史民俗地図・現況図へのアクセス数1,880件以上 ・旧摩文仁村集落ガイドマップ配布者へのアンケート「市の歴史・文化への理解が深まったか」に対して「はい」の割合80%以上	【今後のスケジュール】 R4年度:市史講座開催。	【R3成果目標設定の考え方】 歴史民俗地図のアクセス数については、過去実績を勘案して設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1		沖縄らしい風景づくり事業	H24 ~ R3	風景づくり計画に基づく景観形成事業を実施することにより、観光地としての魅力向上を図る。	・重点地区整備工事 ・重点地区景観形成への支援((都市景観形成(屋根瓦等の工事)に係る助成金))	・重点地区整備工事完了 ・助成金による景観形成整備の完了(5件)	【R4成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、観光客等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2		観光地危険生物駆除事業	H25 ~ R3	観光客等のハブ咬傷の危険性を除去し安全を確保するため、ハブ生息地域を把握し、ハブ捕獲・駆除を行う。	・ハブ捕獲器の設置150基 ・ハブ生息地の調査15ヵ所	・市内における観光客の年間ハブ咬傷被害2件以内	【今後のスケジュール】 R3年度:発生区域の把握、ハブ捕獲器及び注意喚起看板等の設置を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
3		文化交流・情報発信拠点施設整備事業	H25 ~ R3	観光客のさらなる誘客と訪れる観光客の市内回遊を高めるため、地域の歴史的魅力や文化芸術活動等を内外に発信する文化交流・情報発信拠点施設を整備する。	・本体建設工事 ・工事監理業務 ・展示製作業務	・(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター工事の完了 ・展示製作業務の完了	【R4成果目標】 ・地域発信エリア年間利用者:2.5万人 ・継承体験エリア年間利用者:2.2万人 ・創造発信エリア年間利用者:4万人 【今後のスケジュール】 R3年度:本体建設工事及び展示製作業務の完了 R4年度:供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 ・地域発信エリア:同規模の歴史民俗系の博物館の利用者数を参考に設定した。 ・継承体験エリア:市内類似施設の実績を参考に設定した。 ・創造発信エリア:類似規模施設の利用者数を参考に設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
バ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			確かな学力を育むサポート事業	H24 ～ R3	学習の遅れからくる劣等感等で不登校になる事案もあり、学習支援や学校生活への不応の児童生徒を指導するなど学力向上と登校復帰を図るため、学校現場へ学習・自立支援員を配置する。	・市内小中学校に学習指導等支援員を配置し、学習指導等を行う(小学校10校、中学校6校)。	県学力到達度調査の県との差 小学校算数0% 中学校数学-1%	【今後のスケジュール】 各学校の実績・規模に合った学習指導等支援員の適正配置を行い、引き続き学習指導等支援員研修会(年3回程度)も実施。市内全小中学校の学力向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			英語指導事業	H24 ～ R3	英語指導を通じたコミュニケーション能力と国際感覚を身につけた人材育成を図るため、小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導をサポートする英語指導助手を配置する。	・市内小中学校に英語指導助手を配置し、英語指導のサポートを行う(小学校4人、中学校3人)。	・小学生 英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を含め、本人へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・中学生 県学力到達度調査の県との差 中学校英語-1%	【今後のスケジュール】 引き続き市内10小学校と6中学校へ英語指導助手を配置。月に1回程度の英語指導助手連絡会を開催し、お互いの指導方法や教材などについて情報交換を行い、授業の工夫改善を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 ・小学生 大多数が興味・関心が高まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・中学生 過去の実績を勘案して設定した。 県学力到達度調査の県との差(過去正答率) 中学校英語R1:-6.7%
4			適応指導教室設置事業	H25 ～ R3	心理的・情緒的要因による不登校の児童生徒の登校復帰を図るため、適応指導教室を設置し、授業支援・登校支援等を行う(主任担当者1人、補助担当者1人、教育相談員2人)を実施する。	・適応指導教室に人員を配置し、授業支援・登校支援等を行う(主任担当者1人、補助担当者1人、教育相談員2人)。	・適応指導教室に通級している児童生徒のうち学校復帰できた児童生徒の率 35%	【今後のスケジュール】 適応指導教室へ人員配置(主任担当者、補助担当者、教育相談員)を継続し、心理的・情緒的要因による不登校児童生徒の登校復帰を引き続き支援していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

糸満市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
バ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			障害児学習環境づくり事業	H24 ～ R3	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置する。また、こども園等他機関との連携や学校での取り組みなどを多方面からの支援が必要であることから、特別支援教育指導コーディネーターを配置する。	小学校・中学校に支援ヘルパーを配置し、様々な障害を持つ児童生徒の支援を行う(特別支援教育指導コーディネーター配置(1人)、特別支援教育支援員(こども園・小学校・中学校)配置(38人))。	・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(85%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 特別支援教育指導コーディネーターによる現場視察や現場職員との情報交換を通して、特別支援教育支援員の適正な人員配置と効果的な支援体制の構築を図る。 各園・学校の特別支援コーディネーターや特別支援教育支援員への研修会を年3回実施し、支援の充実を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別支援員の対応への満足度向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			情報教育環境づくり事業	H25 ～ R3	学校のICT環境整備を行うことでパソコン及び電子黒板等を活用し、より分かりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成や情報教育の充実を図るため、情報教育支援員を派遣する。	小学校・中学校に情報教育支援員を巡回させ、情報教育の充実を図る(情報教育支援員の配置(1人))。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方の検証 ・情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったか(80%以上)を含め、教員へのアンケートにより本事業のあり方の検証	【今後のスケジュール】 情報教育支援員の配置を継続し、市内小中学校のコンピュータ整備及びクラス数の増加等に応じたICT機器の整備、更新を計画的に行う。また、GIGAスクール構想の目的を達成するために、情報教育研修会の開催・授業支援等を通じて、教員のICT活用力向上を図り、自立した授業が行えるよう取り組んでいく。	【R3成果目標設定の考え方】 児童生徒の大多数がわかりやすい授業の展開が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・教員の大多数がICT機器を活用した授業の展開するための技術の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5			運動公園・体育施設機能強化事業	H24 ～ R3	スポーツ観光の一層の充実を図るため、本市の拠点施設である運動公園・体育施設の機能強化を図る。	・西崎運動公園芝生年間管理業務 ・西崎球場整備工事(グラウンド内野の整備、屋内ブルペン整備、球場ラバー整備)	・合宿誘致件数13件	【今後のスケジュール】 現在受入している合宿誘致数を施設整備することにより増加させる。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。
6			母子生活支援モデル事業	H29 ～ R3	ひとり親家庭の子どもの心身の健全な発達等を支援するため、様々な課題を抱えて困窮しているひとり親家庭に対して、民間アパート等を借上げし、地域の中で自立した生活が送れるよう支援する。	・ひとり親家庭の自立に向けた支援	・支援終了者のうち自立につながった割合100%	【今後のスケジュール】 自立の意欲が高いひとり親家庭に対し、安定した住環境を提供するとともに、ニーズに即した一体的な取組みの展開により、きめ細かい支援を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 当該事業の実績(H29年度～R1年度)に基づき設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			Kozaフィルムオフィス事業	H24 ～ R3	映画やドラマ等の誘致活動や撮影支援を行い、撮影件数の増加を図る。	・誘致活動(3回) ・撮影支援(12ヵ月)	・撮影件数50件	【今後のスケジュール】 引き続き撮影誘致及び撮影サポートに取り組むとともに、関連団体とのネットワークの形成・強化に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績と新型コロナウイルス感染症拡大の影響を勘案して設定した。
1			音楽資源活用事業	H24 ～ R3	沖縄民謡や戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な音楽資源の展示や音楽イベント等を開催することで、観光客の誘客を図る。	・音楽資料の常設展示 ・企画展の開催(3回) ・音楽イベント等の開催(1回)	観光客来館者数:4,000人	【今後のスケジュール】 各年代の方に興味をもってもらえるようなジャンルの展示に取り組むとともに、HPやFacebookを利用したWEB告知を実施し、観光客の誘客を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			音楽観光誘客事業	H24 ～ R3	市内の音楽イベント情報などを発信し、音楽イベント等を開催することで、音楽のまちをPRし、観光客の誘客を図る。	・音楽情報の発信(10月～12月) ・音楽イベント等の開催(2回)	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:53,000人	【今後のスケジュール】 音楽情報の発信やおきなわ音楽月間を開催し、観光客の誘客を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			文化活動拠点施設機能強化事業	H24 ～ R3	文化の振興および観光誘客の拡大を図るため、伝統芸能や演劇に加え、県外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される文化活動拠点施設の舞台照明など、設備の機能充実を図る。	・沖縄市民小劇場あしびなー照明設備機器改修工事(第2期)	・沖縄市民小劇場あしびなー照明設備機器改修工事(第2期)の完了	【今後のスケジュール】 照明改修工事を進めていく。 【R3成果目標】 施設稼働率77%	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			国際交流事業	H24 ～ R3	多国籍住民の相談窓口の開設を実施し、生活上等の困難の改善を図る。 市民等に語学講座や交流会等を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	・多言語相談(週6日) ・多言語語学講座(週3回) ・多国籍住民等との交流会	来所者数7,000人 生活上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、相談者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後多言語相談を実施し、生活上等の困難の改善を図る。 今後多言語語学講座、多国籍住民等との交流会を開催し、国際感覚を持つ人材の育成を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 相談者が相談した内容について改善が図られたかを含め、相談対応サービス、本事業について、アンケートより検証する。
1			エイサーのまち推進事業	H24 ～ R3	エイサーのPRや振興を通して、観光客の誘客の拡大を図る。	・エイサーのまちPR事業 ・エイサーステッカー製作 ・エイサーリーフレット製作 ・街中へのエイサーバナー等設置 エイサーキャラクター着ぐるみ作製	・エイサー会館来場者数:26,788人以上	【今後のスケジュール】 エイサーのPRや振興を通して観光客の誘客の拡大を図るため、エイサーのまち沖縄市のPRにつながる事業を実施していく 今後もエイサー会館のPRを通してエイサー会館の来場者数増加につながる取組を推進していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光宣伝事業	H25 ～ R3	観光PR活動を実施することで、滞在型観光の推進を図る。	各種メディアやウェブを活用した観光広報活動業務 ガイド養成講座の実施(16回) モニターツアーの実施(25回)	主要ホテル宿泊延べ人数:177,292人	【今後のスケジュール】 観光誘客の拡大を図るため、戦略的なPR活動の実施および観光体験や新メニュー創出等の支援を継続的に実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績と新型コロナウイルス感染症拡大の影響を勘案して設定した。	
1	文化芸術推進事業	H25 ～ R3	琉球舞踊、三線、音楽、演劇等の舞台芸術や美術工芸等の展示など、市民等に伝統芸能に触れる機会を創出する文化芸術祭を開催する。	芸術祭(1回)	舞台公演 3 展示公演 1	【今後のスケジュール】 市民等が伝統芸能に触れる機会を確保する。	【R3成果目標設定の考え方】 現在利用可能な空き店舗や公共ホール等を考慮し、利用者が一日に観賞可能な公演数を設定。	
1	観光統計調査事業	H30 ～ R3	沖縄市を訪れる観光客の旅行動向の実態を調査・分析を行い、その調査・分析結果等を観光関連団体との勉強会等を通して共有することにより、情報の有効活用による効果的なマーケティングや地域との連携強化を図る。	・観光入込統計調査及び分析の実施 ・観光関連団体等との勉強会開催	・観光入込統計調査・分析による実態把握 ・観光関連団体等との情報共有及び地域との連携強化 ・観光誘客に係る目標値の設定	【今後のスケジュール】 観光入込統計調査の結果を踏まえ、主要観光地の入込客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 本事業の成果目標は、調査結果を活用した実績について成果目標を設定すべきであるが、検証が困難であるため、定性的な指標を設定した。	
2	スポーツコンベンション推進事業	H25 ～ R3	プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致を行い、スポーツ合宿宿泊者数の増加を図る。また、プロスポーツ団体等のPR活動よりホームゲームへの観客動員数増を図る。 また、2023年FIBAバスケットボールワールドカップ開催に向けた機運醸成に取り組む。	・スポーツ団体活動支援:4団体(FC琉球、琉球ゴールデンキングス、広島東洋カープ、バンサース) ・スポーツ合宿誘致・受入 ・リーグオールスターゲーム機運醸成イベントの開催	・スポーツ合宿延べ宿泊者数 13,493人 ・ホームタウンプロスポーツチームのホームゲーム年間来場者数 130,693人 ・リーグオールスターゲーム機運醸成イベント開催来場者数:300人	【今後のスケジュール】 スポーツ合宿の誘致等に取り組むとともに、プロスポーツ団体の機運醸成を図り、スポーツコンベンションの推進に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績と新型コロナウイルス感染症拡大の影響を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	道路景観形成等推進事業	H24 ～ R3	観光地周辺道路を整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	市道宮里34号線・国税庁西側線・松本団地西側線道路植栽等整備工事(その1) 市道宮里34号線・国税庁西側線・松本団地西側線道路植栽等整備工事(その2) 松本団地西側線道路植栽等整備工事(その1) 松本団地西側線道路植栽等整備工事(その2) 松本団地西側線・知花52号線道路植栽等整備工事(その1) 松本団地西側線・知花52号線道路植栽等整備工事(その2)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含めアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R3年度事業完了予定	【R3成果目標設定の考え方】 路線利用者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	緑化景観推進事業	H30 ～ R3	観光地周辺道路を植栽整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	・壁面緑化パネルに季節の花を入替える。(3回) ・コンクリートプランターの作製・設置(70基) ・亜熱帯植物(ハイビスカス)の植栽(140本)	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に亜熱帯植物を配置し、沖縄らしい風景づくりを行い観光地としての魅力向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 市民や観光客などの来街者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	子ども科学力育成事業	H24 ～ R3	子どもたちが、科学の面白さや学ぶことの楽しさを学校で体験する出前科学教室の開催や科学クラブの設立に向けた支援を行う。	出前科学教室(130コマ) 科学研究支援(6校)	・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(参加児童生徒へのアンケートで、満足度94%以上)	【今後のスケジュール】 新型コロナウイルス感染拡大のため不特定多数が参加するイベントは行わず、学校を対象とした出前科学教室等に注力して実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	H24 ～ R3	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、学習支援員、外国語指導助手等の配置や放課後学習支援の実施により、きめ細やかな指導の充実に取り組む。	標準学力調査 学力調査(中3) 放課後学習支援業務 学習支援コーディネーター(1名) 学習支援員(23名) 中学校ALTコーディネーター(1名) 日本語指導員(4名) 小学校ALT(12名) 中学校ALT(7名)	・沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 小学校:県との差±1ポイント以内を目指す。 中学校:県との差±0ポイント以内を目指す。	【今後のスケジュール】 引き続き支援員等を配置することにより、沖縄県学力到達度調査の正答率向上に取り組んでいく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	気になる子等の学びを支援する事業	H24 ~ R3	特別な支援が必要な子に対し、幼稚園、小中学校までの継続的な支援を行う。 また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行う。	就学支援委員(30名) 臨床心理士(1名) 認定心理士(2名) 保健師(1名) 就学支援事務(1名) 特別支援教育コーディネーター(1名) 特別支援教育補助者(31名) スクールソーシャルワーカー(1名) 学校支援教育補助者(8名) 適応指導教室教育相談員(1名) 適応指導教室指導員(3名) 適応指導教室巡回支援指導員(3名) 幼稚園特別支援担当49人(補助者含む) 幼稚園特別支援教育補助者7人 幼稚園特別支援アドバイザー〔臨床心理士〕1名	・特別支援教育について、対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上 ・不登校児童生徒登校復帰率 26%以上	【今後のスケジュール】 特別な支援が必要な児童生徒や不登校・学力不振の児童生徒の個々のニーズに柔軟に対応した支援を継続して実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が個々のニーズに対応できたと考えられる値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 登校復帰率は、過去の実績を勘案して設定した。	
4	青少年等支援事業	H25 ~ R3	青少年の健全育成を図るため、巡回指導や各種体験活動等を行うほか、若者相談窓口を設置し、相談支援を行う。	青少年教育相談指導員 7人配置 青少年指導員の夜間街頭指導 延べ 1,280人 若者相談窓口担当相談員 1人配置	午前・午後巡回指導件数 前年度比 39.4%減 夜間・合同街頭指導件数 前年度比 3.6%減 若者の主訴改善件数 20件以上	【今後のスケジュール】 今後も、青少年の健全育成を図るため、相談業務、体験活動、午前・午後の巡回指導や夜間の街頭指導を引き続き行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
5	就労等支援事業	H24 ~ R3	若年者や子育て世代等に対する就労相談や各種講座等を実施し、求職者の就職決定に繋げる。また、企業の雇用環境の改善に向けたセミナー等を実施する。	・就労相談 約3,000人/年 ・職場体験 35件	・就職決定者割合22% ・参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	求職者の就職決定に繋げるため、引き続き就労相談、職場体験等の支援を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 ・就職決定者数は、過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業番号 パ 細	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
					R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5			産業集積推進事業	R2 ~ R3	中心市街地商店街内の空き店舗を活用して拠点施設を設置し、創業相談窓口の設置、ICT人材育成等の取組を一体的に推進する。具体的には、創業相談による創業希望者の事業計画の策定支援や金融機関と連携した資金調達支援を行うほか、プログラミングスクール等の講座の開催による人材育成を実施する。	創業相談窓口による創業支援件数	創業支援者数:54件	【今後の展開方針】 ・R3年度の成果を検証し事業内容の重点化及び合理化を図ることで成果目標の着実な達成を図りつつ、事業の部分的な民間移行等を積極的に推進する。	【R3年度の成果目標設定の考え方】 過去の実績を基に勘案して設定した。
6			地域防災対策事業	H24 ~ R3	地域防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成促進や災害用備蓄の確保などを行い、防災倉庫の整備を行う。また、避難場所に指定されている公園に災害用トイレ等の整備を行う。	・防災組織の結成(5組織) ・防災組織資機材・倉庫整備(5組織) ・防災倉庫整備(1箇所) ・災害用トイレ等の整備(3公園)	・整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練するものとする。	【今後のスケジュール】 自主防災組織及び資材整備を行うことで、地域防災力の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 整備した防災資機材等の成果については、実際に災害が発生しない限り検証ができないため、防災資機材等を活用した避難訓練を実施・検証を行うことで、市民及び観光客等の安全確保に資すると考え、成果目標と設定した。 各防災組織が1回以上訓練するものとして設定した
6			災害時緊急避難通路整備事業	H24 ~ R3	里道を活用した災害時緊急避難通路を整備し、津波等の自然災害などに対する防災力の向上を図る。	土地鑑定業務委託(古謝地区) 用地購入(1筆) 災害時緊急避難通路整備工事(古謝)	・古謝地区1路線約140mの整備工事の完了 ・本避難経路を活用した避難訓練の実施(1回/年)により、安全安心に避難できたか80%を含め訓練参加者に対してアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 R3年度事業完了予定	【R3成果目標設定の考え方】 本事業の目的から、本来災害時の避難者数等を設定すべきであるが、実際に災害が発生しないことには検証が困難なため、当該避難道を活用した避難訓練を実施・検証を行うことで、防災力の向上に繋がると考え、成果目標と設定した。 回数については、過去に実施した地域の避難訓練等により設定した。
6			防災拠点体制整備事業	R2 ~ R3	災害時の住民や観光客等の安全を確保するため、広域避難場所であるコザ運動公園において避難所及び災害対策本部等の機能を有する防災拠点としての体制を整備する。	R3備品整備の実施	R3備品整備の完了	【R4成果目標】 整備した備品を活用した防災活動(1回以上/年、防災訓練含む)の実施。 【今後のスケジュール】 整備した備品を活用した防災活動の実施・検証。	【R4成果目標設定の考え方】 整備した備品を活用した防災活動の実施・検証を行うことで災害時の住民や観光客等の安全確保に資すると考え設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	里道の境界確定復元事業	H24 ~ R3	里道の占用許可・用途廃止等を行うにあたり、(仮)沖縄市法定外公共物管理計画を策定するのに必要となる不明確な里道の位置を確定する。	・里道 4,849mの境界確定測量	確定測量の完了 表示登記申請の完了	【R4成果目標】 策定する(仮)沖縄市法定外公共物管理計画の中で、里道の占用手続、用途廃止に係る年度毎の目標値等(用途廃止率等)を設定し、施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R3 確定測量・表示登記 (仮)沖縄市法定外公共物管理計画策定 R4~	【R4成果目標設定の考え方】 測量中であるため、当該測量により策定された計画に基づき、目標値を設定し施策を実施していくことを成果目標として設定した。	
8	東部海浜地区開発事業	H25 ~ R3	東部海浜開発事業について、市民や県民等に対する事業PRに取組み、認知度の向上を図る。また、健康医療施設用地に係る公募条件等の整理のため、県外企業ヒアリングを行う。	事業PRの実施 県外企業ヒアリング	認知度の向上が図られたかアンケート調査を実施(認知度[目標値]:60%以上) 公募条件整理に向けたヒアリングを実施(回数:9回[35社])	【R4成果目標】 企業誘致件数:1件 【今後のスケジュール】 県内外企業等に公募条件整理に向けたサウンディング等を実施する。 国・県と連携し事業PRを実施していくことにより、事業認知度が向上し、東部海浜地区の積極的な利活用が行われる。	【R4成果目標設定の考え方】 企業誘致先となる民間用地(健康・医療施設用地8.0ha)は企業1社での利用を見込んでいるため、企業誘致件数を1件と設定した。	
9	平和行政事業	H30 ~ R3	沖縄戦の体験や教訓を考える取組を行い、沖縄戦への理解を深める。	9月7日沖縄市民平和の日記念事業開催1回 平和学習資料の作成 平和学習コンテンツサイトの更新	沖縄戦への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も9月7日沖縄市民平和の日記念事業等を継続的に開催し、沖縄戦への理解を深め継承していく。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄戦への理解が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
10	農業施設整備事業	R1 ~ R3	本市倉敷地区の畜産農家の農業用水を確保するため、倉敷ダム放流水を水源とする取水施設等の整備を行う。 今年度は営農用水施設(畜産)の整備工事を行う。	整備工事の着手	整備工事の完了	【R10成果目標】 出荷頭数5%(畜産)(対R3比) 【今後のスケジュール】 R2:実施設計(畜産) R3:整備工事(畜産) R4:供用開始(畜産)	【R10成果目標設定の考え方】 沖縄市農産業活性化計画(R1~10年度)で設定した目標値に向けた農業振興施策を実施していくことを成果目標として設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

沖縄市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
11	沖縄こどもの国推進事業	H27 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の誘客促進のため、商品開発実施業務を実施する。	商品開発実施支援業務の実施	商品開発実施支援業務の完了	【R4成果目標】 年間目標入園者数 令和 2年度:約60万人 令和 3年度:約65万人 令和 4年度:約70万人	【R4成果目標設定の考え方】 令和元年度に策定した施設整備マスタープランにおいて、目標入園者数の設定を行った。	
12	沖縄こどもの国施設整備事業	H24 ～ R3	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき、動物園の充実を図るとともに、動物展示施設等の整備を行う。	クマ舎周辺エリア整備工事(第2期)の実施 サイン等設計製作の実施	クマ舎周辺エリア整備工事(第2期)の完了 サイン等設計製作の完了 目標入園者数65万人	【R4成果目標】 年間目標入園者数 令和 2年度:約60万人 令和 3年度:約65万人 令和 4年度:約70万人	【R4成果目標設定の考え方】 令和元年度に策定した施設整備マスタープランにおいて、目標入園者数の設定を行った。	
13	商店街等活性化事業	H31 ～ R3	令和元年度に実施した調査等の課題を踏まえ、銀天街地域の交流拠点を作り、イベントを企画実施することにより、地域の連帯意識を高めるとともに、リーダーを育成する。誘客効果の高いイベントの企画実施により、地域の魅力を高め、営業店舗数の増加を図る。	イベント実施件数(2件)	営業店舗増加数(1件)	【今後のスケジュール】 誘客効果の高いイベントの企画実施により、地域の魅力を高め、営業店舗数の増加を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 新規出店等を勘案して設定した。	
14	航空機騒音測定事業	R3	航空機騒音被害の実情をより正確に把握するため、航空機が選別できる、精度の高い騒音測定器を整備する。	騒音測定器の整備完了(1局)	市街地上空飛行件数の減少 (年間6,259件以下)	【今後のスケジュール】 これまでよりも、精度の高い騒音データを活用した国や米軍への改善要請を行う事で、市街地上空飛行の減少を図る。	【R3成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	文化観光創出事業	H24 ~ R3	平成25年度に策定した「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・磁気探査業務、埋蔵文化財調査報告書作成業務、地積測量図作成業務の実施 ・園路等整備工事の実施 ・用地購入及び物件補償	・磁気探査業務、埋蔵文化財調査報告書作成業務、地積測量図作成業務の完了 ・園路等整備工事の完了 ・用地購入及び物件補償の完了	【今後のスケジュール】 ・施設整備(~R3) 【R4成果目標】 年間来場者数:2万人	【R4成果目標設定の考え方】 類似観光施設の実績を参考に設定した。	
1	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ~ R3	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	植栽樹の管理(除草清掃・防除工) プランターの植栽管理(灌水)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 植樹樹の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	放課後児童クラブ利用支援事業	R2 ~ R3	放課後児童クラブの利用者支援をすることで、子どもたちが育成支援体制の整った安心・安全な環境で過ごすことができるようになり、保護者の子育てへの負担感の軽減を図る。	ひとり親家庭等の児童クラブ利用者へ利用料を減免した児童クラブに対し、補助を行う。 対象人数:185人分	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 利用者支援を行うことで、公的施設で活動している児童クラブとの格差を正並びに、保護者の負担軽減及び利用者の増加を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
3	特別支援教育支援員配置事業	H28 ~ R3	小中学校において普通教室に通う特別に支援を要する児童生徒の教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の配置:30人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R4年度まで継続して支援員を配置し、支援対象児童生徒が十分な教育が受けられるようにする。	【R3成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別教育支援員の教育相談等の支援により教育活動の充実が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	学力向上サポート事業	H24 ~ R3	小中学校の教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を粉うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員を11人配置する。 小学校:8人 中学校:3人	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:+2.7ポイント以上 中学校:+0.6ポイント以上	【今後のスケジュール】 R4年度までに県平均正答率との差を、小学校において+2.7ポイント、中学校において+0.6ポイントを目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績値を参考に設定した。	
3	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ~ R3	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境の改善を図り、児童相談所等関係機関とのネットワーク構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	スクールソーシャルワーカーを3人配置する。市内小学校8校、中学校3校に対し巡回配置する。	支援対象ケース改善率:40.10%以上(改善ケース件数/支援対象ケース件数)	【今後のスケジュール】 R4年度まで継続してスクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関との連携体制を構築・維持する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績値を参考に設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	不登校等対策支援事業	H24 ～ R3	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等、適切な指導を行い学校復帰や社会的自立を支援する。	学習支援補助員配置:3人 (中学校:1人) (適応指導教室:2人) 登校支援員配置:8人	不登校児童生徒復帰率:20%以上 (学校復帰人数/新規不登校者数)	【今後のスケジュール】 R4年度まで継続して支援員を配置し、学校復帰率20%を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績値を参考に設定した。	
3	英語教育推進事業	H25 ～ R3	国際化時代に対応できる人材育成を目的に、中学校へ外国人英語講師を配置し、小学校へ日本人英語講師を派遣する。	外国人英語講師(ALT)の配置:3人 日本人英語講師(JTE)の派遣:小学校8校	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合73%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+2.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 継続的に外国人英語講師の配置、日本人英語講師の派遣を行い、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図るとともに、令和4年度の県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+2.5ポイントを目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 小学校 対象者のうち大多数が英語に対する興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 中学校 過去の実績値を参考に設定した。	
3	ICT教育推進事業	H24 ～ R3	R2年度より整備した児童生徒用端末の活用促進を図るため、各学校へ情報教育補助員を配置する。 情報教育補助員が児童生徒用端末の活用方法を提案、または支援することで教育の情報化を促進し、教育の質を高めるとともに、学習の効率化を図る。	情報教育指導補助員派遣:11人 教師用タブレットPC整備事業:12式 電子黒板整備:8式	教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 ICT機器の整備及び情報教育指導補助員の派遣を継続し、R3年度のICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、ICT機器等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。	
3	児童生徒派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を補助	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して児童生徒の派遣費の一部補助を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持たせたかどうかを検証するにあたっては、当該児童にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	R3事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
3		児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25 ~ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の補助を行う。	児童生徒派遣費の一部を補助	補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して児童生徒の派遣費の一部補助を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持てたかどうかを検証するにあたっては、当該児童にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
4		デジタル博物館事業	R2 ~ R3	歴史・文化に関わる資料の収集とデジタル化を行い、デジタルシステムに集約・整理・公開する。	収蔵アナログ写真資料のデジタル化作業 10万点 地域資料収集作業 8地域 収蔵品写真撮影 4,050点 民話資料データ化 650話	収蔵アナログ写真資料のデジタル化作業(10万点)、地域資料収集作業(8地域)、収蔵品写真撮影(4,050点)、民話資料データ化(650話)の完了、ホームページの公開	【今後のスケジュール】 デジタル博物館の広報活動 令和4年度成果目標 デジタル博物館サイトの年間アクセス数 56,000回/年	【R3成果目標設定の考え方】 収蔵・収集する資料量から勘案して設定した。
5		サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ~ R3	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入環境を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	サッカーキャンプ受入に必要な芝生の維持管理及び草種変更	サッカーキャンプ誘致件数:2件/年	【今後のスケジュール】 令和5年度以降、指定管理制度導入による削減額を調査・検討し指標を設定する。	【R3成果目標設定の考え方】 他市町村のサッカーキャンプ受入状況を参考に設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	企業誘致推進業務委託事業	H24～R3	企業誘致活動を実施し、県外企業の市内進出に繋げる。	企業訪問による情報収集 開発事業者に関する情報収集 企業誘致関連セミナーへの参加 月間報告書による進捗状況の報告 投資環境視察ツアーの実施	開発事業者等のうるま市投資案件現地視察:10社 目標企業誘致件数:2社以上	【今後のスケジュール】 投資環境ツアーにより本市の持つ投資環境をPRする場を設けることにより、企業誘致活動の促進を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘定して設定した。	
1	コンカレントエンジニア人材養成事業	H24～R3	ものづくりに関する人材養成研修を実施し、技術者の技術力向上を図る	・ME(モールドエンジニア)研修:基礎知識の習得(5ヶ月) ・PM(プロジェクトマネージャ)研修:具体的事例をテーマとした研修(1～5ヶ月) ・CE(コンカレントエンジニア)研修:具体的事例(PM研修からレベルUP)をテーマとした研修(1～5ヶ月) ・短期研修:企業向けの短期的な研修(1～5日間)	技術力が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き技術者の技術力向上を図るため、事業を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が技術力が向上したと考えられる値として設定した。また本事業の在り方についてアンケートにより検証する。	
1	商品プロモーション事業	H25～R3	物産展への出展支援やPR活動及び商品開発の支援を行うことで、市内中小企業の販路拡大や売上の向上を図る。	・物産展への出展支援 ・PR活動 ・商品開発講座	・物産展の1事業者平均売上額80,400円以上 ・商談成立件数12件以上 ・商品開発講座参加者へのアンケートで講座内容が商品開発等への参考となったか(80%以上)を含め、本講座のあり方を検証	【今後のスケジュール】 売上効果が高くなるような仕組みを継続して構築していき、事業者の自助努力で商談成立に結び付ける商品を開発出来るよう講座の開催及び助言を行い事業者のスキルアップに繋げていく。	【R3成果目標設定の考え方】 売上額及び商談成立件数について、過去の実績を勘案して設定した。商品開発講座については、参加者のうち、大多数が参考になったと考えられる値として設定した。また、本講座のあり方についてアンケートで検証する。	
1	国際物流トライアル推進事業	H30～R3	市内事業者の新たな物流モデル構築の取組に対して実証実験を実施し、取扱貨物量の増加を図る	中城湾港の主要貨物となりうる完成自動車の中城湾港を活用した海外向け中古車輸出、又は新車の移入(100台以上)	物流モデルの創出件数(2件以上)	【R4成果目標】 国際物流トライアル推進事業における中城湾振興地区での取扱貨物1モデルあたり2,880トン以上 【今後のスケジュール】 R3まで実証実験に取り組む	【R4成果目標設定の考え方】 定期航路化に必要なトン数を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	産業基盤整備推進事業	H30 ～ R3	市内における新たな産業集積地の確保を目的とした産業基盤整備計画を策定し、事業化に向けた検討及び企業進出の受け皿確保、新規雇用の創出を図る。	産業基盤整備事業設計調査の実施(現地測量調査、地質調査、基本設計、整備効果調査、整備事業計画、地権者・住民の合意形成)	産業基盤整備事業設計調査の完了(現地測量調査、地質調査、基本設計、整備効果調査、整備事業計画、地権者・住民の合意形成)	[R7成果目標] 先行街区における新規雇用者数 450人 【今後のスケジュール】 R4 事業認可 R5 先行用地買収 R6 基盤整備(先行街区) R7 企業入居(先行街区)	[R7成果目標設定の考え方] 『産業基盤整備計画基本計画』の目標値を基に設定した。	
1	研究開発支援事業	H30 ～ R3	市内の企業に研究開発費の一部を支援し、製品開発に繋げる。	研究及び実証共用機器使用に係る経費補助 補助対象事業:4社	商品開発件数:3社	【今後のスケジュール】 今後も市内研究施設を十分に活用し、市内業者による商品開発の推進を図る。	[R3成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。	
1	産業振興計画策定事業	R3	『うるま市産業振興計画』(平成29年3月)の効果検証を行うとともに、本市の経済的自立を促す経営手法の導入と地域資源の活用による持続可能な経済振興施策を展開するための計画策定を通して、新規就業者の創出を図る。	産業振興計画の策定実施(現計画の目標達成状況の検証、現状把握、地域住民・企業ニーズの把握、地域資源の活用による経済施策の検討、民間経営手法の導入による各種施策の検討、各施策分野の出口戦略検討、委員会運営)	産業振興計画の策定完了(現計画の目標達成状況の検証、現状把握、地域住民・企業ニーズの把握、地域資源の活用による経済施策の検討、民間経営手法の導入による各種施策の検討、各施策分野の出口戦略検討、委員会運営)	[R4成果目標] 策定した産業振興計画の中で、新規就業者の創出に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした産業施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R3 計画策定 R4 計画に基づき経済施策を展開 R5 事業効果検証、実施事業の改善	[R4成果目標設定の考え方] 策定する産業振興計画において目標値を設定し、目標の達成に向けた個別具体的な経済施策を展開する。	
2	就労支援事業	H24 ～ R3	求職者や企業に対するきめ細かな支援を行い、雇用の拡大につなげる。 また、児童生徒にキャリア教育を実施し、働くことを考えてもらうきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	求職者や企業に対する総合的な就業支援の実施 幼小中高・既卒生・高校等中退者へのキャリア教育	就労支援を行った新規雇用者数: 350人以上 小中高生、既卒生、高校等中退者へのアンケートを実施し、働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、アンケート調査により本研修のあり方を検証	【今後のスケジュール】 求職者に対し、継続的な支援体制の強化を図るとともに将来を担う児童・生徒の就業意識の向上や就労観・職業観の醸成に努める。	[R3成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。 ・大多数の小中高生、既卒生、高校等中退者が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	地域雇用人材育成事業	H24 ～ R3	新規雇用者を対象に、雇用後に行われる人材育成(OJT、OFF-JT等)支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。 また、テレワーク人材を育成し、即効性のある市民の新たな収入源確保に繋げ、地域経済の立て直しを図る。	・新規雇用者を対象にした人材育成の実施 ・テレワーカーを対象にした人材育成の実施	・新規雇用者を対象にした人材育成の完了 ・テレワーカーを対象にした人材育成の完了	【R4成果目標】 ・人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率 90%以上(1年後) ・人材育成事業実施後、テレワーカーとして働く市民 135名 【今後のスケジュール】 今後も人材育成支援を実施し、地域人材の雇用促進を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 ・人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率については、過去の実績を勘案して設定した。 ・テレワーク人材育成については、育成計画を基に設定した。	
3	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	H24 ～ R3	うるま市の魅力をPRするため、雑誌やインターネット等のメディアを活用した観光情報配信等を行い、観光誘客を図る。	・HP・SNSによる情報発信 ・インフルエンサーを活用したPR活動の実施 ・PR動画の制作	・主要施設来場者数 355,051人以上	【今後のスケジュール】 誘客効果の最大化を目指すため、より効果的なメディア活用の方法を検証し、展開していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	めんそーれうるま！キャンプ・合宿事業	R1 ～ R3	プロスポーツチームや実業団などのアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図る。	・推進協議会の開催 ・スポーツ合宿誘致活動 ・事業効果測定(来訪者数の把握・直接消費額の算出) ・クラブハウス建設工事の実施 ・サッカーコート2面目の芝整備の実施	・キャンプ・合宿件数 11件以上 ・クラブハウス建設の完了 ・サッカーコート2面目の芝整備完了	【今後のスケジュール】 令和元年度に設立したスポーツコンベンション推進協議会を受入主体としてプロスポーツチーム等の誘致に取り組む。また、クラブハウスを建設することにより、キャンプの定着及び大小様々な大会等の誘致を促進し、経済的効果の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	サイクルツーリズム推進事業	R2 ～ R3	サイクリングを目的とした観光誘客を図るため、受入環境の整備及び国内外向けプロモーションを実施する。	・受入環境の整備(ベンチ、自転車ラック、案内標識の設置等) ・サイクリングマップの作成 ・国内外向けプロモーションの実施	・受入環境の整備完了(ベンチ、自転車ラック、案内標識の設置等) ・サイクリングマップの作成完了 ・国内外向けプロモーションの完了	【R4成果目標】 サイクリングルート上の商業施設(勝連城跡休憩所)の売上高: 16,960千円以上 【今後のスケジュール】 サイクリングを目的とした観光客の受入環境の整備及び国内外向けプロモーションを実施し、地域経済の活性化に繋げる。	【R4成果目標設定の考え方】 設定したサイクリングルート上の商業施設等の売上高を設定し、検証することとした。目標値については、過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		R3成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
3		観光防災危機管理対策事業	R3	災害時における観光客等の安全を確保し、安心・安全・快適な観光地の形成を図るため、観光防災危機管理計画を策定するとともに、勉強会や訓練を実施する。	・観光防災危機管理計画の策定 ・観光防災危機管理体制の検討 ・事業所マニュアルの作成 ・勉強会及び訓練の実施 ・観光安全マップの作成	・観光防災危機管理計画の策定完了 ・勉強会(3回)を実施し、観光客の安全を確保する仕組みが分かった(80%以上) ・訓練(1回)を実施し、安全・確実に避難行動がとれた(80%以上)	【R4成果目標】 計画をもとに観光客が参加する避難訓練(1回/年)を実施し、参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか(80%以上)を含め、アンケートで本事業の在り方を検証する。 【今後のスケジュール】 観光防災危機管理計画に基づいた取組みを進め、安全・安心・快適な観光地の形成を図る。	【R4成果目標設定の考え方】 大多数の参加者が安全・確実に避難できたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
4		勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	H24 ~ R5	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	・AR・VR制作業務の実施 ・入口広場整備工事の実施 ・用地取得の実施 ・物件移転補償(公共補償)の実施	・AR・VR制作業務の完了 ・入口広場整備工事の完了 ・用地取得の完了 ・物件移転補償(公共補償)の完了	【R4成果目標】 年間入場者数25万人 【今後のスケジュール】 H30～R3 文化観光拠点整備工事 R4 供用開始 R5 駐車場工事、イベント広場設計工事	【R4成果目標設定の考え方】 過去に策定した計画を参考に設定した。	
5		沖縄らしい風景づくり推進事業	H24 ~ R3	景観地区等の指定により、各地区ごとのまちづくり計画に基づく景観形成事業を実施することで、観光地としての魅力向上を図る。	景観地区等指定委託業務(与那城伊計島地区)の実施 まちなみ景観助成の実施	景観地区指定委託業務(与那城伊計島地区)の完了 まちなみ景観助成の実施 訪問観光客の景観に関する満足度(80%以上)	【今後のスケジュール】 景観・風景づくりを推進し、観光地としての魅力向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 景観地区の指定により、景観地区のあり方を検証し、観光地としてふさわしい景観であると概ね肯定的であると考えられる数値として設定した。	
6		ICT活用島しょ地域児童生徒交流実証事業	R2 ~ R3	生活環境や世代が異なる人々との交流を促進するため、ICTを活用した交流体験・交流学习を行う。	・体験(学習)プログラムの開発 ・体験(学習)プログラムの実証	・保護者へのアンケートで、生活環境や世代が異なる人々との交流により、児童生徒の視野が広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 ・児童生徒のライフスキル自己評価10%増加	【今後のスケジュール】 体験(学習)プログラムの開発を引き続き実施し、生活環境や世代が異なる人々との交流を促進する。	【R3成果目標設定の考え方】 ・児童生徒のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 ・児童生徒のライフスキル自己評価について、自他ともに変化が認められる数値として設定した。	
7		うるま市の頑張る農業を応援します事業	H30 ~ R3	強化型ハウスの整備に必要な支援を行い、農作物の出荷量の向上を図る。	R3強化型パイプハウス4,000㎡、生産農家8戸	強化型パイプハウス設置の完了	【今後のスケジュール】 導入した栽培施設にて安定生産を図り、直売所、給食センター等への安定供給に繋げ、地産地消・ブランド化への推進に努める。	【R3成果目標設定の考え方】 沖縄県農林水産部指標を参考に設定する。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	津堅島農業活性化事業	R1 ~ R3	島の5割が優良農地にも関わらず灌漑施設が未整備である津堅島において、散水作業を行い、津堅島農業の活性化を図る。	津堅島農業支援業務の実施 ・散水車借り上げ、ニンジンほ場への散水実施	津堅島農業支援業務の完了	【R4成果目標】 津堅ニンジン反収2.0t/10a 【今後のスケジュール】 津堅ニンジンを含めた栽培に係る支援を実施し、津堅島における農産物の増産に取り組む。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
8	小学校学力向上対策推進事業	H24 ~ R3	児童の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	学習支援員18名を配置し、授業や放課後の補習授業、サマースクールにおいて効果的な学習支援を行う 対象学年：小学5年 対象科目：算数	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 小5算数平均正答率 県平均以上	【今後のスケジュール】 引き続き個々の学力に応じた学習指導を行うことにより、沖縄県学力到達度調査の正答率の向上に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
8	中学校学力向上対策推進事業	H24 ~ R3	生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。	学習支援員10名を配置し、授業や放課後の補習授業、サマースクールにおいて効果的な学習支援を行う 対象学年：中学2年 対象科目：数学	沖縄県学力到達度調査沖縄県平均正答率と本市の差 中2数学平均正答率 - 1.5%とする。	【今後のスケジュール】 引き続き個々の学力に応じた学習指導を行うことにより、沖縄県学力到達度調査の正答率の向上に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
9	ひとり親家庭生活支援モデル事業	H25 ~ R3	支援が必要なひとり親家庭の中でも自立する意欲のある家庭に対し、民間アパート等の居室を提供するとともに、就労や児童生徒の学習支援等を実施し、自立に向けた総合的な支援を行う。 また、各支援世帯に合った、より細やかな支援計画を作成し、支援の充実を図る。	居室借上数(10部屋) 技術力向上支援(12回) 家計簿管理支援(100回) 支援世帯に合った個別支援(50回) 児童生徒の学習支援(144回)	・居室借上、転職・債務整理等により生活改善した世帯の割合(95%) ・学習習慣の定着度(80%) 保護者、児童生徒からのアンケート調査により把握する	【今後のスケジュール】 ・支援が必要な家庭への周知活動を工夫し、強化する。 ・支援世帯の年齢層、世帯構成に合わせた支援計画を作成する。 ・県母子会やハローワーク等と連携し、就労や資格取得講座開催の情報提供を行い、早期自立へ向けた支援を行う。 ・児童生徒の学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
10	中学校教育指導推進事業	H24 ~ R3	特別な支援を要する不登校の児童生徒等に対応した支援を行うことで、不登校の改善を図る。 また、児童生徒及び家族が抱える様々な問題に対して、多様な支援方法を用い課題解決を図る。	スクールソーシャルワーカー4名配置	・不登校児童生徒復帰率59%以上(のべ復帰者/のべ不登校者) ・児童生徒及び家族からの相談件数(実数)に対しての課題解決件数割合34%以上	【今後のスケジュール】 学校での相談活用やケース会議、関係機関と連携を強化を図り特別な支援を要する児童生徒へ継続的に支援を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
10			教育相談事業	H24 ～ R3	教育相談室に相談員を配置し、幼児・児童生徒・教師・保護者の教育上の問題や悩みの相談に応じ支援し、課題の解決を図る。	教育相談員配置数(9人)	相談件数実績に対するケース終結の割合を32%以上を目標にする。	【今後のスケジュール】 継続的に各地区に有資格者の相談員を配置し、知能検査や発達検査を教育相談にいかし、不登校の未然防止に向け、学校や園での教師コンサルに対応できる体制を整える。	【R3成果目標設定の考え方】 過去のケース終結割合を勘案して設定した。
10			適応指導教室事業	H24 ～ R3	小中学生の心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対し、適応指導教室を開級し、児童生徒に自立心や社会性を高めることを目指す。	適応指導教室指導員配置数(3人)	体験活動に参加することができた割合85%以上 中学校3年生の卒業後の進路決定割合80%以上	【今後のスケジュール】 入級前の子や午前の通級が不安定な子等の居場所確保のために継続して支援体制を整える。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
10			スポーツ力向上促進事業	R1 ～ R3	スポーツを通じた人材育成のため、スポーツ教室の開催や外部指導員を活用した部活動顧問の指導力向上などに取り組み、部活動加盟率の改善を図る。	・トップアスリートによるスポーツ教室等の開催 ・外部指導員による部活動顧問への技術指導等	・部活動加盟率及び在籍生徒数58%以上(2,278人) ・新たに部活動へ加盟した生徒へアンケートを行い「部活動を続けたいか。(80%)」を含め、取組のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・部活動加盟率及び在籍生徒数の推移 R2・・・55%(在籍数2,160人) R3・・・58%(在籍数2,278人) R4・・・61%(在籍数2,396人)	【R3成果目標設定の考え方】 ・全国的な目標値を基に設定した。 ・新たに部活動へ加盟した生徒のうち、大多数がスポーツを通じた人材育成につながったと考えられる値として設定した。また、本取組のあり方についてアンケートで検証する。
10			教育ICT支援員派遣事業	H27 ～ R3	多くの教員がICT機器を活用した授業等を効果的かつ持続して実施できるよう、小中学校に教員をサポートするICT支援員を派遣する。	・ICT支援員の派遣 ・ICT機器を活用した授業等の実施	・児童生徒へのアンケート調査 「ICT機器を活用した学習活動により、学習意欲が向上したと思うか」:80%以上	【今後のスケジュール】 ICT機器を活用した授業等を継続することで、児童生徒の学習意欲を高め、学習習慣の定着を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち、大多数にとってICT機器を活用した学習活動により、学習意欲が向上したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
11			自主防災組織育成事業	H25 ～ R3	自主防災組織の結成を推進し、地域防災力の向上を図る。	・新たに結成された自主防災組織に対する防災資機材整備補助実施 補助団体:5団体 補助額:1団体2,000千円(上限額) ・自治会や自主防災会へ防災説明会や訓練支援 防災説明会:5回 訓練支援:5回	整備した防災資機材等を活用した防災訓練を実施することにより、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。 防災訓練の回数については、各防災組織が1回以上訓練を実施	【今後のスケジュール】 令和3年度以降:継続して自主防災組織の防災訓練等を支援していく。各年度において、整備した防災資機材活用の援助を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 各防災組織が1回以上訓練するものとして設定

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

うるま市		計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
12	新たな交通システム検討調査事業	R3	公共施設間連絡バス現行ルートの検証及び見直し、既存バスや離島航路との結節、市民ニーズを整理し、地域特性に応じた運行形態による実証実験を踏まえ、新たな公共交通システムの導入に向けた検討調査を行う。	新たな交通システムの検討及び調査	新たな交通システム検討調査報告書としてとりまとめる。	【R5成果目標】 年間利用客数:22,500人 【今後のスケジュール】 R3: 新たな交通システム検討 R4: 運行体制の構築、協議会 R5: 本格運行(一部地域)開始	【R5成果目標設定の考え方】 過年度実績を元に30%の増加を図るものとして設定した。

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	①	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	H24 ~ R3	観光客の満足度確保を図るため、宮古島市各地に点在している文化財を活用し、散策コースの策定及び環境整備・美化作業を行う。	・綾道(上野野原・下地東コース)の策定 ・綾道(上野野原・下地東コース)のパンフレット作成・印刷(1,200部) ・綾道総合マップの作成・案内板設置 ・WEB公開システムへのコース追加 ・文化財説明板および標柱の設置	観光地として満足できる文化財めぐりができたか(80%以上)を含め、散策コースを活用した観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 令和3年度に全コースの策定を終了後、引き続き策定したコースの美化整備を行い、文化財巡りを実施するなど広く周知活動を行い、観光客集客を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の満足度が図られたと考えられる値として設定した。
2		観光地アクセス道路環境美化強化事業	H24 ~ R3	魅力的な観光地形成を図るため、各観光地へのアクセス道路の環境美化(除草・清掃)を行う。	観光地アクセス道路の環境美化の実施:32路線	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地アクセス道路環境の美化強化のため、引き続き取り組みを実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 本事業のあり方について、アンケート調査を実施し、観光地としてふさわしい道路環境及び景観形成が図られていると感じた値として80%以上を設定し、アンケート調査の数値を基に本事業のあり方を検討する。
2		観光地公園環境美化強化事業	H24 ~ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地として利用されている公園の環境美化作業を行う。	観光地公園12箇所の環境美化実施	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光客の増加による観光地環境の変化に注視しながら、最適な回数、美化活動箇所、内容を検討する。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3		誘客促進事業	H24 ~ R3	本市への観光誘客を図るため、県内外での観光イベントでの観光プロモーション等及び観光マネジメント業務委託を実施する。	観光PRイベント等への参加 観光マネジメント業務の実施	・入域観光客数642,000人以上	【今後のスケジュール】 プロモーション活動を継続的に実施し、令和3年度入域観光客数642,000人以上を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績及びコロナウイルス感染症の影響を勘案し設定した。
4		生鮮水産物流通条件不利生解消事業	H25 ~ R3	本市に水揚げされた生鮮水産物の販路確保を図るため、宮古島市から沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の輸送費を補助する。	生鮮水産物の空路輸送に対する補助(3漁協)	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量(118.9トン以上)	【今後のスケジュール】 今後も沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送に対し、継続的に補助を行い、本市が持つ地理的事柄の不利性を解消し、水産業の活性化を図っていく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業番号 パ 細	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
R3事業内容					R3活動目標(指標)			今後の展開方針等	補足説明等
4			宮古島市海業センター整備事業	H24 ~ R3	水産物の安定的な種苗生産供給及び種苗栽培の施設育成を図るため、宮古島市海業センターの機能強化整備を行う。	・研修施設建築工事 ・研修施設備品購入設置	・研修施設建築工事の完了 ・研修施設備品購入設置の完了	【R4成果目標】 種苗生産量 ・シラヒゲウニ稚ウニ 25,000個以上 ・タイワンガサミ稚蟹 140,000尾以上 研修施設利用者 320人/年 【今後のスケジュール】 R3: 研修施設工事 研修施設備品購入 R4: 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5			救命処置普及強化支援事業	H28 ~ R3	市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組み、観光客や市民の安全の確保を図る。	・定例救命講習会の実施:21回 ・出前救命講習会の実施 ・救命講習に関する普及啓発活動	救命講習会受講者数 950名以上 救命講習会受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか(80%以上)を含め本事業のあり方を検証する。 コンビニエンスストアに2カ国語対応AEDを19台設置する。	【今後のスケジュール】 今後も目標設定の講習会を継続的に開催し、市民の救命能力の向上を図るとともに2カ国語対応可能なAEDを設置し外国人観光客にも対応する	【R3成果目標設定の考え方】 令和2年度9月末までの実績を考慮し設定を行った。 島内店舗19店
6			課題を抱える児童生徒の支援事業	H24 ~ R3	課題や問題のある児童生徒の生活環境や不登校の改善を図るため、個々に応じた適切な指導・支援を行うスクールソーシャルワーカーおよび問題行動学習支援員を配置する。	・社会福祉士配置:1人 ・スクールソーシャルワーカー配置:5人 ・問題行動学習支援員配置:3人	・不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつながった児童生徒の割合60%以上	【今後のスケジュール】 本事業の周知とスキルアップのための事例検討会、教育相談等連絡会、福祉医療等制度の勉強会等の研究及び研修を実施する。 また、学校訪問による情報連絡会の開催、連携支援を実施する。生徒の登校復帰を目指した取り組みを行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6			選手派遣支援事業	H24 ~ R3	島外との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、スポーツや文化活動において、地区選抜代表選手として県大会や全国大会へ派遣される旅費に対し補助金を交付する。	児童生徒の大会派遣(県内・県外)	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒が広い視野を持つことを目標に大会派遣への支援を行う	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持たたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	下地島空港を活用した航空貨物輸送体制構築事業	R3	宮古圏域における農水産物等の移出量増及び滞貨状況の改善等を図るため、貨物上屋のない下地島空港において航空貨物輸送体制を構築する。	下地島空港からの航空貨物輸送販路拡大支援(物産展など)	下地島空港における航空貨物輸送体制の構築	<p>[R4成果目標]</p> 下地島空港における航空貨物取扱量: 584t/年	<p>[今後のスケジュール]</p> 下地島空港において航空貨物輸送体制を構築することで、農水産業の振興・生活物資の共有安定・観光客受入体制の強化に繋げる。	<p>[R4成果目標設定の考え方]</p> 事業者へのヒアリングを基に設定した。
8	平良港総合物流センター整備事業	H29 ~ R3	宮古地域における物流の安定化を図るため、総合物流センターを整備する。	平良港総合物流センター建築工事(2年目)の実施	平良港総合物流センター建築工事(2年目)の完了	<p>[R4成果目標]</p> 取扱物流量 289千t以上/年	<p>[今後のスケジュール]</p> R2~3 建築工事 R4 供用開始	<p>[R4成果目標設定の考え方]</p> H26~H30の取扱物流量の伸び率を基にR4の取扱物流量を設定した。
9	地下水保全調査事業	H29 ~ R3	伊良部島において新たな新水源開発可能な地点を選定する。また伊良部島地下水を持続的に使用するための適正揚水量等の稼働シミュレーションを行い、適切な地下水管理の基礎資料を作成する。	1)伊良部島における水源開発追加調査の実施	1)伊良部島における水源開発追加調査の完了	<p>[今後のスケジュール]</p> 定期的に地下水利構造の把握・観測を行い、地下水の保全に努める。また、現在の本市を取り巻く環境に見合う保全方法を検討していく。	<p>[R4成果目標設定の考え方]</p> 1)調査結果を基に水源地を確保することを目標として設定した。	
10	城辺地区世代間交流施設整備事業	R1 ~ R3	児童の居場所を確保することによる保護者の負担軽減及び高齢者の生きがいづくりを図るため、城辺地域に子どもや高齢者など多世代が集い、交流できる機能などを備えた施設を整備する。	建設工事の実施	建設工事の完了	<p>[R4成果目標]</p> ・負担軽減が図られたか(80%以上)を含め、児童保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・生きがいづくりに寄与したか(80%以上)を含め、児童と交流した高齢者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	<p>[今後のスケジュール]</p> R3: 建設工事 R4: 供用開始	<p>[R4成果目標設定の考え方]</p> ・対象者のうち大多数が負担軽減が図られたと考えられる値として設定した。 ・対象者のうち大多数が生きがいづくりに寄与したと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宮古島市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
11		宮古島市観光景観形成推進事業	R2 ~ R3	電線類を地中化することで、景観に配慮した風景を形成し更なる観光地としての魅力向上を図るため、無電柱化を推進する。	・引込管路設置工事の実施 ・幹線部(電線)実施設計の実施	・引込管路設置工事の完了 ・幹線部(電線)実施設計の完了	<p>【R6成果目標】 近隣観光施設利用者を対象として、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R4: 幹線部(電線)の入線工事・機器購入、引込部(通信)の実施設計及び入線工事 R5: 幹線部(通信)の実施設計及び入線工事 R6: 供用開始</p>	<p>【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地としての魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	スポーツリズム推進事業	H24 ~ R3	プロサッカーチームのキャンプ誘致を図るため、市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行う。	良質な芝生を維持する為の適正管理	プロサッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	【今後のスケジュール】 良質な芝生の維持管理を行い、サッカーキャンプ定着に向けて取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 キャンプ実施期間に受入可能な最大チーム数を目標として設定した。	
1	南城市産商品販売力強化事業	H27 ~ R3	市産商品の売上増加を図るため、市産商品の販売力強化支援を行う。	・セミナーの開催 ・市産商品のブラッシュアップ ・通販サイトへの販路開拓	南城市地域物産館における年間売上15%増(前年度比) 売上目標額 4,500万円以上	【今後のスケジュール】 コロナ禍においても販売が出来る物流の仕組みを構築するとともに、コロナ収束後は、これまでのノウハウを活かした市内イベントの自主運営を行い、市産商品のPR及び販売活動を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 第2次南城市観光振興計画の目標値を参考に設定した。	
1	南城市まつり実行委員会支援事業	H28 ~ R3	南城市ファンを増加させリピーター獲得を図るため、南城市まつり実行委員会がまつりの開催に合わせて実施する市民と来訪者との交流促進に係る取組に要する経費を補助する。	南城市まつり実行委員会への補助 ・南城市まつりの企画・運営 ・オンライン配信 ・イベント等の分散実施	市外からの参加者のうち、「南城市が好きになり、また訪れたい」と回答した人の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 南城市まつりを通じて創出した南城市ファンに対し定期的なアプローチを行い、リピーターとして定期的に再訪してもらえるような仕組みを作るとともに、創出されたプログラムを通じて新たなリピーター獲得に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 第2次南城市観光振興計画の中間目標値を設定した。	
1	南城市デジタルアーカイブ実施事業	H30 ~ R3	南城市に所在する文化財等を活用し、観光誘客を図るため、文化財等をデジタルアーカイブ化し、ウェブ上で公開する。また、アーカイブを活用した観光誘客コンテンツについて、追加制作する。	・歴史資料のデジタルアーカイブ化及び公開 ・文化財観光コンテンツの追加制作:3エリア ・普及イベントの実施 ・運用ガイドライン策定	文化財デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数 延べ1,200人以上	【今後のスケジュール】 継続してアーカイブの充実化および利用普及の取り組みを行い、地域の観光振興および文化振興を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 他自治体の類似事業の実績を参考に設定した。	
1	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業	H27 ~ R3	観光客の市内滞在時間の延長を図るため、斎場御嶽へ向かう市道1号線に聖地の雰囲気合った暑さ対策のための休憩施設を設置する。	休憩施設(日陰棚及びベンチ)の設置	休憩施設(日陰棚及びベンチ)の設置完了	【R4成果目標】 市内滞在時間 1.65日以上 【今後のスケジュール】 通りの関係者と協働で清掃活動やイベントを実施し、通りを盛上げ滞在時間を増やしていく。	【R4成果目標設定の考え方】 第2次南城市観光振興計画の中間目標値を設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			優良繁殖牛導入支援事業	H26 ~ R3	市内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、和牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の貸し付けるものに対して支援を行う。	優良母牛導入頭数:50頭	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:117.1%以上	【今後のスケジュール】 優良繁殖牛を継続的に更新していくため、営農指導を行い、優良な子牛の品質及び価格向上を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			優良乳用牛リース支援事業	H27 ~ R3	酪農家の経営安定化に向けて、生産乳量の増加と乳質の確保を図るため、優良乳用牛を導入し、市内の酪農家に貸し付ける。	優良乳用牛導入頭数:50頭	乳用牛1頭あたりの生産乳量:7,988kg以上(年間) 乳質(脂肪率):3.87%以上	【今後のスケジュール】 生産乳量の増加と高品質な乳質を維持するため、営農指導等を行い、酪農家の経営安定化を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 前年度の実績を勘案して設定した。
3			低炭素なまちづくり推進事業	H28 ~ R3	二酸化炭素排出量の削減を図るため、防犯灯の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替える防犯灯設置者(自治会)に対して補助を行う。 また、南城市文化センターの舞台照明等をLED化する。	既存防犯灯のLED化607灯 南城市文化センターの舞台照明等LED化一式の実施	二酸化炭素排出量の削減 防犯灯 62,901kg-CO2以上/年 削減 南城市文化センターの舞台照明等LED化一式の完了	【R4成果目標】 南城市文化センター舞台照明 27.48t/年 削減 【今後のスケジュール】 事業効果を市広報誌等で周知する事により、市民に対しても、地球温暖化対策の意識啓発を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 防犯灯のLED化前後の消費電力の差及び補助対象の台数から、削減される二酸化炭素量の推計値を算定して設定した。 【R4成果目標設定の考え方】 南城市文化センター舞台照明等については、使用率40%で、1日8時間点灯×100日間で計算した。
4			学習支援員配置事業	H25 ~ R3	児童生徒の学力向上を図るため、市内の小中学校に学習支援員を配置し、児童生徒の習熟の程度に応じた学習支援を行う。	・市立8小学校へ学習支援員9名配置 ・市立4中学校へ学習支援員4名配置	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:県平均以上 ・中学校:県平均以上	【今後のスケジュール】 学習支援員の配置人数については検討を行い、児童生徒の個々の学力に応じた学習指導を行い、学力向上に繋げる。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4			特別支援教育支援員配置事業	H25 ~ R3	特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、市内の幼稚園、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、それぞれに対応した支援を行う。	・市内5幼稚園:特別支援教育支援員12名配置 ・市内8小学校:特別支援教育支援員34名配置 ・市内4中学校:特別支援教育支援員8名配置	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者のアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員の配置対象については検討を行い、特別な支援を要する園児・児童・生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 大多数の対象児童生徒等が支援員の対応に満足していると考えられる値として設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。
4			学習支援教材ソフト整備事業	R2 ~ R3	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を高めるため、市内小中学校に整備された電子黒板で稼働する指導者用デジタル教科書を整備する。	市内中学校5校(久高中含む)に、主要教科のデジタル教科書を整備する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上	【今後のスケジュール】 今後もICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南城市		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			ICT支援員派遣事業	R3	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、市内の小中学校にICT支援員を派遣する。	市内13小中学校にICT支援員2人を派遣する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上 ・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上	【今後のスケジュール】 効果的に、ICTを授業に活用してもらうため、ICT支援員を継続的に派遣する。	【R3成果目標設定の考え方】 類似事業の実績を参考に設定した。
5			なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ~ R3	南城市の歴史・文化の継承を図るため、南城市の歴史・文化に関して調査、資料収集、編纂し、冊子として刊行する。また、刊行した冊子や調査成果を活用し、市民等を対象とした学習会を開催する。	・『南城市の民俗』『大里の民話』刊行(各350部) ・『民俗編』会議(2回)、調査、原稿執筆 ・学習会の開催(2回)	学習会への参加人数 30人以上×2回	【今後のスケジュール】 R4以降も市の歴史・文化の調査研究および成果の普及を継続し、その継承を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 類似取組の実績を参考に設定した。
5			奥武区文化振興施設整備事業	R2 ~ R3	奥武区における伝統行事、芸能等の文化を保存継承するため、災害時に一時避難所として活用でき、地域文化の活動拠点機能及び資料展示機能を有する文化振興施設を整備する。	実施設計、土質調査、用地測量、建築工事、備品購入等の実施	実施設計、土質調査、用地測量、建築工事、備品購入等の完了	【R4成果目標】 地域の文化関連イベント等の開催15回以上 ・施設利用者 800人以上 ・(施設利用者アンケートによる)奥武区の伝統文化等に対する認識の向上が図られた割合 80%以上 【今後のスケジュール】 R3: 実施設計等、建築、備品購入 R4: 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 類似規模施設の実績等を勘案して設定した。 また、本事業の効果についてアンケートにより検証する。
6			南城佐敷・玉城IC周辺地区現況基礎調査事業	R3	南城佐敷・玉城IC周辺地区へバスターミナル整備を含めた一部の公共機能とまちに不足する機能を集約(確保)するために現況基礎調査を実施する。	現況基礎調査(測量業務、課題整理等業務)の実施	現況基礎調査(測量業務、課題整理等業務)の完了	【R4成果目標】 市民が必要とする機能、まちに不足する機能を1機能以上決定する。	【R4成果目標設定の考え方】 現況基礎調査の結果を踏まえて、市民が必要とする機能、まちに不足する機能を整理し、誘致する機能を決定する。

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

国頭村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	スポーツコンベンション観光振興事業	H25 ~ R3	スポーツ合宿の実施増加を図るため、野球場電光掲示板の整備や投てき競技(ハンマー投げ、円盤投げ、砲丸投げ、やり投げ)の練習場(投てき場、ハンマー投げ・円盤投げ用囲い及びサークル含む)を整備する。また、陸上競技場トラックの改修向け、実施設計を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 野球場電光掲示板工事の実施 投てき場整備実施設計の実施 投てき場整備工事の実施 投てき場備品購入 陸上競技場トラック整備実施設計 	<ul style="list-style-type: none"> 野球場電光掲示板工事の完了 投てき場整備実施設計の完了 投てき場整備工事の完了 投てき場備品購入の完了 陸上競技場トラック整備実施設計の完了 	【R4成果目標】 合宿誘致件数:56件以上 【今後のスケジュール】 R3年度 野球場電光掲示板整備完了 投てき場整備完了 投てき場備品購入完了 陸上競技場トラック整備実施設計完了 R3年度 野球場電光掲示板供用開始 投てき場供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	森林公園フィールド活用推進事業	R3	国頭村森林公園の利用者増加を図るため、公園内の展望台の整備及び天文台施設に天体観測機器を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 展望台建築工事実施設計の実施 展望台建築工事の実施 天体観測機器購入業務の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 展望台建築工事実施設計の完了 展望台建築工事の完了 天体観測機器購入業務の完了 	【R4成果目標】 年間利用者数:23,059人以上 【今後のスケジュール】 R3年度 展望台建築工事の完了 天体観測機器購入業務の完了 R4年度 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	多自然川づくり事業	H24 ~ R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 河川工事の実施(L=87m) 	河川工事整備率 100%(890m/全体延長L=890m)	【R4成果目標】 整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数 20人 【今後のスケジュール】 令和2年度 ・河川整備工事、現場管理業務 令和3年度 ・河川整備工事 令和4年度 ・供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 類似の商店街観光誘客イベントを参考に設定した。 類似の観覧会(辺土名川水生生物観覧会)等を参考に設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	大宜味村観光情報発信整備事業	H24 ～ R3	観光資源(文化財、自然資源、特産品、体験事業)などの情報をより効果的に広く発信し、大宜味村産業まつりへの支援を行う。また、大宜味村の認知度向上を図るため、県内外でPRイベントを開催し、情報発信を図っていく。	・PRイベント	PRイベントの参加者数 約11,000名以上	【今後のスケジュール】 大宜味村の観光資源を効果的に発信し、認知度向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	環境保全・美化推進事業	H28 ～ R3	地域住民や観光客の安全確保及び貴重な野生生物の保護を図るため、ハブ、野良犬、野良猫対策を行う。保護した猫については譲渡強化を図る。	・賃金作業職員の配置(二人) ・賃金調査職員の配置(二人) ・各保護・捕獲器の設置(ハブ:30台、犬:3台、猫:10台) ・保護し譲渡したネコの去勢・避妊、マイクロチップ装着の実施 ・保護した野良猫の譲渡強化を図るため、愛護団体と連携し保護ネコの引き渡しを実施する。	ハブ咬傷被害:0件 ヤンバルクイナの生息率:33.3%以上 保護した猫の譲渡:80件以上	【今後のスケジュール】 咬傷被害等の未然防止と野生生物の保護を継続的に実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	ふるさと河川環境再生・活用整備事業	H26 ～ R3	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、大川川とその周辺整備を行う。	・護岸整備工事の実施 L=220m ・用地購入の実施 5筆	・累計河川工事整備率 90% (2,378m/全体延長2,600m)	【R4成果目標】 ・整備した河川周辺で花見客数 6,500名以上 ・整備した河川周辺での環境学習参加者数 500名以上 【今後のスケジュール】 R4 一部供用開始、護岸等整備工事 R5 護岸等整備工事 R6 護岸等整備工事・台帳整備 R7 全体供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	学習支援員配置事業	H25 ～ R3	学力の向上を図るため、村内小中学校に学習支援員を配置する。	支援員配置 小学校3名 中学校2名	・令和3年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 0.0ポイント以上 中学校 2.4ポイント以上	【今後のスケジュール】 村内小中学校に学習支援員を配置し、学力の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	地域支援員配置事業	H25 ～ R3	不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行うことで、不登校に至らない支援を行う。	支援員配置 小・中学校に1名	支援対象の不登校気味児童生徒のうち、不登校に至らなかった児童生徒の割合 100%	【今後のスケジュール】 不登校および不登校気味の児童生徒のニーズに対応した支援を行い、不登校の未然防止に努める。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

大宜味村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		R3成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
2		「ぶながやの里」地域人材育成支援事業	H25 ～ R3	本村の自然や文化等についての学習機会を拡充し、人材の育成を図る。	生涯学習講座 10回以上開催	講座受講者数:100名以上	【今後のスケジュール】 本村の自然や文化、社会への基礎的な興味関心を培い、地域リーダーとなる人材の育成を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 1講座あたりの定員を10名とし、年に6講座行うためこのように設定した。	
2		児童生徒等県外派遣支援事業	H26 ～ R3	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援する。	児童生徒への県外派遣支援	児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、派遣された児童・生徒の保護者に対するアンケートにより、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 県外で開催される運動競技又は文化関係の大会等への参加を支援し、広い視野を持った人材の育成を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	
3		カラキ活用推進プロジェクト事業	H28 ～ R3	カラキを活用し、村内事業者の売上げ増に繋げるため、苗木の増殖等を行う。	・挿し木苗の栽培管理の実施 ・鉢上げ作業の実施 ・鉢上げ後の苗の栽培管理の実施 ・苗の配布実施 ・講習会の開催(年1回以上)	・挿し木苗の栽培管理の完了 ・鉢上げ作業の完了 ・鉢上げ後の苗の栽培管理の完了 ・苗の配布完了 ・講習会の開催(年1回以上)	【R4成果目標】 開発した商品を活用した村内事業者:11店舗以上 【今後のスケジュール】 これまで加工方法や商品開発方法について検討した成果をもとに1次加工及び商品開発を行う。また、事業終了後については、増殖した優良系統のカラキ苗は農家へ配布して定植をする。	【R4成果目標設定の考え方】 村内の加工品販売店12店舗と飲食店9店舗のうち5割以上での活用を目標として11店舗と設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

東村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	東村自然環境保全事業	R3	本村の環境保全及び産業振興を図るため、赤土等流出の根本的な原因となる河川流域の発生源調査の実施及び土木的対策方法の検討を行う。	発生源調査及び実態に応じた土木的対策の検討	発生源調査及び実態に応じた土木的対策の検討完了	【R5成果目標】 海域へ流出する赤土等の削減効果t/年 【今後のスケジュール】 R3: 発生源調査、土木的対策方法の検討 R4: R3年度に決定した対策内容の実施	【R5成果目標設定の考え方】 R3年度の発生源調査・対策内容等を踏まえて、海域へ流出する赤土の具体的な削減目標値を設定する。	
2	特別支援教育支援員配置事業	H27 ～ R3	教育上、特別な支援を必要とする児童生徒が円滑な学校生活を送れるように、在籍する小中学校において特別支援教育支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。	特別支援教育支援員配置数 1小学校に1名、1中学校に2名	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して小中学校へ支援員を配置し、児童生徒の適切な学習環境を保持する。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	ハブ咬傷対策事業	R2 ～ R3	本村の主要観光施設である村民の森つつじ園利用者及び管理者の咬傷被害防止のため令和2年度に実施した調査結果を基に施設へ防蛇フェンスを設置する。	フェンス整備工事の実施	フェンス整備工事の完了	【R4成果目標】 ハブ咬傷件数0件	【R4成果目標設定の考え方】 管理職員及び利用者の咬傷数を勘案して設定した。	
4	災害備蓄品整備事業	R3	災害時における住民の安全確保を図るため、村内の避難所に備蓄食料を配備する。	備蓄食及び保存水の配備完了	備蓄食及び保存水の配備完了	【R4成果目標】 配備した備蓄食料等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施する。	【R4成果目標設定の考え方】 本事業の効果、課題を検証する。	
5	東村健康器具調査検討事業	R3	村民の健康増進を図るため、健康器具設置のための調査・検討をする。	健康器具設置のための調査・検討	健康器具設置のための調査・検討完了	【R5年度以降成果目標】 意識や健康観の向上が図られたか(80%)を含め、利用者へのアンケートにより、本事業のあり方について検討する。 【今後のスケジュール】 R3 設置場所調査検討完了 R4 健康器具整備工事、供用開始	【R5成果目標設定の考え方】 R3年度の設計計画を踏まえ、具体的な目標値を設定する。	

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			教育環境充実事業	H25 ~ R3	学力の向上を図るため学習支援員を配置する。また、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため特別支援員を配置する。	小中学校にそれぞれ学習支援員と特別支援員を配置する。 ・小学校（学）3人（特）8人 ・中学校（学）1人（特）3人	学習支援員 ・沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学生 +0.8ポイント以上 中学生 -10.1ポイント以上 特別支援員 ・対象となる児童生徒の学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒の学力や学習意欲の向上を図り、児童生徒が困ることなく、学校生活を送れるようにサポートを行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			児童生徒等の県外派遣事業	H25 ~ R3	県外の人との競争や交流の機会を増やし児童生徒の視野を広げるため、村内児童生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	小・中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加するための県外派遣の費用を支援する。	県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業を検証する	【今後のスケジュール】 今後も継続的に県外派遣の参加費の負担軽減を行いながら、県外での経験を積むことにより今帰仁村の次代を担う児童生徒の育成に努める。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			地域型就業意識向上支援事業	R2 ~ R3	・小中学校におけるキャリア教育のコーディネート。 ・講演会	・キャリア教育コーディネート 通年1800名 ・キャリア教育に係る講演会 年2回	就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、各プログラムに参加した児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の職業観を育み、将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の就業意識が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			教育支援事業	R2 ~ R3	特別支援教育の充実を図るため、村内小中学校において臨床心理士による巡回相談の実施や教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施し、障害を有する児童生徒に対する支援の強化を行う。	・臨床心理士による巡回相談(月1回3時間)を実施する。 ・教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施する。 心理的検査46回 保護者面談44回	対象となる児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した割合(61%以上)を含め、養護教諭や特別支援員へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 障害を有する児童生徒が、集団生活や日常生活に対応できるよう教育支援を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
1			教育相談事業	R2 ~ R3	不登校や問題行動等を課題を抱える児童生徒や保護者を対象にカウンセリングによる支援を行い、不登校の改善を図る。	今帰仁村教育委員会へ教育相談員を配置する。 相談員 2人	不登校児童生徒の復帰率:4.0%以上 保健室、図書館、教育相談室等へ登校している児童生徒の教室復帰率できた割合:4.0%以上	【今後のスケジュール】 不登校や問題行動等の課題を抱える児童生徒や保護者の相談を受け、不登校の改善に努める。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績から、対象児童生徒数の学校又は教室に復帰した割合を算出し、その復帰率を成果目標とした。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			環境保全美化推進事業	H24 ～ R3	観光地として魅力的な景観形成を図る為、観光地及び観光ルートの美化を行う。	今帰仁城跡及び観光地の美化及び観光ルートの美化を行う。	魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に村内観光地の美化及び、村が管理する道路の美化を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として魅力的な景観が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			観光力基盤強化事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、村内で実施するイベントを支援する。	村内で実施する以下のイベントに対して補助を行う。 ・現代版組踊「北山の風」(11月・2月) ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり(2月)	・現代版組踊「北山の風」来場数:1,135人 ・今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり来場者数:30,000人	【今後のスケジュール】 村の活性化を図るため、イベント等の支援を継続して行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			観光地安全強化事業	H24 ～ R3	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、繁忙期に駐車場、横断歩道等へ交通整理員を配置する。また、歩行の注意を促すためのサイン等を作成・配置する。	城跡駐車場、横断歩道に交通整理員を配置する。 車両への注意喚起サイン等を作成・配置する。	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件 注意喚起サイン等の作成・配置完了。	【今後のスケジュール】 繁忙期においても観光客が安全でスムーズに入場できるよう、交通整理員を配置して安全確保に努める。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			今帰仁城跡周辺環境整備事業	H24 ～ R3	今帰仁城跡付近を流れる今泊港川について、自然環境を最大限に活かした河川に整備し、今帰仁城跡周辺の景観を阻害している電柱の抜柱を行うことで魅力的な景観形成を図る。	河川改修工事の実施。	全体計画における4.0%整備 (累積整備率58.6%)	【今後のスケジュール】 R4 供用開始 【R4成果目標】 供用開始後、魅力的な景観形成が図られたか(70%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業を検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 魅力的な景観形成が図られたかは、観光客に対するアンケートを実施、大多数が肯定的であると考えられる数値として70%以上を設定した。
2			今帰仁城跡ガイド強化事業	H25 ～ R3	今帰仁城跡における無料案内ガイドの実施、及びガイドの資質向上を図るための講演会・研修会の実施	世界遺産・国指定史跡今帰仁城跡の無料案内ガイドの実施、及びガイド(今帰仁グスクを学ぶ会)の資質向上を図るための講演会・研修会の実施	ガイドによる案内者数 11,500名	【今後のスケジュール】 来訪者に今帰仁城跡の歴史等について正しく理解してもらうために、ガイドの資質向上につながる講演会や研修会を継続して開催する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			景観形成強化事業	H24 ～ R3	魅力的な景観形成を図る為、観光アクセスルート且つ、村の昔ながらの景観が残る集落内を対象に、景観に配慮した道路整備を行う。	・工事の実施 (仲宗根地区排水路設置、運天排水路設置)	・工事の完了 (仲宗根地区排水路設置、運天排水路設置)	【R4成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や村民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

今帰仁村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
2		今帰仁村着地型観光促進事業	R1 ~ R3	<p>本村の着地型観光を促進するため、民泊事業者等の受け入れ体制強化及び誘致活動を行い、新規教育民泊客の増加及びリピーター校の確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 専属職員の配置 3名 新型コロナウイルス感染症の影響により減少した受入民家数の回復を図る 県内外での誘致活動 新しい生活様式に沿った民泊受入の実施 SDGs や教育プログラムの開発 体制整備 	<p>教育民泊事業者の受け入れ態勢の強化及び誘致活動を行う。</p>	<p>令和4年度の民泊客(予約人数) 16,000人(70校) 内訳:新規30校、リピーター40校</p> <ul style="list-style-type: none"> リピーター校の増加 満足度向上 2泊5食プランの増加 関連団体との連携強化 	<p>【今後の展開方針】 今後も継続的に教育民泊事業者の受け入れ態勢の強化及び誘致活動を行う。</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>
2		今帰仁村体験・滞在型観光推進事業	R3	<p>村内宿泊滞在者を増やすため、地域環境を活かしたプログラムを創出する。また、宿泊観光客把握の為に調査を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊及び体験プログラムの創出 効果的な情報発信 宿泊観光客把握の為に調査 	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊体験プログラム創出: 宿泊体験15件の創出 	<p>【R4年度】 宿泊体験プログラムの販売5件 【R5年度】 平均連泊数: 令和3年度実績と比較して令和4年度実績の村内宿泊者数10%増</p> <p>【今後のスケジュール】 宿泊観光者のデータ蓄積更新(データ及びテキストマイニングによる継続的な分析実施)</p>	<p>【R5成果目標設定の考え方】 村内観光客のうち「平均連泊者数3泊以上」の現状の観光客数の考え方 R1年度実績 103,544人内平均連泊数3泊以上は10%と想定。R2年度稼働率30%とし、 $103,544 \times 10\% \times 30\% = 3,106$人 上記が現状の本村における「平均連泊数3泊以上」の観光客数と考えている。</p>
3		今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業	H26 ~ R3	<p>安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進するため、優良繁殖雌牛を導入する際に支援を行う。</p>	<p>今帰仁村和牛改良組合員が沖縄県農業協同組合の貸付牛等を導入する際に1頭あたり50万円を上限に支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> R3年度 21頭導入 	<p>導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合10.4%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 今後も継続して優良繁殖雌牛導入支援を行い、安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進する。</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。</p>

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R3	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲機設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブ捕獲器を町内約650カ所に設置	ハブによる咬傷被害件数0件	【今後のスケジュール】 今後も継続的に捕獲機設置による駆除を行い、咬傷被害防止を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 咬傷被害件数0件を目指し、設定した。
1		伝統興行観光化事業	H25 ～ R3	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	伝統興行の実施 2回 もとぶ元気夕市の実施 48回	闘牛・闘山羊大会来場者数:742人 もとぶ元気夕市来場者数:8,784人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントを定期開催し必要な整備を行うことで、観光客の誘致を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		農水産業担い手支援住宅整備事業	R1 ～ R3	農業及び漁業の新たな担い手確保のため、農水産業担い手支援住宅を建築し、産業振興及び定住促進の推進を図る。	・建築工事の実施	・建築工事の完了	【R4成果目標】 農水産業新規従事者入居戸数:4戸 【今後のスケジュール】 R3 建築工事 R4 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 基本計画で設定した戸数を設定する。
3		本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ R3	町内小・中学校に学習支援員等を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行うことにより、学力の向上を図る。	・町立小学校 4校へ配置 ・町立中学校 3校へ配置	令和3年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 - 4.9ポイント以上 中学校 - 4.1ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習支援員等を配置し、児童生徒の学力に応じた学習指導等を行うことで、学力の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3		特別支援教育環境充実事業	H28 ～ R3	特別な支援を要する園児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを派遣することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員 8名配置 スクールソーシャルワーカー 2名配置	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

恩納村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	H24 ~ R3	地域住民や観光客のハブ咬症被害防止を図るため、村南部に生息するタイワンハブ等のハブの駆除を行う。今年度はハブ捕獲器を450箇所に設置する。	・ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数: 450箇所	・捕獲器設置周辺における咬症被害件数: 0件	【今後のスケジュール】 ・捕獲設置エリアの見直し ・マウスの長期生存率向上のための検証	【R3成果目標の考え方】 過去の実績を動案して設定した	
1	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	H24 ~ R3	観光客の利便性確保を図るため、村の観光案内所である文化情報センターへ観光案内人を配置する。	・観光案内人の配置 ・観光誘客人の配置	・観光客の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、観光案内所を訪れた観光客等にアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 観光誘客プロモーションやイベント活動をはじめとして、地域資源を活用したPR活動及び観光案内人の育成等を継続して行う。	【R3成果目標設定の考え方】 ・観光案内所利用者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	あしびなー施設整備事業	H29 ~ R3	地域の伝統芸能の保存継承及び観光誘客を図るため、仲泊地区に観光交流施設を整備する。今年度は新築工事を行う。	・新築工事の実施	・新築工事2年目の完了	【R4成果目標】 供用開始後(令和4年度)の目標を以下のとおりとする。 ・体験学習講座受講者数: 1,680人以上/年 【今後のスケジュール】 令和4年度 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 基本構想に示す体験学習講座受講者数を設定した。	
2	特別支援教育支援員配置事業	H29 ~ R3	特別な支援を要する園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、恩納村立幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、個に応じた指導・学びの場の設定を行う。	・特別支援教育支援員充足率 100% 特別支援教育支援員配置数 幼稚園4園: 4人 小学校4校: 9人 中学校1校: 3人	特別支援教育支援員の対応で学校生活や学習上の困難の改善が図られたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒等の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援教育支援員を今後も継続的に配置し、支援を必要とする児童生徒の学習環境の充実に努め、学校教育における機会均等を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 特別支援教育支援員の対応への満足度について、アンケートを実施し、園児児童生徒の大多数が困難の改善が図られたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	学校ICT環境整備事業	R3	児童生徒の学習環境を向上させるためのICT機器を村内の小中学校に整備する	村内の小中学校(6校)における電子黒板、PC及びネットワークセキュリティの整備	村内の小中学校(6校)における電子黒板、PC及びネットワークセキュリティの導入	【R4成果目標】 ・教員にアンケートを実施し、授業でデジタル教科書やICT関連教材を活用し、情報活用能力の育成ができた割合: 80%以上 ・児童生徒にアンケートを実施し、タブレット端末等を使用して、情報を活用できるようになったと答えた割合: 80%以上	【R4成果目標設定の考え方】 成果目標としては大多数がICT関連教材を使用した情報活用に習熟していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。	

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	R3事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1		阪神タイガース春季キャンプ受入事業	H24 ~ R3	阪神春季キャンプ受入による観光誘客を図るため、防球ネットやテント、グラウンド等を整備し受入体制を強化する。	阪神春季キャンプの受入体制の構築 ・野球場防球ネット、エアアーチ、バウテント、テント等設置 ・キャンプ会場の衛生管理 ・野球場、総合グラウンド黒土搬入 ・キャンプ会場改善工事	・阪神春季キャンプ見学者数(43,000人)	【今後のスケジュール】 今後も人員配置やプロの競技環境の確保、受入体制の構築に取り組みキャンプ受入による観光誘客を図る	【R3成果目標の考え方】 過去の実績と新型コロナウイルス感染症の影響を勘案して設定した。
1		宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	H24 ~ R3	村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保及び、村外からの誘客を図るため、宜野座村文化センターがらまんホールを中心に芸術文化・伝統芸能公演等の実施及び映像配信を行う。	【がらまんホール公演】 「伝統芸能」「音楽コンサート」「創作演劇」「ワークショップ」など様々な芸術文化・伝統芸能公演を14回以上開催する。 【お出かけ公演】 教育施設、福祉施設、観光施設等において、文化芸術を通して交流や芸術普及を行う活動を5回以上行う。 【事業アーカイブ及び映像制作配信】 過去に開催した事業の写真や映像等の動画配信を4項目行う。	・芸術文化・伝統芸能公演の集客数(2,646人以上) ・お出かけ公演対象者数(2,756人以上)	【今後のスケジュール】 今後も文化振興及び魅力発信に取り組み、村民が質の高い芸術公演に触れる機会の確保を図ると共に、村外からの誘客を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。
1		宜野座村着地型観光誘客推進事業	H25 ~ R3	宜野座村への観光誘客を図り、着地型観光を推進するため、観光誘客プロモーション活動や年間を通じたイベントの開催、観光人材の育成等を行う。	・観光誘客プロモーション活動の実施 ・観光プログラムの開発 ・観光人材の育成 ・年間を通じた村内イベントの開催(3回) ・情報発信力強化に向けた外部専門家(アドバイザー)の招請	・宜野座村の観光入客数(12万人)	【今後のスケジュール】 観光関連人材の育成、誘客プロモーションの強化やイベントを開催して地域資源を活用した着地型観光を継続的に実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。
1		宜野座村美ら島花火大会事業	H28 ~ R3	スポーツが盛んな秋の行楽シーズンに、プロ野球阪神タイガースのキャンプ施設等のある農村公園を中心とした場所で大花火大会を開催し、宜野座村の魅力発信することにより観光誘客を図る。	・花火の打上 ・ステージイベント(伝統芸能等) ・会場設営 ・PRチラシの作成 ・警備員の配置	美ら島花火大会集客数(11,200人/2日間)	【今後のスケジュール】 今後も花火の演出やイベントの充実化に取り組み、新規リピーター獲得に向けて観光誘客を図る。	【R3成果目標の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			農村沿道景観向上事業	R1 ~ R3	村内の観光ホテル、民泊等の宿泊施設周辺の観光客散策ルートの除草等を実施し、安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観形成を図る。	美化作業員配置 3名	安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も観光地として魅力的な景観形成を図るため、事業継続に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が安全で快適な散策ができ、観光地として魅力的な景観であったと考えられる数値として設定した。また、本事業のありかたについて、アンケートにより検証する。
2			小学校学力向上対策事業	H24 ~ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながら授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を小学校に配置し、個々の児童の学力に応じた学習指導等を行う。	・学習支援員配置数 松田小学校 2名 宜野座小学校 4名 漢那小学校 2名	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 小学校5年・6年(算数)	【今後のスケジュール】 今後も児童の確かな学力の定着を図るためわかる授業の強化に取り組み、学力の向上を図る。	【R3成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			中学校学力向上対策事業	H24 ~ R3	学力の向上を図るため、教師と連携をとりながらチームティーチングによる指導を行い、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置し、個々の生徒の学力に応じた学習指導等を行う。	・学習支援員配置数 宜野座中学校 5名 (英語、国語、数学、理科、社会科学1名)	沖縄県学力到達度調査において、平均正答率を県平均以上(差0ポイント以上) 中学校2年(国語・数学・英語)	【今後のスケジュール】 今後も生徒の確かな学力の定着を図るためわかる授業の強化に取り組み、学力の向上を図る。	【R3成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			幼稚園預かり保育事業	H24 ~ R3	保護者が安心・安全に子どもを預けることができ、育児における負担感の軽減を図るため、公立幼稚園において預かり保育を実施する。	・預かり保育担当職員配置数 松田幼稚園 2名 宜野座幼稚園 2名 漢那幼稚園 2名	保護者が安心・安全に子どもを預け、育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、対象園児の保護者に対するネットアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も幼稚園と連携した預かり保育に取り組み、保護者が安心・安全に子どもを預けることができ、育児における負担感の軽減を図る。	【R3成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のありかたについて、アンケートにより検証する。
3			有機の里宜野座村確立事業	H24 ~ R3	有機の里宜野座村を目指し、沖縄県環境保全型農業推進協議会の認証を受けたエコファーマーの増加並びにエコ農産物の販売量の拡大を図るため、減農薬や減化学肥料による環境保全型農業を推進する。	推進協議会の開催 (協議会1回 部会4回) アドバイザーの招聘(1人) 専門技術員の配置(3人)	・エコファーマー認定数 3名 ・エコ農産物販売目標 116t	【今後のスケジュール】 今後も、関連機関(特産品加工直売センター等)と連携し、エコ農産物の生産販売の拡大に向けた取り組みを行い、エコの産物の販売量の拡大を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			さとうきび営農指導委託事業	H28 ~ R3	本村の基幹作物であるさとうきびの増産を図るため、営農指導員による営農指導や巡回指導を行う。	さとうきびの営農指導・巡回指導を実施	令和3年さとうきび生産量 5,084t	【今後のスケジュール】 今後も営農指導によって、農業者一人一人のほ場管理の向上や、担い手の確保を行いながら、村内のさとうきび生産量の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 沖縄県令和3年さとうきび生産振興計画値(案)を元に設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

宜野座村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	観光景観向上対策事業	H27 ～ R3	観光地の景観向上を図るため、監視カメラを設置及び観光ルートに専属の監視員を配置し、観光地に放置された不法投棄物の撤去等を実施する。	作業員配置2名 ・監視カメラによる監視 ・観光ルートのパトロール ・放置された不法投棄物の撤去、解体 ・不法投棄防止看板の設置	・観光地における不法投棄件数：10件以下/年	【今後のスケジュール】 今後も不法投棄を減少させ、景観向上を図ることで、観光振興につなげていく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	危険生物駆除捕獲事業	H27 ～ R3	観光地におけるハブやハチ等の咬傷事故を未然に防ぎ、観光客や修学旅行生等の安全を確保するため、危険生物捕獲・駆除及びパトロールを行う。	・観光各所のパトロール：12回/月 ・ハブ捕獲器設置：村内150箇所 ・ハチ等の捕獲・駆除	観光客及び住民のハブの咬傷件数：0件	【今後のスケジュール】 今後も引き続き、来村者が安心して観光できるよう危険生物の駆除等を行っていく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
5	宜野座村企業誘致推進事業	H28 ～ R3	企業の誘致を図り、定住人口増加の基盤となる雇用の創出を促進するため、企業誘致活動・広報活動等を行う。	・県内外ITイベントへのPRブースの出席 ・宜野座村への招聘セミナーの実施	県内外ITイベントへのPRブースへの来場者数 250名 宜野座村への招聘セミナー参加者/企業数 20人/10社	【今後のスケジュール】 今後も村への新規進出企業誘致のため、事業推進に必要な活動を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績及び新型コロナウイルス感染症の影響を勘案して設定した。	
7	小中高キャリア教育支援事業	R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、産学官が連携したキャリア教育支援を行う。	・村内3小1中1高に対する総合的な学習及びキャリア教育に係る支援 ・グレッジ連携協議会の開催(2回) ・周知広報等の取組み(SNSや村広報誌、事業報告パネル展の実施)	対象校の児童生徒に事前・事後アンケートを実施し、就業意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、産学官が連携して各学校のニーズにあったキャリア教育を支援し、児童生徒の就業意識の向上に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の就業意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	プロスポーツ受入事業	H28 ~ R3	プロスポーツキャンプを継続して受け入れるための環境整備。	プロスポーツ受入体制構築(テント設置、プレハブ設置) 競技環境の整備(芝管理、グラウンド整備) プロスポーツ受入の実施 見学者受入体制の整備(清掃、感染対策) スポーツ教室の開催	プロチームキャンプの受入 4チーム以上	【今後のスケジュール】 引き続き前年度と同様なプロチームの受入を行い、町のスポーツ振興及び観光振興に寄与する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	金武町観光振興等推進事業	R1 ~ R3	本町の魅力ある観光資源を活用して多くの誘客を目指す。	本町の観光振興に向けて、観光関連団体と他産業との連携を強化し、戦略的な観光振興を推進する。	イベントの実施 イベントの来場者数:34組68人 観光物産PRの実施等 観光物産展来場者数:1,972人	【今後のスケジュール】 魅力ある観光地の整備、県内外における本町の認知度向上活動及び誘客イベントの開催により誘客数の増加に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	水辺をつなぐ遊歩景観推進事業	R2 ~ R3	連絡通路の整備(既設歩行者専用道路のカラー舗装及び遊歩道としての階段新設) カラー舗装 A=240㎡ 遊歩道階段 L=70m、W=1.2m 落石防護柵設置 L=45m	整備工事の実施	整備工事の完了	【今後のスケジュール】 令和2年度 実施設計 令和3年度 整備工事 【R4成果目標】 関連施設の利用者数:78,000人以上/年	【R4成果目標設定の考え方】 関連施設の1日あたりの利用者数(179人)の約1.2倍の利用者数を目指し算出した。	
1	金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業	R3	ベースボールスタジアムグラウンド内と周辺の環境を一体的な整備をすることで、プロキャンプの継続的な誘致、利用者及び観戦者の増加に繋げ、地域の活性化や観光振興に寄与することを目的とする。	土木実施設計の実施 建築実施設計の実施	土木実施設計の完了 建築実施設計の完了	【R5成果目標】 スタジアム利用者数:13,035人/年 プロキャンプ時等の観客数:19,870人/年 【今後のスケジュール】 令和4年度以降 整備工事 引き続きプロキャンプの継続した誘致、利用者及び観戦者の増加に取り組む。	【R5成果目標の設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		R3成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
2		金武町就職活動支援補助事業	H27 ~ R3	本町の雇用状況の改善を図るため、求職者等に対する職業相談や求人・求職等の情報提供、各種講座、キャリア教育等を実施し、金武町就活支援センターに補助金を交付する。	求職者等に対する職業相談や求人・求職等の情報提供、各種講座、キャリア教育等を実施。 各種講座8回 キャリア教育6回(小学校3回、中学校3回)	就業率10.14%以上 キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き職業相談や講座、セミナー等を実施し、雇用拡大を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 ・就業率は過去の実績を勘案して設定した。 ・対象者のうち、大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3		小中学校学習等支援事業	H24 ~ R3	児童・生徒の学力(英語)の向上を図るため、日本人英語指導員・外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置する。	小中学校学習等指導員配置数:7人 (内訳) 日本人英語指導員:小学校2名 外国人英語指導助手:小学校2名、中学校2名 英語コーディネーター:教育委員会1名	小学校 児童英検(シルバー)において、全国平均との平均正答率の差 -4%以上 中学校 英語検定3級において、校内受験者数の合格率31.6%以上	【今後のスケジュール】 引き続き小中学校へ日本人英語指導員及び外国人英語指導助手・英語コーディネーターを配置し、サポートしながら児童・生徒の学力(英語)向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3		幼稚園預かり保育事業	H24 ~ R3	中川幼稚園に在園する園児の午後の保育を中川区事務所に業務委託し、預かり保育を実施する。	預かり保育の実施 対象:中川幼稚園児 実施場所:中川幼稚園 支援員:4名	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検討する。	【今後のスケジュール】 引き続き保護者の育児負担を軽減し、就労の促進を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が育児の負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3		特別支援教育支援事業	H24 ~ R3	支援を必要とする幼児・児童・生徒の学習や学校生活面においてのサポートをおこなうため、特別支援教育支援員を配置する。	特別教育支援員配置数 16名 (内訳) 小学校11名 中学校4名 幼稚園1名	特別支援員教育支援員の支援により学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%)以上を含め、対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き対象となる幼児・児童・生徒へ特別支援教育支援員を配置し、個々に応じたサポートを行う。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が学校生活や学習上の困難が改善されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3		デジタル教科書購入事業	H28 ~ R3	わかりやすい授業の実施により学校教育の質を確保し、学力向上につなげる。	指導用デジタル教科書を整備し、動画やシミュレーション等を授業に取り入れることにより、児童の興味・関心を高め学習意欲の向上を図る。 ・対象校:中学校1校 ・対象学年:1~3学年 ・対象教科:国語、地理、社会(歴史・公民)、数学、理科、体育、英語	中学校教科書改訂に伴い、デジタル教科書購入し授業改善や障害等により教科書を使用して学習することが困難児童生徒の学習上の支援を実施する。	【今後のスケジュール】 従来の教科書に加えICT教育などのインターネットの活用や教員と児童生徒間の双方向性のある事業展開を実施し、学習意欲の向上及び幅広い教育の充実を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が学習意欲向上したと考えられる数値として設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

金武町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	演奏活動推進事業	R2 ~ R3	小学校吹奏楽部に楽器を整備する。	楽器の整備 12品種 29個	金武小学校吹奏楽部に楽器を整備完了	<p>【R4成果目標】 生徒が演奏活動を行った地域行事等への総来場者数7,000人以上</p> <p>楽器整備後に地域行事で演奏活動をしたことにより、地域への関心が高まった割合(80%以上)を含め、児童・生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 整備後は、学校行事だけではなく地域行事(祭り・スポーツイベント・式典等)などの多様な場面に積極的に参加することで、地域活性化及び郷土愛を醸成する。</p>	【R4成果目標設定の考え方】 楽器整備により地域活性化や郷土愛の醸成が図られたと考えられる数値として設定した。	
4	金武町移民の日記念事業	H29 ~ R3	本町の移民の歴史を継承するため、顕彰式等を実施する。	<p>顕彰式の開催 移民関連展示会の実施 2022年世界のシマヌチュ大会に向けての情報発信等 當山久三電子紙芝居作成 當山記念館施設内環境整備委託業務</p>	R2年度実施事業に対するアンケートにおいて、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)。 R3年度実施事業についても、後年度アンケートを実施する	【今後のスケジュール】 引き続き移民発祥の地として、當山久三の偉業・功績を顕彰し、移民の歴史の周知及び国際感覚豊かな人材育成に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 移民の歴史に対する理解が深まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	1	伊江村ハブ対策事業	H27 ～ R3	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。	・ハブ生息地の清掃実施 ・捕獲器の設置(15基) ・巡回管理(週1回)	・ハブ咬傷による被害件数0件	【今後のスケジュール】 除草作業を行うことで早期発見やハブの住処を減らし捕獲器設置によりハブを捕獲駆除することで、地域住民及び観光客にとって脅威となるハブの健康被害を無くし、安全な生活環境の整備を継続的に実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	1	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業	H26 ～ R3	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな障害となっている。そのため、自動車航送運賃コスト負担の軽減を目的に助成を行うことで定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。	車両航送に対する運転手1名分の運賃補助	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 車両航送に対する補助を行い、離島の地理的地理的条件による不利性を軽減することで、定住促進への取り組みを継続して実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。
3	1	村花・世界のゆり植栽推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、村花であるテッポウユリと世界のゆり球根を植栽し、花の島づくりを推進する。	ゆりの植栽 テッポウユリ 55,000球 世界のゆり 35,000球	令和3年度第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R3年 33,000人	【R4成果目標】 品質の良い球根確保とイベント企画による来場者数の増 (R4目標 40,000人)	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3	2	観光地クリーン事業	H27 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成及び観光客数の維持・増加を図るため、観光地の環境美化及び保全をし、観光客の受入体制を強化する。	・観光地環境美化保全 【主な美化保全観光施設】 城山周辺、リリーフィールド公園、ミースイ公園、伊江港周辺、ニヤティヤ洞、湧出、青少年旅行村	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 観光地の継続的な環境美化及び保全に努め、観光客数の維持、増加につなげるべく、観光振興の取り組みを継続的に実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が景観形成が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	3	観光誘客整備事業	H26 ～ R3	村の観光振興を図るため、城山転落防止柵設置工事、観光地機能安全整備業務、その他イベント等による観光誘客を行う。	・誘客整備に係る取組 ・城山転落防止柵の設置 ・観光地機能安全整備業務の実施 ・誘客推進に係る取組 ・観光交通経営安定化支援事業の実施 ・観光誘客特産品情報誌制作業務の実施	青少年旅行村来場者数 R3:28,000人 ・本事業について、観光客へアンケート調査を実施し、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 誘客整備に係る取組 ・伊江村青少年旅行村を含む村内各観光施設の機能拡充に向け検討していく ・誘客推進に係る取組 ・来島者へのアンケート調査を実施し効果を検証する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去3年間の実績の平均値を基に目標値を設定した。 【実績】 R1実績:26,915人 H30実績:27,212人 H29実績:28,738人 観光客のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	1	確かな学力を育む学習支援員配置	H25 ~ R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより学力の向上を図るため、学習支援員等を配置する。	・学習支援員の配置 小学校(2校8人配置) 中学校(1校3人配置)	小学校、中学校ともに沖縄県学力到達度調査での県平均正答率を上回る	【今後のスケジュール】 正答率30%未満の児童生徒の割合を小学校で10%以下、中学校においては各教科において30%以下に減らすべく取組を継続的に実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績等を勘案して設定した。
4	2	各種大会派遣費助成事業	H25 ~ R3	村外の児童生徒との競争や交流の機会を増やし、広い視野を持たせるため、本村の児童生徒のスポーツ活動・文化活動において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。	各種大会派遣費の助成:1,550人	・対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 派遣費助成人数(累計) R3年度末時点:約15,000人	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートの実施により継続して検証していく。
5	1	伊江村型就業意識向上支援事業	H28 ~ R3	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への就業意識の向上を図るため、ジョブシャドウイングや職業人講話等を実施する。	・小学生49名 中学生99名 ・企業訪問・体験1回 ・職業人講話4回 ・卒業生による進路講話1回 ・島のみりょく発見1回	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 大多数の児童生徒(80%以上)に就業意識の向上が図られるよう展開していく。	【R3成果目標設定の考え方】 児童生徒の就業意識向上が目的であるため、大多数の児童生徒が目的達成したと考えられる指標として「80%以上」と設定した。
6	1	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	R2 ~ R3	村内の戦跡保存及び周辺整備・安全柵・案内板・説明版を設置し、歴史の生きた教材として平和学習に活用する。	実施計画・実施設計の実施	実施計画・実施設計の完了	【今後のスケジュール】 ・R3に実施計画・実施設計を行い、R4~R5に整備工事を行う。 【R6成果目標】 ・施設利用者に対してアンケート調査を実施し、効果的な平和学習による施設利用が可能となったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【R6成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が平和学習の促進が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
7	1	伊江島はにくすに施設防災機能強化事業	R3	本村の玄関口である伊江島はにくすに施設へ防災設備を整備することで、安心安全な施設環境の確保及び観光振興を図る。	・実施設計の実施 ・設備工事の実施	・実施設計の実施完了 ・設備工事の実施完了	【R4成果目標】 整備した防災設備を活用した、防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業の在り方について検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 整備した防災設備の設置による成果については、実際に災害が発生しない限り、検証ができないため、防災設備を活用した避難訓練を実施・検証を行うことで、村民及び観光客等の安全確保に資すると考え、成果目標とした。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
8	1	伊江村屋内体育施設機能強化事業	R3	スポーツ合宿の誘致を図るため、伊江村屋内体育施設の機能強化を行う。	備品購入	備品購入完了	[R4成果目標] ・スポーツ合宿誘致件数6件 [今後のスケジュール] 今後も引き続き、スポーツ合宿等の誘致に取り組む。	[R4成果目標設定の考え方] 過去の実績を勘案して設定した。 平均:6件
9	1	伊江村墓地団地造成事業	H29 ~ R3	沖縄独自の個人墓地の散在化、土地利用等への支障、景観の悪化を防止するため、伊江村墓地団地造成実施設計業務を行う。	・実施設計の実施	・実施設計の完了	[R5成果目標] ・個人墓から村営墓地団地への契約件数:5件 [今後のスケジュール] R4:整備工事	[R5成果目標設定の考え方] ・過去の実績を基に設定した。
10	1	伊江村歴史文化継承事業	R3	本村の歴史・文化の継承を図るため、「伊江島考察史」の印刷製本及び書籍刊行を行う。	・郷土資料の印刷製本	・郷土地域資料利用者へのアンケート調査で本村の歴史・文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	[今後のスケジュール] 今後も沖縄の歴史文化に係る学習環境の充実に取り組んでいく。	[R3成果目標設定の考え方] 対象者のうち大多数が歴史文化に係る理解が深まったと考えられる指標として「80%以上」と設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
11	1	ICT支援員配置事業	R3	教員のICT機器の習熟及びICT機器を活用した授業等を効果的かつ持続して実施できるよう、小中学校に教員をサポートするICT支援員を配置する。	村内3学校にICT支援員1名を配置する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上) ・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)	[今後のスケジュール] ICT支援員を効果的に活用するため、次年度以降も継続してICT支援員を配置する。	[R3成果目標設定の考え方] 事業の成果目標として、対象者のうち概ね肯定的であると考えられる数値として「80%以上」と設定した。
12	1	外国語指導員派遣事業	R3	幼稚園児や小学生の英語への興味・関心を高めるため、幼稚園と小学校に外国語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	外国語指導員を配置し、外国語授業等での支援実施	・児童生徒への英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	[今後のスケジュール] 今後も、外国語指導員を配置し、外国語授業等の支援に取り組むことで、幼稚園生や小学生の英語への興味関心を高める。	[R3成果目標設定の考え方] ・対象児童の大多数が興味・関心が高まったと考えられる数値として設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊江村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
13	1	伊江村防災体制機能強化事業	R3	公民館等の収容避難所施設の窓ガラスに飛散防止フィルム設置による防災機能の強化を図ることで、住民が安心して暮らせる環境整備を行う。	飛散防止フィルムの設置	・設置完了	【今後のスケジュール】 引き続き災害時における2次被害を未然に防止するとともに、住民が安心して暮らせる環境整備を推進していく。	【R4成果目標設定の考え方】 令和3年度時点では定量的な目標設定が困難なため、供用開始後(令和4年度以降)、防災機能の強化が図られたと考えられる値として設定した。

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24 ～ R3	スポーツキャンプ等の誘致を図るため、スポーツ団体等への誘致活動を行う。また、観光誘客を図るため、キャンプチーム本拠地での誘客イベント及びキャンプ期間中の集客イベントを行う。	・各種スポーツキャンプ・大会等誘致活動(2回) ・キャンプチーム本拠地での観光誘客活動(3回) ・キャンプ期間中の集客イベントの実施	・スポーツコンベンション誘致件数 29件以上 ・イベント観客数74,000人以上 ・キャンプ期間中の来場者数 23,700人以上	【今後のスケジュール】 スポーツキャンプ・大会等の誘致を行い、『スポーツキャンプ地読谷村』としての認知を高めることで持続的なスポーツコンベンション受入と、経済波及効果の向上に繋がると考える。そのためキャンプ・大会誘致等の継続的な誘致と、観光誘客イベントを行う。また、村内でもスポーツコンベンションの受入の機運を高める。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	危険生物駆除事業	H25 ～ R3	より安全な観光地を目指し、来村する観光客や村民をハブの咬傷被害から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除、注意喚起を実施する。	・観光地周辺を含む村内各地に、ハブ捕獲器200器設置 ・定期的な巡回・管理の実施及び処分 ・餌用マウスの飼育(繁殖)管理 ・危険周知看板100枚の管理	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	【今後のスケジュール】 咬傷被害場所や、設置箇所における捕獲数等を参考に、設置箇所の変更等柔軟に事業を執行し、個体数の減少、咬傷被害0件を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 咬傷被害の未然防止を図る目的を踏まえ、設定した。	
1	ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)	H25 ～ R3	本村の認知度向上を図るため、観光情報番組のみたんラジオを放送する。	・コミュニティFM放送を活用した観光情報の提供 ・レンタカードライブMAPへの記事掲載	メール受信件数:726件	【今後のスケジュール】 今後もラジオ放送を通じた観光情報の提供や村内観光地への誘致を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績及びR3年度の予定放送回数を勘案して設定した。	
1	ゆんたんざウタイムチ推進事業	R2 ～ R3	本村の観光の現状や課題の分析を行い、今後の観光振興の方向性を示す読谷村観光振興計画を策定し、計画に基づく施策を推進する。	・第3次読谷村観光振興基本計画の策定	・第3次読谷村観光振興基本計画の策定完了	【R4成果目標】 策定する観光振興計画の中で、主要観光地の入込客数等、観光振興に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 【今後のスケジュール】 R4～ 計画に基づく各事業の実施	【R4成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標に向けた観光振興施策を実施していくことを目的として設定した。	
2	特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	村立幼稚園、村立小中学校に特別支援を要する幼児・児童生徒の学校生活や学習上の困難を改善するため支援員を配置する。	・村立幼稚園、小中学校に19名の特別支援教育支援員を配置 ・村立5幼稚園:各1人 ・村立5小学校:各2人 ・村立2中学校:各2人 ・必要に応じて支援員の配置に変更あり ・教育委員会に特別支援教育専門員を1名配置	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合80%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援員を配置し、対象児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証し、評価者は対象となる児童生徒の保護者とする。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

事業番号		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3		沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ~ R3	現在では日常生活で会話することも少なくなった沖縄語の保存継承に寄与するため、身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しむためのデータベースを作成・公開する。	沖縄語データベース(単語・民話・音声)の追記及び公開	HP(データベース)アクセス数:800件	【今後のスケジュール】 今後も沖縄語に親しみ、日常的に使用する機会を増やす取り組みを継続する。これにより沖縄文化の基層である沖縄語の保存継承を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 令和2年度小冊子発行部数が1,000冊であることを基準とし、小冊子の8割を見込む。
3		ユンタンザミュージアム南側駐車場整備事業	H30 ~ R3	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整備することにより、来訪者の利便性の確保を図る。 今年度は用地を購入する。	用地購入	用地購入の完了	【R5成果目標】 ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該駐車場のあり方をアンケートにより検証する。 【今後のスケジュール】 R3年度:用地購入 R4年度:整備工事 R5年度:供用開始	【R5成果目標設定の考え方】 ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者の大多数の利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、当該駐車場のあり方について、アンケートにより検証する。
5		読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ~ R3	本村工芸品であるヤチムン、読谷山花織、琉球ガラスの販路拡大とヤチムン等を活用した観光誘客を図るため、県外マーケティングやプロモーションを行う。	・県外プロモーション出展・調整及びテストマーケティング(3回) ・観光客向け県内プロモーション(3回) ・周知用媒体ツール(ヤチムン冊子、パンフレット)の作成	・陶器市の来場者数 14,776人 ・物産売上金額 73,400円 ・展示会商談数 17件	【今後のスケジュール】 今後も継続的に県外プロモーションを実施し、本村の工芸品の認知度を高め、販路の拡大及び現地消費を目的とした観光誘客を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6		読谷補助飛行場跡地「大木地区」崖地対策事業	R1 ~ R3	読谷補助飛行場跡地(大木地区)の土地利用を促進するため、区画整理地と境界が隣接する崖地法面の整備を行う。	崖地対策工事の実施	区画整理地の開発可能区域増 約16,792㎡	【今後のスケジュール】 今後も引き続き大木土地区画整理事業に取り組み、読谷補助飛行場跡地「大木地区」の土地利用を促進する。	【R3成果目標設定の考え方】 崖地により影響を受ける区域の面積を用いて設定した。
6		瀬名波通信施設跡地(非農用地部分)基本設計策定事業	R3	瀬名波通信施設跡地の土地利用を促進するため、非農用地部分の基本設計を行う。	非農用地部分の基本設計委託業務の実施	基本設計の完了	【R4成果目標】 農用地(土地改良事業)と非農用地の一体的整備方法等の検討。 【今後のスケジュール】 R3 基本設計の実施 R4~ 土地改良事業(農用地)及び関係機関との整備に向けた調整。	【R4成果目標設定の考え方】 農用地だけの部分整備だけではなく、瀬名波通信施設跡地利用として一体的整備を行う必要性を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

読谷村		計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6		読谷補助飛行場跡地「先進農業支援センター」利活用促進事業	R3	読谷村補助飛行場跡地(先進農業支援センター)の分筆・合筆登記申請資料の委託を行う。	読谷村補助飛行場跡地(先進農業支援センター)の分筆・合筆登記申請資料作成	分筆・合筆等の登記申請資料の完了 約20.3haの分筆	[R4成果目標] 貸付筆数:24筆 [今後のスケジュール] R3 地籍測量の実施 R4～ 明確な地籍での貸付

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光プロモーション事業	R3	本町の観光PRを効果的に展開していくため、プロモーションツールを制作することにより観光情報発信体制を整備し、観光客の誘客を図る。	・観光PR映像の制作 ・観光パンフレットの制作 ・観光ポスターの制作	・観光PR映像の完成 ・観光パンフレットの完成 ・観光ポスターの完成	【R4成果目標】 町入域観光客数 792千人以上 【今後のスケジュール】 魅力的な観光情報を発信し、本町を知ってもらう機会を創出し、成果目標の達成につなげていく。	【R4成果目標設定の考え方】 実績及び施設の受入可能人数を勘案して設定した。	
1	比謝川緑地広場整備事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、比謝川緑地に自然体験・交流拠点施設や広場等を整備する。	・比謝川緑地広場整備工事の実施	・比謝川緑地広場整備工事の完了	【R4成果目標】 年間利用客数:延べ12,240人以上 【今後のスケジュール】 R2 自然体験センター建設工事 R3 広場整備、外構工事 R4 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 施設の受入可能人数を勘案して設定した。	
1	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業	H25 ～ R3	施設利用者の増加を図るため、地域振興施設の機能拡充(展望台及び広場の拡張、飲食物販施設の増築、駐車場整備等)を行う。	建築工事・外構工事の実施	建築工事・外構工事の完了	【R4成果目標】 年間利用客数77.9万人 【今後のスケジュール】 R3 外構工事・供用開始 R4 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績及び沖縄県観光振興基本計画を参考に設定した。	
2	学習支援員配置事業	H24 ～ R3	児童生徒の学力向上を図るため、小中学校に学習支援員を配置し、個々の実態に応じた学習指導を行う。	学習支援員の配置数 小学校:4人 中学校:2人	沖縄県学力到達度調査(算数・数学)において、県と本町との平均正答率の差 小学校:-4.1ポイント以上 中学校:-7.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 学習支援を要する児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員の役割を正答率30%以下の児童生徒を重点的に支援し、補習等の内容や対象者を明確にし、関わる職員で共有することで正答率の向上をめざす。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	英語力強化事業	H24 ~ R3	小学生の英語への興味・関心の向上及び中学生の英語学力の向上を図るため、小中学校に英会話指導員及び英語指導員(中学校のみ)を配置し、小学生の英語学習への関心・意欲を高めるとともに、中学生に対する実用的な英語教育を実施する。	英会話指導員の配置数 小学校:2人 中学校:1人 英語指導員の配置数 中学校:1人	(小学生) 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。 (中学生) 英語検定3級以上を保有する生徒の割合: 14.0%以上 沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差+4.6ポイント以上	【今後のスケジュール】 小学校 学級担任が授業のなかで英会話指導員(ALT)をモデルとして会話等を例示し、児童のアウトプットを中心とした授業への転換を強化する。 中学校 授業の中で英会話指導員(ALT)と教科担当教師との会話等、適切に例示を行うことで、実用的な英語学習の充実の強化を図る。 英語指導員においては、学習に遅れがちな生徒への支援や放課後の補習、英検対策などの英語指導の充実を継続する。補習への参加者増をめざす。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 過去の実績を勘案して設定した。 過去の実績を勘案して設定した。	
2	ICT活用事業	H24 ~ R3	授業へのICT機器活用の促進及び学校教育の質の確保を図るため、小中学校にICT支援員(パソコン指導員)を配置し、教員への授業でのICT活用に向けた支援や教育のICT化に向けた支援を行う。	パソコン指導員配置数:2人 (小中学校共有2人)	教員にアンケートを実施し、ICT支援員(パソコン指導員)の配置により、授業でのICT機器活用が促進された内容項目での肯定的な割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。 内容項目例:「ICT機器活用が増えた」「ICT機器を利用した授業における機器操作が行いやすくなった」等 児童生徒にアンケートを実施し、「ICT機器を活用した授業は分かりやすかった」と答えた割合(80%以上)を含めアンケートによる効果を検証する。	【今後のスケジュール】 GIGAスクール構想により1人1台の端末整備がなされることによって、授業での児童生徒の活用の補助を重点化することで、教員のICT機器等の活用率を高め、わかる授業の展開を促進することで、教師の情報機器の活用向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	不登校対策生徒指導支援員配置事業	H24 ~ R3	不登校生徒や長期欠席者の早期支援の充実を図るため、中学校へ生徒指導支援員(生徒指導補助員)を配置する。	生徒指導支援員配置数:1人	不登校出現率 2.3%以下	【今後のスケジュール】 不登校の要因が「遊び非行型」から「心因的な要因」へと移行してきていることをうけ、要因の「心理的な要因」をさらに細かく分析し、要因に合わせた対応をおこなう。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考		
バ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		R3成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
2			秋田交流学習体験事業	H24 ～ R3	小中学校における学習規律や授業の改善を図るため、本町の児童生徒及び教師を教育先進地である秋田県大館市内の学校へ派遣する。また、大館市の教師を招聘し、授業改善等についての研修を行う。	< 秋田県への派遣 > 児童生徒：20人、教員：9人 < 秋田県からの招聘 > 教員：3人	(派遣された児童生徒へのアンケート) ・「学習規律を学ぶことができたか」で80%以上ができたと回答 (授業改善に関するアンケート) ・「授業のねらいに合わせた学び合いの場の設定」に関する項目で80%以上の教師が取り組んでると回答	【今後のスケジュール】 コロナ過において前年度においては、事業を実施できなかった。感染症対策を万全に行い実施するとともに、招聘教員による公開授業や事業の報告会を行い、おおだて型探求授業のよさを理解させ、各学校の授業改善を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 派遣された児童生徒のうち大多数が学習規律を学ぶことができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 大館では、「子ども達の学び合いを核としたおおだて型探究授業」が展開されている。本町では、このおおだて型探究授業をモデルとした「嘉手納の探求型授業」を推進しておその授業改善への取組について、アンケートを実施し、本事業の効果を検証することとした。	
2			特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ R3	学習や生活面で特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置し、必要な支援を行う。	支援員の配置数 18名 (内訳) 小学校：13人 中学校：5人	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き、特別な支援を要する児童生徒に対して、安心して教育を受けることができるよう配置するとともに研修の内容において、具体的な多様な支援方法について充実を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち大多数が満足していると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3			雇用促進事業	H25 ～ R3	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口を開設し、就職活動の支援を行う。	相談窓口開設 93日	相談者のうち就職が決まった人数：8人以上 相談者のうち就職が決まった人数の割合：3.4%以上 「就職が決まった人数」は、支援後に就職が決まった(内定を得た)人数。支援後の後追い調査(年2回)で確認。	【今後のスケジュール】 相談窓口の開設のほか、就職に有利な資格取得支援を行い、失業率改善を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4			廃棄物リサイクル事業	H25 ～ R3	ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行う。	草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施	草木の再資源化(草木ゴミの処理量) 665t以上/年	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内から排出される草木をチップ化し、再資源化することで環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去4年間の搬入量の平均処理量を基に設定。	

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

嘉手納町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
5		嘉手納町公共施設等省エネ化推進事業	H29 ～ R3	CO ₂ の排出量を削減するため公園施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替える。	・照明設備のLED化により温室効果ガスの排出を抑制する。	R3年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 【嘉手納スポーツドーム】 ・CO ₂ 排出削減量 44,846(kg-CO ₂ /年) 【嘉手納町葬祭場】 7,280kg - CO ₂ /年の削減	【今後のスケジュール】 今後も嘉手納町地球温暖化防止計画目標(3,439,027 kg-CO ₂)の達成に向け、町全体で継続してCO ₂ 削減を推進する。	【R3成果目標設定の考え方】 既存照明をLED化することで見込まれるCO ₂ 削減量を推計して設定した。

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	北谷町観光物産プロモーション事業	H24 ~ R3	北谷町の知名度を一層向上させ、本町への観光客誘客推進と観光資源である地域特産品の効果的なアピール及び販路拡大支援を図るため、県外等において、誘客プロモーション事業を展開する。	(1)北谷町修学旅行発信等強化業務の実施(修学旅行フェア2ヶ所(東京・大阪)) (2)デジタルプロモーションの実施 (3)国内プロモーション1ヶ所実施	【北谷町修学旅行発信等強化業務の完了(修学旅行フェア2ヶ所(東京・大阪))】 【観光情報サイト(北谷日常ポータルサイト)閲覧回数】 R03年度目標値:150,000回 ・R02年度:約65,000回(4月~9月) ・H31年度:148,437回(1年) ・H30年度:82,240回(1年)	【R4年成果目標】 修学旅行受入強化業務後1年目(令和4年)の目標を以下のとおりとする。 ・R4年:修学旅行受入件数122校以上 【今後のスケジュール】 ・今後も継続的にプロモーションを実施し、観光客の誘客を図る。	【R4年成果目標の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定 【北谷町修学旅行受入件数】 R4年:122校以上 修学旅行受入強化業務を実施した結果が出るのは最低1年程度かかると思われるので、令和4年の目標値とした。 ・H31年:111校 ・H30年:122校 ・H29年:115校	
1	コミュニティバス導入調査検討事業	H26 ~ R3	観光客や町内の交通弱者の利便性・回遊性の向上を図るため、町内観光施設や商業施設等を行うコミュニティバスの実証運行を行い、本格運行または廃止あるいは実証期間の延長を判断する。	本格運行または廃止あるいは実証期間の延長を判断する。	・バス利用者に利便性・回遊性の向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・地域公共交通会議にて、令和4年度からの本格運行または廃止あるいは実証期間の延長の合意を得るためのデータを収集する。 ・収支率25%以上を目指す。	【今後のスケジュール】 R4:本格運行または廃止あるいは引き続き実証(引き続き実証を行う場合、令和3年度から令和4年度までの実績をもって改めて判断する。)	【R3成果目標設定の考え方】 ・利用者の大多数が利便性・回遊性の向上が図られたと考えられる値として80%以上と設定した。 ・令和4年度からの本格運行または廃止あるいは実証期間の延長の判断について、地域関係者や事業者等を含めた地域公共交通会議にて合意を得る必要があるため、判断できるだけのデータを得る必要がある事から設定した。 ・収支目標については、運航改善を実施し、目標収支率である25%と設定した。	
1	サンセットビーチ改良事業	H29 ~ R3	観光誘客を図るため、サンセットビーチ改良を行う。	令和3年度サンセットビーチ改良事業。護岸工、浚渫工、湧水対策工、造成工、養浜工	サンセットビーチ改良工事のうち、護岸工、浚渫工、湧水対策工、造成工、養浜工の竣工。	【R5年度成果目標】 ・サンセットビーチ利用者数 33万人/年 【今後のスケジュール】 R4 改良工事(養浜工、園路工、照明工、造園工、付帯工)竣工	【R5成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			パークゴルフ場整備事業	R3	砂辺地区の観光地形成遅れの対策として、新たなアクティビティの創出による観光誘客及び住民の健康増進を図るため、パークゴルフ場を整備する。	パークゴルフ場整備工事 芝舗装工、安全施設工、植栽工 施設工 備品購入 事務用備品、芝管理用機械 クラブセット	パークゴルフ場整備工事の竣工。 備品購入、納品。	<p>【R4年度の成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> パークゴルフ場利用者数 15,000人/年 町内9,000人/年 町外6,000人/年 パークゴルフ利用者に健康に対する意識が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 <p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> R3 パークゴルフ場整備工事、備品購入 管理・運営方法決定 R4 供用開始 	<p>【R4年度の成果目標の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者数 西原パークゴルフ場 H30: 14,306人(町外5,137人 35.9%) R1: 13,618人(町外5,589人 41.0%) R2: 10,943人(町外4,765人 43.5%) 読谷パークゴルフ場 R1: 19,250人(村外6,996人 36.3%) R2: 15,830人(村外6,021人 38.0%) 利用者数平均: 14,789人 町村内利用者数割合: 38.6% アンケート 利用者の大多数が健康に対する意識の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。
2			英語指導助手派遣事業	H24 ~ R3	小学校児童の英語への興味・関心を高めるため、英語指導助手(AET)を配置する。(隣接する幼稚園兼務)	小学校4名(各校1名、幼稚園兼務) 中学校2名(各校1名)	小学校: 児童の英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。 中学校: 沖縄県学力到達度調査において、英語の県と本町の平均正答率の差0.4ポイント以上	引き続き英語指導助手を配置する。	<p>【R3成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校: 対象児童のうち大多数が興味・関心が高まったと考えられる値として設定。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 中学校: 過去実績を勘案して設定した。
2			日本語指導学習支援員配置事業	H25 ~ R3	日本語による会話能力の向上を図るため、日本語指導学習支援員を学校に配置し、日本語が十分に理解できない外国籍児童や帰国児童等への学習支援を行う。	日本語指導学習支援員配置: 1名	日本語の会話で意思疎通ができ、学校生活等への困難が改善された割合80%以上等を含め本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語指導が必要な児童が今後増加し、県からの加配教諭の配置が無い場合、日本語指導学習支援員配置人数を2人へ増員する。 	<p>【R3成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者のうち、大多数の改善が図られたと考えられる値として設定した。評価者は学級担任及び日本語指導学習支援員とする。
2			学力向上学習支援員派遣事業	H26 ~ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、学習支援員を全小中学校に各校1名(計6名)配置し、個々の学力に応じた学習指導を行う。	小学校4名(各校1名) 中学校2名(各校1名)	沖縄県学力到達度調査において、県と本町の平均正答率の差 小学校 0.3ポイント以上 中学校 0.6ポイント以上	<p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習支援員を継続して配置することにより、沖縄県学力到達度調査の平均正答率の向上に取り組む。 	<p>【R3成果目標設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	スクールソーシャルワーカー派遣事業	H26 ~ R3	児童生徒の問題行動(暴力、喫煙、家出等)の改善を図るため、スクールソーシャルワーカーを配置し、問題を抱える児童生徒に対応した支援を行う。	スクールソーシャルワーカー配置:1名	町立小中学校の問題行動(暴力、金銭せびり、喫煙、飲酒、家出)の件数 小学校 9件以内 中学校 15件以内	【今後のスケジュール】 引き続きスクールソーシャルワーカーを配置する	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	跡地利用推進事業	H24 ~ R3	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び説明会等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ桑江南側地区:地権者への継続的な情報提供 ・キャンプ瑞慶覧倉庫地区:地権者意見交換会の開催、跡地利用整備計画(案)の策定 ・桑江第一タンクファーム地区:跡地利用計画基礎調査 ・キャンプ瑞慶覧(インダストリアル・コリドー)地区:跡地利用計画基礎調査 	<ul style="list-style-type: none"> (キャンプ瑞慶覧倉庫地区) ・整備計画(案)の作成 ・跡地利用基本計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 ・跡地利用整備計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 (桑江第一タンクファーム) ・調査内容報告書の作成 (インダストリアル・コリドー) ・調査内容報告書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 【R8成果目標】 (キャンプ桑江南側) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【R6成果目標】 (桑江第一タンクファーム) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【R6成果目標】 (インダストリアル・コリドー) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 	【R6,8成果目標設定の考え方】 数値については、大多数から肯定的な評価を得ていると考えられる数値として「80%以上」と設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北谷町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
4	里海プロジェクト事業	R3	残された自然資源の保全・活用を図るための基礎情報となる生物調査を行う。	北谷町沿岸生物調査報告書(仮称)の作成	北谷町沿岸生物調査報告書(仮称)の作成完了	<p>【今後のスケジュール】 R4年度,R5年度: 町民参加型調査(夏季1回) 大型宿泊施設等におけるパネル展示等を行い併せてアンケートを実施し、「保全意識が高まった」80%以上。</p> <p>R5年度末に完成予定の博物館において以下3点を念頭に成果を展示公開し利活用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重さをPRするとともに保全意識の醸成を図る。 ・観光資源としての価値を高める。 ・町、地元業者等と連携した情報共有 <p>R13年度:第2回大規模モニタリング調査</p>	【R4.5成果目標設定の考え方】 豊かな自然を保全・活用する意識醸成には時間を要するため、継続した普及啓発活動が必要と考える。	
5	北谷町特定駐留軍用地内土地取得基金事業	H25 ~ R3	駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、基金を造成し、キャンプ桑江(南側地区)の土地の先行取得を実施する。	基金の積立	<p>特定事業の用に供する土地取得目標 8,138㎡(達成率100%)</p> <p>達成率:先行取得目標面積(83,000㎡)に対する累積取得面積の割合</p>	【今後のスケジュール】 駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用を推進するため、各種施策の実施につなげる。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績及び残りの必要取得面積を勘案し設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			あやかりの杜滞在型施設活用事業	H24 ～ R3	村内への観光誘客や伝統文化の継承を図るため、沖縄の自然を活用した野外活動や沖縄の伝統文化を体験できる事業を実施する。	体験型交流事業：14事業	体験交流人数：580人以上	【今後の展開方針】 継続的に魅力ある講座を企画し、参加者の確保に努める。	【R3成果目標設定の考え方】 各講座の定員総数以上を目標として設定した。
1			北中城まつり活性化事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、伝統芸能プログラムを中心とした夏の「青年エイサー」、秋の「北中城まつり」を開催する。	・青年エイサーまつり：8月～9月開催 ・北中城まつり：10月中旬開催	・青年エイサーまつり来場者数：7,400人 ・北中城まつり来場者数：24,000人	【今後のスケジュール】 まつりを通じた伝統芸能の保存・継承及び地域活性化を継続して実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1			観光誘客プロモーション事業	H26 ～ R3	新型コロナウイルスの収束を見据え、村内への観光誘客を回復するため、多言語による観光案内や観光イベントでのプロモーションを実施する。	・多言語観光案内業務の実施 ・観光イベントでのプロモーション	・観光案内所利用者数：14,000人 ・PRブース来場者数：1,700人	【今後の展開方針】 コロナ禍における観光業への影響を最小化し、外国人観光客に頼らない新たな層(国内企業、特にワーケーション需要)の開拓を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1			公営墓地整備事業	H24 ～ R3	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な配慮や住環境の改善を図るため、公営墓地の整備を行う。	納骨堂の整備	納骨堂整備の完了	【今後の展開方針】 公営墓地の安定的な運営に努めることで、墓地の散在化並びに景観の保全に努める。 【R4成果目標】 公営墓地利用世帯：35世帯	【R4成果目標設定の考え方】 北中城村公営墓地基本計画の策定時において、村内意向調査を加味し設定した。
1			観光周遊バス実証事業	H30 ～ R3	村内への観光誘客を図るため、大型商業施設と世界遺産中城城跡を結ぶ観光周遊バスによる実証実験を実施する。	・運行日数：350日以上 ・公共交通会議の開催：1回	年間利用者数：5,000人	【今後のスケジュール】 R4：本格運行	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1			観光情報インフラ整備推進事業	H28 ～ R3	村内を訪れる観光客の情報収集に係る利便性を高め、観光基盤を強化し、観光誘客を図るため、情報アクセスポイントの運営並びにデータの分析を行う。	・観光情報アクセスポイントの運営 ・データ取得・分析	Free Wi-Fiアクセス数 8,500/月	【今後の展開方針】 継続した観光基盤の強化を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
1			多言語観光案内サイン整備事業	H30 ～ R3	新型コロナウイルス収束後を見据え、今後多くの観光客を迎え入れる環境を整備するため、周辺案内板を整備する。	周辺案内板の設置：3基	周辺案内板の設置完了：3基	【今後の展開方針】 主要観光施設への来場者数の推移や施設運営側へのヒアリング調査により、利便性の向上について検証する。	【R3成果目標設定の考え方】 事業計画を踏まえ設定した。

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業	H25 ～ R3	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を促進するため、これまで積立てた基金を活用し、公有地の先行取得を行う。	公共用地の取得:1,636㎡	全体用地取得率:100%	【今後の展開方針】 取得した公共用地を踏まえた跡地利用計画の見直しを検討する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
2			キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	R3	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用計画(素案)の見直しに向けた検討を行う。	跡地利用計画(素案)の見直しに向けた検討	跡地利用計画(素案)の検討に係る調査報告書の作成	【令和4年度以降】 跡地利用計画(素案)見直し後、当該跡地利用計画素案に対する地権者や村民等の「肯定的な評価」80%以上	【R4以降成果目標設定の考え方】 地権者や村民等のうち、大多数が「肯定的な評価」をしていると考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方については、アンケート調査により検証する。
2			喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業	H25 ～ R3	キャンプ瑞慶覧喜舎場ハウジング地区の跡地利用を推進するため、跡地に発生する空地部分の有効活用策の検討及び地権者意向調査を実施する。	・跡地に発生する空地部分の有効活用策の検討 ・地権者意向調査の実施	・跡地に発生する空地部分の有効活用策の作成 ・地権者意向調査の整理	【令和4年度以降】 本地区における跡地利用の検討に対する地権者や村民等の「肯定的な評価」80%以上	【R4以降成果目標設定の考え方】 地権者や村民等のうち、大多数が「肯定的な評価」をしていると考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方については、アンケート調査により検証する。
3			雇用サポートセンター事業	H24 ～ R3	地域に密着した就業支援による雇用機会の創出を図るため、雇用サポートセンターを設置する。	・登録企業の開拓:50件 ・求職者の個別支援:40件 ・新型コロナウイルス感染症による失業者等への支援:30件	就業率5%以上	【今後の展開方針】 事業継続による就業機会の創出に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
3			グッジョブ連携推進事業	H27 ～ R3	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験等を実施する。	・ジョブシャドウイング:小学校2校 ・職場体験:中学校1校 ・キッズJOBクラブの実施 ・出前フォーラム:高校1校 ・追跡調査の実施 ・キャリア教育講演会の開催	就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	【今後の展開方針】 企業や学校、教育機関との連携を密にし、引き続きキャリア教育の推進に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒が就業に対する意識が向上したと考えられる数値として設定した。
4			営農支援強化事業	H24 ～ R3	専門性の高い営農指導員の指導を行うことで、農業者に対し生産から販売までの安定した営農体制の支援を実施する。	・営農指導員の配置:2人	指導した農家の年間出荷額:3,814千円以上	【今後の展開方針】 農業者に対する生産・販売体制の支援による農業経営の安定化に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4		地域ブランド構築事業	H24 ~ R3	特産品の販売促進を図るため、特産品取扱店舗の維持・開拓、首都圏等での調査・プロモーションを実施する。	・開発した特産品取扱店の維持・開拓 ・北中城村特産品の調査の実施	パッションフルーツピューレの製造: 200袋以上(1袋500g)	【今後の展開方針】 開発した特産品のフォローアップを継続して行うとともに、販路拡大に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 パッションフルーツピューレを使用する事業者の需要を勘案し設定した。
4		農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業	H30 ~ R3	耕作放棄地の再生に向けて、食同源・農福連携・健康長寿への取組みに資するエリアを整備する。	・第二段階整備に係る民間事業者の誘致及び実施地の確保 ・エリアマネジメント組織の設立に向けた事業者・地域・関係者等との協定の締結	地域協定書(仮称)の締結	【今後のスケジュール】 R4: 循環型農業ゾーン及び体験農園施設ゾーンの整備完了、再生可能資源を活用してエネルギー(年間20万KWh)を生産し、コンテナ式水耕施設(40F)5基の稼動と200坪程度の園芸施設に供給を行い、農産物の生産にも着手。また、事業の持続的な効果と環境保全の図っていくためのエリアマネジメント組織を設立する。 R5: 第二段階整備(地域振興施設(食同源レストラン、農産物直売所等)、観光農園、水耕栽培施設・園芸ハウスなどの生産施設ゾーンの整備)に向けた事業調整・整備着手への準備作業を行う。	【R5成果目標設定の考え方】 R2事業の成果を踏まえ設定した。
5		総合英会話指導支援事業	H24 ~ R3	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。	英会話指導員の配置 ・小学校: 1人 ・中学校: 1人 ・幼小兼務: 1人	英語検定の受験者数: 516人	【今後の展開方針】 国際性豊かな人勢育成の素地を培うため、継続して生きた英語に触れ合う機会を創出する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
5		アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	H24 ~ R3	英会話力、英作文力、英文読解力の向上を図るため、米国教育機関とのWEBシステムを活用した、小・中・高校生向けの英語講座を実施する。	・中高生クラス: 前期32回、後期32回 ・小学生クラス: 前期32回、後期32回	定期テストにおける英語習熟度: 講座を受けた生徒全員80点以上	【今後の展開方針】 継続した事業展開により、米国語教室(ESL)レベルに到達できるよう、受講生の語学力向上を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 英語力の習熟度が高まったと判断できる数値として「80点以上」と設定した。
6		琉球歴史風致資産調査事業	H24 ~ R3	村内の「歴史風致資産」に関する調査成果のとりまとめを行い、本村独自の歴史を情報発信する。	・調査報告書(旧跡編)の原稿編集: 380ページ(100%) ・映像記録web公開(32件)	・調査報告書(祭祀編)の取りまとめ・発行及び各機関等への配布	【今後のスケジュール】 R4.3月: 報告書の発行 R5.3月: 報告書利用者アンケート調査 【R4成果目標】 報告書利用者に対し村の歴史への理解度等に関するアンケートを実施し本事業の成果を検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 報告書利用者のうち大多数が理解が深まったと考えられる値(80%以上)とした。

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北中城村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	特別支援教育支援員配置事業	H25 ~ R3	特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、支援員を配置する。	特別支援員を配置する。 ・小学校:10人 ・中学校:4人 ・幼稚園:4人	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後の展開方針】 本事業の継続により、早期から一貫した支援の充実を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 大多数が満足していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。	
7	学習支援員配置事業	H27 ~ R3	学習の遅れがちな児童生徒に対する学習支援を行うため、公立小中学校に学習支援員を配置する。	学習支援員の配置 ・小学校(2校):2人 ・中学校(1校):1人	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合及び無答率の減少 正答率30%未満の割合 小学5年生:算数(12.0%以下) 中学2年生:数学(32.2%以下) 無答率 小学5年生:算数(4.5%以下) 中学2年生:数学(11.1%以下)	【今後の展開方針】 本事業の継続により、児童生徒の基礎学力の向上を図るとともに、学習支援の指導力向上を図るため、学校間で連携協働し、各学校における成果・課題を共有することで、担任・特別支援教育担当者等との意見交換等を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
7	児童生徒の県外派遣旅費等支援事業	H29 ~ R3	児童生徒が学校教育の一環として県外に派遣される場合に、その派遣費用のうち対象経費の2分の1の額について補助を行う。	県外への派遣団体数:8団体(150人)	派遣された児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	【今後の展開方針】 本事業の継続により、児童生徒の意欲向上及び健全育成を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 指標については、対象者のうち概ね肯定的であると言える数値として80%を設定した。	
7	小中学生県外派遣支援(社会教育関連)事業	H29 ~ R3	県外大会への参加を、村内に在住する小中学生に等しく機会を与え、子ども達の視野を広げるため、社会教育の一環として派遣されるスポーツや文化活動に係る大会派遣に対し航空運賃を補助する。	県外大会等への派遣者数:50人	派遣された子ども達の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業の在り方について検証する。	【今後の展開方針】 本事業の継続により、村内の子ども達の意欲向上及び健全育成に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数の保護者が視野が広がったと感じられる値として設定した。	
8	健康長寿のまちづくりアクション事業	H26 ~ R3	本村の健康課題にアプローチするコロナ対応型健康イベントを実施し、村民の運動習慣の啓発に繋げる。	・庁内連携による健康サポートチーム会議のオンライン開催:3回 ・ウィズコロナに対応した城ヨガの開催:5回 ・コロナ対応型健活フェスタの開催:1回 ・小グループ対象のウェルネスツアーの実施:3回	・健康イベントへの総参加者数:150人 ・ウェルネスツアー総参加者数:90人	【今後の展開方針】 城ヨガやウェルネスツアーを北中城村ヘルスツーリズムプログラムとして展開し、健康長寿ブランドとして展開していく。	【R3成果目標設定の考え方】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加者数の上限を勘案し設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			省エネ化推進整備事業	R1 ～ R3	環境に優しい(温暖化対策)村づくりを推進するため防犯灯等の照明器具にLEDを導入する。	公立小学校体育館の照明機器にLEDを導入	公立小学校体育館の照明機器にLEDを整備	【R3成果目標】 LED導入による温室効果ガス(CO2)排出量12.8t-CO2/年の削減	【R3成果目標設定の考え方】 既存照明とLED照明の温室効果ガス(CO2)年間排出量の比較を行い、LED照明導入による温室効果ガス(CO2)排出削減量を算定した。
2			吉の浦公園施設機能強化整備事業	H25 ～ R3	プロサッカーチームの合宿誘致、村民等の健康増進及び利用者の利便性の確保を図るため、スポーツや文化活動の拠点として活用されている吉の浦公園内の各施設の機能強化整備を行う。 また、吉の浦公園等施設全体の利便性の向上を目的として、文化活動の中心である吉の浦会館の機能強化を併せて実施する。	ごさまる陸上競技場芝生の適正管理 吉の浦公園休憩所解体及び遊具整備の実施 吉の浦会館LED照明整備の実施	プロサッカーチームの合宿誘致件数:2件 整備の完了 ③整備の完了	【R4成果目標】 (園内) 遊具が整備されたことにより運動しやすい環境が整ったことで運動不足が解消されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について施設利用者のアンケートで検証する。 (吉の浦会館) 吉の浦会館のLED照明整備により施設の利便性の向上について(80%以上)利用者へのアンケートで検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 (園内) 利用者の大多数にとって運動不足の解消に繋がったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。 (吉の浦会館) 利用者の大多数にとって施設が快適に利用しやすくなったと考えられる数値として設定した。利用者へのアンケートにより検証する。
2			観光客誘客促進事業	H25 ～ R3	地域の伝統芸能の継承及び観光誘客を図るため、「世界遺産中城城跡プロジェクションマッピング」を開催する。	イベントの実施	観光誘客 プロジェクションマッピングイベント来場者 9,000人(2日間) 伝統芸能の継承 伝統芸能団体出演者数:38人。	【今後のスケジュール】 効果的な広報活動及びイベント内容の強化を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
2			プロサッカーキャンプ支援事業	H25 ～ R3	スポーツキャンプを通して、観光地としての魅力を発信し観光誘客を図るため、プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動並びにキャンプ受入の歓迎イベントの開催及び円滑なキャンプ実施のための警備を行う。	・プロサッカーチームの誘致活動の実施 ・キャンプ支援の実施	・キャンプ見学者数:8,480人 530人/1日あたり × 16日間(2チーム)	【今後のスケジュール】 プロサッカーチームのキャンプ受入体制を強化し、継続的なキャンプ誘致を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。
2			観光地周辺環境美化事業	H29 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃等を行う。	・環境美化作業員 6名 ・中城城跡環境向上作業員 10名 配置し、美化清掃等を実施。	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 引き続き観光地及び観光地へのアクセスルートを美化清掃等を実施し、観光地として相応しい景観の形成に取り組む。	【R3成果目標の考え方】 対象者のうち、大多数が観光地としての景観となっていると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24 ~ R3	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、小中学校にICT機器を整備する。また、情報教育補助員を配置し、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。	・情報教育補助員を配置し授業支援を行うとともに電子黒板等ICT機器の整備を実施する。	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上 以上の調査項目を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】引き続き、学校において情報機器ネットワークに慣れ親しむための環境整備、ITスキルの向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】(児童生徒)大多数にとって授業が分かりやすかったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。 (教員)大多数がICT機器活用の習熟度が上がったと考えられる値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方を検証する。
4			きめ細かな児童生徒支援事業	H24 ~ R3	特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個に応じた支援を行うため、特別支援員を配置する。また、不登校や発達障害等の課題解決を図るため、教育相談員と心理相談員を配置する。	・特別支援員配置 9人 ・相談員の配置 教育相談員 3人 心理相談員 1人	・特別支援員の対応への満足度(70%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・不登校児童生徒復帰率46%以上	【今後のスケジュール】引き続き日常的な教育相談活動を通して不登校児童等の減少へと繋げ安全な教育環境の提供を図る。	【R3成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案し設定した。
4			学力向上のための学習支援事業	H29 ~ R3	将来の沖縄振興に資する人材の育成に向けて、学力の向上を図るため、村内中学校に学習支援員を配置する。	・学習支援配置 2人	沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-5.8%以上	【今後のスケジュール】引き続き数学科を中心とした授業内での学習支援を行うとともに、放課後の補習を通じた個々の生徒に合わせた学習支援を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】過去の実績を勘案し設定した。
4			子育て保育支援事業	H29 ~ R3	特別な支援を必要とする子を預かる保育園を対象に、保育士の加配に対する支援を行い、要支援児の保育園での生活の困難の改善を図る。	・加配職員数21名	・保育園での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】引き続き、加配職員を配置し、子育て保育環境の整備を図る。	【R3成果目標設定の考え方】対象者の大多数が保育園での生活の困難が改善されたと考えられる指標として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			ひとり親家庭学童利用支援事業	H30 ~ R3	ひとり親家庭の育児の負担感の軽減を図るため、学童クラブがひとり親家庭の学童利用者に対して利用料を減免した場合に補助を行う。 補助上限:5,000円/人・月	ひとり親家庭に対して利用料を減免している学童クラブへの補助を行う。	安心・安全に子供を預けることができ、育児の負担感が軽減されたか(80%以上)を含めひとり親家庭の保護者へのアンケートにより本事業を検証する。	【今後のスケジュール】ひとり親家庭の負担感が軽減されたかを保護者に対するアンケートにより効果を検証するものとする。検証の結果、事業継続の検討を行う。	【R3成果目標設定の考え方】過去のアンケート結果を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	文化財悉皆及び中城村沖縄戦調査事業	H25 ~ R3	・文化財調査員による文化財の調査、文化財関係冊子の執筆・編集、印刷請負による冊子の発刊を行う ・沖縄戦調査員による村内の沖縄戦関連冊子の執筆・編集、印刷請負による冊子の発刊を行う	・「中城村戦前の集落総集編」の発刊 ・「中城村の沖縄戦 資料編」の発刊	・令和4年度に当該事業を総括する展示会を開催する。 見学者数:3,200人以上	【今後のスケジュール】 R4以降は、発刊物を使った小中学校での歴史文化に関する授業の実施や、護佐丸歴史資料図書館では調査成果を基にした展示会、文化財・戦跡めぐり等を実施していく予定である。	【R4成果目標設定の考え方】 展示会(4週間開催予定)に関しては、令和2年度に開催し中城城跡発掘調査成果展(2週間開催)の見学者数1,568人の2倍で設定した。	
5	文化財整備事業	H25 ~ R3	戦後引揚者上陸碑の移設のための設計、工事を実施する。	戦後引揚者上陸記念碑1基を、現在地に隣接する県管理地へ移設する。	移設整備の完了	【R4年度】 見学者150人(村内小中学校等の平和学習利用者90人+文化財巡りツアー60人) 【今後のスケジュール】 R4以降は、関係機関と連携し観光パンフレットに記載する等周知に努めていく。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案し設定した。	
5	中城村地域多世代交流活性化事業	R3	伝統文化の振興及び継承促進を図るため、組踊の演武及び継承等を行っている村内団体の活動を支援する。	村内組踊団体への補助の実施	公演を見てくれたお客さんが沖縄の伝統文化について理解が深まったか(80%以上)を含めアンケートを実施し本事業のあり方を検証する。	【R4年度】 アンケート結果を参考に今後の展開方針について検討していく。	【R4成果目標設定の考え方】 本事業の成果目標は伝統文化が発信され観光に繋がったかの効果について測れる指標を設定すべきだが検証が困難なため、本年度の成果目標としては、定性的な指標を設定した。	
6	中城村農業振興環境整備事業	H30 ~ R3	農業指導員及び補助員による試験栽培の実施 前年度農家で実証した栽培方法の反復実証	前年度の栽培試験結果を基に、栽培作業軽減化と品質向上を目指す反復試験の実施 前年度農家で実証した栽培方法の反復実証を行い効果を確認する。	・島にんじん間引き作業軽減に向けた播種方法及び品質向上に向けた栽培試験の実施 ・島だいこん栽培方法の違いによる発病の状況調査試験を実施する。 ・試験栽培の結果を基に、栽培指針の作成	【R4成果目標】 試験栽培により確立された栽培技術について(80%以上)営農指導を受けた村内の農家にアンケートを実施。	【R4成果目標設定の考え方】 営農指導を受けた農家の大多数が生産技術が普及された数値として設定した。また本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

中城村		計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	PFI導入による地元小規模事業者等経営安定化事業	R2 ~ R3	事業の概要、民間事業者の募集・選定に関する事項、官民のリスク分担等を整理し、実施方針の策定を行い、中城村立小中学校改築整備基本計画における民間活力導入可能性調査でのVFM算定結果を精査し、民間事業者の意向や市場動向を把握し、実施方針を踏まえたVFMの算定を行う。また、事業者選定の手法や、入札資料の作成等、事業者との契約締結に向けた取組を行う。	実施事業者との契約	実施事業者との契約	<p>【R8成果目標】 SPC参画地元小規模事業者等の受注増加件数</p> <p>目標値は導入効果を踏まえて今後設定</p>	<p>【R8成果目標設定の考え方】 経営安定化による受注件数が増えたかについて調査を踏まえ数値を設定する。</p>

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光地美化・緑化等環境整備事業	H24～R3	沖縄らしい風景を保全するため、公園の芝刈り、樹木剪定、植栽等を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	町内公園の美化・緑化実施(3箇所) 運動公園 東崎公園 東崎都市緑地	観光客や地元住民に対し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 観光客や地元住民のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	文化財環境整備活用事業	H25～R3	西原町内にある文化財及び文化財周辺の環境美化・整備や文化財ガイドの育成及び文化財巡り等イベントを開催し、観光誘客に向けた基礎的環境整備を図る。	・文化財及び文化財周辺の環境美化・整備の実施:24箇所 ・町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ(サガリバナ)」の診断 ・文化財ガイドの育成 勉強会:12回(月1回) ・文化財巡り等イベント開催:2回	文化財巡り等イベント参加者数110名	【今後のスケジュール】 今後もガイド団体等の人材育成を行い、文化財の案内ルートパターンを増やし、活用及び周知を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績及び開催イベントの規模、内容を勘案して設定した。	
2	小学校外国語活動指導員派遣事業	H24～R3	外国語活動指導員を小学校に派遣し、外国語教育の充実を図り、外国語への興味・関心を高める。	外国語活動指導員2名派遣(町立4小学校)	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して外国語活動指導員を派遣し、外国語教育の充実を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち大多数が外国語への興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	教育相談員配置事業	H24～R3	町教育相談室に教育相談員を配置し、学校生活等に悩みを抱える児童生徒及び青少年やその保護者等に対して支援を行うことで、学校生活等の困難の改善を図る。	・教育相談員配置数:3名 ・定期的な学校訪問(町立小中6校) ・教育委員会との連絡会議の実施(5回以上)	相談員が関わった児童生徒のうち、学校生活への適応や状況改善に向けて変容が確認できた人数の割合 31%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して教育相談員が関わることで、状況の改善を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	学習支援員配置事業	H25～R3	学習支援員を小中学校に配置し、各児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことにより、児童生徒の学力向上を図る。	学習支援員配置数(全小中学校配置) 小学校:8人 中学校:4人	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の県との差 ・小学校 国語 3.1以上 算数 5.2以上 ・中学校 国語 -1.2以内 数学 3.2以上 英語 -0.2以内	【今後のスケジュール】 今後も継続して個々の学習指導を行うことで、学力向上に努める。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別支援教育支援員を小中学校に配置し、特別な支援を要する障害がある児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援教育支援員配置数 小中学校:14人 ・臨床(発達)心理士配置数 小中学校:1名 状況に合わせて各学校へ配置 ・支援員の資質向上のために、内部研修を実施(2回)	年度末に実施する支援対象児の状況調査において、改善した児童数を70%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	幼稚園特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ R3	幼稚園特別支援教育支援員を幼稚園に配置し、特別な支援を要する障害がある園児に対応した支援を行うことで、学園生活や学習上の困難の改善を図る。	・特別支援対象児の人数に応じた支援員の確保 ・支援計画で集団生活の目標を立て、支援児一人一人に対して適切な支援を実施	対象となる園児の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して個に応じた支援を行い、支援の充実と質の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象となる園児の保護者のうち大多数が学園生活や学習上の困難の改善が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	中学校デジタル教科書整備事業	R3	学習内容の理解度を高め、将来の沖縄振興に資する人材育成及び生徒の学力向上を図るため、デジタル教科書を整備する。	中学校デジタル教科書の購入(数量:22)	生徒にアンケートを実施し、デジタル教科書を使った授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 ICTをより効果的に活用した授業を提供し、人材育成及び学力の向上を図る。	【R3成果目標の考え方】 対象となる生徒のうち大多数が「デジタル教科書を使った授業が分かりやすかった」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	親子通園事業	H28 ～ R3	乳幼児健診等の結果から、支援の必要性が高い発達の気になる子と保護者の受け入れを行い、日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応の訓練及び保護者に対する療育上の助言等を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図る。	親子通園受け入れ:8組	対象となる児童の保護者へのアンケートで、育児不安の軽減が図られたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 過年度における実施状況は、設定した成果目標を達成しており、効果的な事業展開が実施できているため、今後も継続的に事業が実施できるよう取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 対象となる児童の保護者のうち大多数が育児不安の軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4			里道及び水路の境界確定復元事業	H27 ～ R3	戦後、地籍が確定しないまま家屋等が建築された箇所が多々あり、境界問題の解決や公共用地の適正な管理を行うため、境界復元の確定測量及び表示登記を実施する。不明確な里道及び水路の位置を確定することで、災害時の避難経路整備計画図を策定し、避難経路の整備を行う。	・確定測量の実施 ・表示登記申請の実施	・確定測量の完了 ・表示登記申請の完了	【R5成果目標】 令和5年度までに西原町内全域の里道及び水路のうち、小那覇地内の境界確定測量を完了させ、確定した里道及び水路を基に避難経路の検討及び整備計画を行い、災害時の避難路整備を目標としたハード対策に繋げる。 【今後のスケジュール】 H30～R5 確定測量・表示登記 R6 避難経路整備計画図策定 R7 避難経路整備	【R5成果目標の考え方】 避難路整備計画で定めた事業計画を基に、整備に繋げていく。
5			西原町雇用サポートセンター活性化事業	H27 ～ R3	求人企業に既存支援制度の活用に向けた助言等を行い、求職者と企業のマッチングや、就職セミナーやスキルアップ講座を開催することで、雇用の拡大を図る。	・求職者と企業のマッチング 20件以上 ・スキルアップ講座等 20回以上	新規雇用割合50%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続し、求職者、求人企業のサポートを行い、一人でも多くの町民が就業につながるような取り組みを行うことで、雇用の拡大につなげる。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5			地域型就業意識向上支援事業	H27 ～ R3	高校生及び大学生を中心に商品販売活動や商品開発及び県外視察研修を実施し、就業意識の向上を図るとともに、「西原町」を深く理解し愛着を持つ郷土愛の醸成を図る。	・協力企業数 8社 ・全国SBP交流フェアオンライン参加 1回	・高校生、大学生へのアンケートを実施し、就業意識向上（95%以上）を含め、本事業のあり方について検証する。 ・高校生、大学生へのアンケートを実施し、郷土愛が醸成されたか（80%以上）を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後は高校生及び大学生が独自で活動できるよう取り組み、就業意識の向上と郷土愛の醸成を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・対象の高校生や大学生のうち大多数が郷土愛の醸成が育まれたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
6			輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R3	麻しん風しん(MR)予防接種率の向上を図るとともに、外国人観光客受入に起因する感染症の蔓延を防ぐため、予防接種の費用を助成する。	・麻しん及び風しん予防接種の実施(接種率95%以上)	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	【今後のスケジュール】 今後も継続し、予防接種の接種動員に取り組み、接種率向上を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 感染症蔓延を防止するために接種率の向上を図り、集団感染を防ぐことが目的のため集団感染の発生件数を目標値として設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

西原町		計画 期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	水難救助車整備事業	R3	水難救助車を配備し、水難事故や災害への消防活動の機能強化を図る。	水難救助車の配備(1台)	水難救助車の配備完了(1台)	【R4成果目標】 ・水難救助訓練(35回/年) 【今後のスケジュール】 ・水難救助車を活用した訓練を実施し、被害防止に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 ・水難救助車を活用した訓練を実施することで、管轄内での水難事故対応の強化、さらに関係機関との合同訓練も実施しながら災害への対応強化を図る。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	与那原町魅力発信事業	H26 ~ R3	与那原町の魅力を県内外に発信し、また観光客の誘致を図る為、各種事業により整備した新たな観光資源等を活用し、各種イベント等を実施する。	・平成30年度に誕生したイメージキャラクターのプロモーションを行う。 ・与那原地区社交飲食業組合への補助を行い「スタンプラリー」を開催する。 ・観光施設案内標識板を設置し観光客のスムーズな誘導を行う。	・スタンプラリーへの参加数300人	【今後のスケジュール】 ・イメージキャラクターを最大限に活用して与那原町の魅力を町内外に発信していく。 ・スタンプラリー等を通して与那原町の魅力を町内外に発信していく。	【R3成果目標設定の考え方】 ・令和元年度のスタンプラリー参加者は1,069人、令和2年度は4ヶ月弱の国や県の宣言・措置・要請が出されながらも659名の方がスタンプラリーに参加した。今年度の成果目標は令和2年度実績を踏まえ、当分の間コロナウイルス感染対策は続くものと想定した上で、目標値を設定した。	
1	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	H24 ~ R3	町内散策コースの美化・緑化を促進し、観光客が安心・安全で気持ち良く町内を回遊できるように環境美化・整備を行い観光振興を図る。	・散策コースの環境美化作業員配置 6名	・本事業(剪定・除草等)による環境美化の散策コースについて、観光地としてふさわしい景観及び環境である(80%)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	【今後のスケジュール】 継続して美化作業を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 当事業を実施したことによる美化環境に概ね肯定的な人の割合をアンケート調査で80%以上とした。	
2	きめ細かな児童生徒支援事業(小学校・中学校)	H24 ~ R3	学習に遅れのある児童生徒や、特別な支援を要する児童生徒や保護者に対し、きめ細かな支援を行う為の各種支援員を配置する。また、放課後の児童の学びをサポートする為、放課後学習支援員を配置する。	・学習支援員 10名配置 ・特別支援教育支援員 14名配置 ・スクールカウンセラー 1名配置 ・特別支援教育コーディネーター 1名配置 ・放課後学習支援員 4名配置	・沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 小学校:県との差0.3ポイント以上 中学校:県との差0.0ポイント以上 ・不登校児童生徒復帰率10%以上 ・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援教育支援員の対応への満足度80%以上	【今後のスケジュール】 R3年度まで事業を継続し、個に応じたきめ細かな指導により、基礎学力の定着に取り組みつつ、不登校児童生徒についても学習意欲や登校意欲を引き出すような支援に努める。	【R3成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を参考に設定した。 ・過去実績を基に削減率を設定することが困難な為、少しでも減少させるという理由により設定した。 ・対象者のうち、大多数が対応へ満足したと考えられる値として設定した。	
2	国際理解人材育成事業	H24 ~ R3	国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導助手を派遣する。	・英語指導助手 3名配置	・児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R3年度まで事業を実施するため英語指導助手を配置する。児童の英語学習への興味や関心度を高めることにより、英語及び他教科への学習意欲にも繋がることを目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が満足したと考えられる値として設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	H24～R3	児童生徒の学力向上及び人材育成の為、情報教育支援員を各小中学校へ配置する。	・情報教育支援員 2名配置 ・電子黒板一式 10台	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上 ・教員にアンケートを実施し、情報教育支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上	【今後のスケジュール】 R3年度まで事業を継続し、児童生徒のパソコンの基本操作習得を目指す。研修等を行い、教員の指導力の向上を図り、ICT設備を利活用する。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数がICTを活用した授業が分かりやすい、機器の習熟度が上がったと考えられる値として設定した。	
3	ほっとハート子育て応援事業	H24～R3	0歳児の待機児童対策を目的に、看護師等を配置する認可保育園へ経費の一部を助成する。(月額50,000円を上限とする。)	認可保育園への看護師等配置 8施設中1施設(各1名配置)	・看護師等を配置したことによる0歳児待機児童解消数3人以上	【今後のスケジュール】 交付金の終了に伴い、財政的支援は廃止となる見込み。保育園側は、看護師等配置の必要性を理解しており、より安心・安全な運営を意識するきっかけとなった。当該交付金終了後も、継続して配置を行う旨の声がある。	【R3成果目標設定の考え方】 看護師等の採用見込がある園を聞き取り調査し設定した。	
3	きめ細かな児童生徒支援事業(幼稚園)	H24～R3	特別な支援を要する児童に対し支援することにより、幼稚園における集団生活での対応や先に控える小学校生活へのスムーズな促しを図るために個に応じたきめ細かな支援を行う為の特別支援教育支援員を配置する。	・特別支援教育支援員12名配置 ・特別支援コーディネーター1名配置	・対象となる園児の保護者へのアンケート調査を実施し、「特別支援員の対応への満足度」(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 令和3年度まで事業を継続し、個に応じたきめ細かな指導により、幼児の登校意欲や進学意欲、ならびに自己肯定感を高める支援に努める。	【R3成果目標設定の考え方】 対象となる園児の保護者のうち大多数が「特別支援員の対応に満足した」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	農業用被覆資材等導入推進補助事業	H29～R3	農作物の出荷量向上を図る為、資材導入にかかる経費に対し、補助を行う。	台風等の自然災害、病害虫等の被害軽減を図るため被覆資材導入推進を図る。	ゴーヤー出荷量 2,230kg以上 マンゴー出荷量 4,510kg以上	【今後のスケジュール】 今後は、講習会等を通じさらに品質向上に努める。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を参考に設定した。	
6	新しい公共交通検討事業	R1～R3	高齢者や障がい者等の交通弱者に配慮した移動手段を確保するため、福祉型町内バスの導入検討のために実証実験を行う。	福祉型町内バスの実証実験を実施	需要や課題等の実態把握の完了	【今後のスケジュール】 R3年度まで実証実験を実施し、R4年度の本格導入に向けて検討する	【R3成果目標設定の考え方】 高齢者や障がい者等の交通便利性を高めることを目的としているため、バスを利用した高齢者や障がい者等へのアンケートを実施し、アンケートより本事業の需要や課題等を見出し、本格導入に向けての検討をする。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那原町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
7	運玉森「平和学習広場」整備事業	R1 ~ R3	運玉森での平和学習の機会を増やすため、山頂付近での掲示板や床敷の表示板及び山頂までの散策路の整備を行い、登山者の安全を確保する。	・価格調査業務委託 一式 ・駐車場測量調査業務委託 一式 ・運玉森「平和学習広場」整備工事 散策路整備工 一式	散策路の一部整備完了	【R6成果目標】 平和学習参加者の沖縄戦への歴史に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業の在り方について検証する。	【R6成果目標の考え方】 参加者の沖縄戦への歴史に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートを実施し、効果を測定するものとした。	
8	親川拝所整備事業	H24 ~ R3	歴史・文化を後世に継承・発信するため、「御新下り」関連の史跡等を復元することにより、歴史資産を構築し、新たな観光資源としての活用を図る。更に安全に来訪者を迎えるための周辺整備を行う。	親川拝所整備及び管理棟建築工事	親川拝所整備及び管理棟建築工事的完了	【R4成果目標】 親川拝所供用開始後1年目(令和4年度)の目標を以下のとおりとする。 ・親川拝所及び広場来場者数10,400人以上	【R4成果目標の考え方】 ・過去の実績、広場整備後についてのアンケートや資料館館長からの聞き取りを勘案して設定した。	
9	水難救助車整備事業	R3	水難救助車を配備し、水難事故や災害への消防活動の機能強化を図る。	水難救助車の配備(1台)	水難救助車の配備完了(1台)	【R4成果目標】 ・水難救助訓練(35回/年) 【今後のスケジュール】 ・水難救助車を活用した訓練を実施し、被害防止に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 ・水難救助車を活用した訓練を実施することで、管内での水難事故対応の強化、さらに関係機関との合同訓練も実施しながら災害への対応強化を図る。	

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	R3事業内容		今後の展開方針等	補足説明等
1	2	小学校英語指導助手配置事業	H24 ～ R3	小学生のうちから英会話に触れさせ、英会話や英語圏の文化について興味を持たせ英語力を向上させるため、小学校に英語指導助手を配置する。	小学校英語指導助手配置数:6人 ・4名 4校各1名 ・2名 中学校区各1名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う児童の割合:80%以上	【今後のスケジュール】 英会話や英語圏に興味を持つ児童を少しでも多く増やせるよう、今後も小学校英語指導助手を配置し、成果目標の達成につなげていく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績と大多数の児童が興味を持ったと考えられる数値として設定した。
1	3	学力調査等事業	H24 ～ R3	学力調査等により個々の学力を把握することで、一人ひとりの課題を明確にし、学習の目的意識の醸成をはじめ、「わかる授業」の強化や家庭学習の習慣化を通して「確かな学力」の向上に繋げるため、学力調査等を実施する。 また、リーディングスキルテストにより読解力の課題を把握し、読解力の向上を取り入れた授業改善に取り組む。	標準学力調査の実施 ・小学校4校 1年～2年:国語・算数 学力調査の実施 ・中学校2校 3年:国語・数学・理科・社会・英語 リーディングスキルテストの実施 ・小学校4校 6年 ・中学校2校 1年～2年	標準学力調査の平均正答率が目標値以上の科目数 ・小学1～2年:4科目/4科目 沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 ・小学6年 算数+3.3ポイント以上 ・中学1年 数学+0.9ポイント以上 ・中学2年 数学+0.9ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後は学力調査、リーディングスキルテストの調査結果により個々の学力を把握し、きめ細やかな指導につなげ、児童生徒のさらなる学力向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 小学1～2年生は、標準学力調査において、平均正答率が目標値を上回ることを目標とした。 小学6年、中学1～2年は、沖縄県学力到達度調査において、県平均正答率を上回ることを目標とした。
1	4	学習支援員配置事業	H24 ～ R3	通常の授業についていけない児童生徒の学力向上を図るため、小・中学校に学習支援員を配置する。	(小学校) ・10名:4校各2名配置、研究指定校に2名追加配置 ・配置学年:主に2～5年、主な配置科目:算数、国語 (中学校) ・4名:2校各2名配置 ・配置学年:主に1～2年、主な配置科目:数学・理科・英語	・小学校 沖縄県学力定着状況調査(学びのたしかめ)において県と本町との平均正答率の差の合計 算数-3.7ポイント以上 ・中学校 沖縄県学力到達度調査の県と本町との平均正答率の差の合計 数学+1.7ポイント以上 理科+1.3ポイント以上 英語+3.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 引き続き全小中学校に学習支援員を配置し、基礎学力向上に努める。	【R3成果目標設定の考え方】 学びのたしかめ及び沖縄県学力到達度調査において、県平均正答率を上回ることを目標とした。
1	5	特別支援教育支援員配置事業	H24 ～ R3	特別な支援を要する障害がある児童生徒への学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。また、特別な支援を要する児童生徒への適切な支援を行うため知能検査器具を購入する。	・特別支援教育支援員配置数 小学校:23人、中学校:6人、幼稚園:24人、 ・知能検査器具4台購入	対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度 80%以上	【今後のスケジュール】 引き続き全小中学校に特別支援教育支援員を配置し、児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善に努める。	【R3成果目標設定の考え方】 80%以上の設定については、大多数の保護者が満足したと考えられる数値として設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	6	学校ICT推進事業	H24 ~ R3	<ul style="list-style-type: none"> ICT支援員を配置(1名)し、町内の小中学校を巡回する。 タブレットPC等やデジタル教科書、クラス増に伴う電子黒板の整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT支援員1名配置。 タブレットPC等を整備できていない教室への整備。 クラス増となった教室へ電子黒板の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がった(授業でICT機器を活用して指導できる)と答えた割合:80%以上 児童生徒にアンケートを実施し、タブレットPC等を活用した授業の楽しさ及び分かりやすいと答えた割合:80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】 ICT支援員 次年度以降も配置する。 【その他】 ICT機器や取組について他市町村の良い例を参考に検討を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R3成果目標設定の考え方】 成果目標としては大多数が習熟していると考えられる数値として「80%以上」と設定した。
1	7	教育相談支援事業	H24 ~ R3	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒数の改善を図るため、小中学校に教育相談員等を配置し、不登校または不登校傾向にある児童生徒及び不登校や発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行う。 また、学校に作業療法士を派遣し児童生徒の多様性に対応した学習環境を構築し、不登校の未然防止に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 青少年教育相談員 1名配置 特別支援教育相談員 1名配置 自立支援教室支援員 2名配置 適応指導教室学習支援員 2名配置 心の教室相談員 5名配置 作業療法士の派遣 66日 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒復帰率:22.8%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】 不登校の要因を分析して組織的な支援体制を行い、不登校児童生徒復帰率を22.8%以上にする。 多様化する不登校の要因に対して、行政・学校・家庭・地域が連携して登校支援の体制に取り組めるよう情報共有の場を設ける。 本人や保護者との教育相談を充実することにより不登校要因の把握に努め、効果的な対策に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R3成果目標設定の考え方】 目標値の設定にあたっては、令和元年度全国値 22.8%を目標値に設定した。
1	8	中学校外国人英語指導助手配置	H24 ~ R3	<ul style="list-style-type: none"> 中学校英語学力の向上を図るため、中学校に外国人英語指導助手を配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校に外国人英語指導助手を1名配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差 中学校 英語 + 3.0ポイント以上 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】 今後も中学校外国人英語指導助手を配置し、英語学力向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R3成果目標設定の考え方】 沖縄県学力到達度調査において、県平均正答率を上回ることを目標とした。
1	9	南風原町各種大会派遣支援事業	H25 ~ R3	<ul style="list-style-type: none"> 県外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、町内の小・中学校の児童生徒が、学校を代表し、中学校体育連盟等が主催する県外で開催される運動競技大会又は文化関係大会に参加する際の大会派遣費用を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の大会派遣の支援延べ38名 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートで、児童生徒の視野が広がったと実感した割合:80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 【今後のスケジュール】 今後も児童生徒人材育成のため県大会派遣を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【R3成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持たたかどうかを検証するにあたっては、当該児童生徒の成長をもっと身近で感じ取ることができる保護者にアンケートを実施することで効果を図ることとする。 80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	10	南風原町県外等派遣支援事業	H25 ～ R3	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、町内に在住する小学生・中学生及び地域青年会等が運動競技及び文化活動参加のため県外や国外へ派遣される場合に必要派遣費用の支援を行う。	児童・生徒及び青年会等大会派遣の支援数80名	対象児童等の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者等に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒及び青年会等の人材育成のため、大会等の派遣を継続して支援していく。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が視野が広がったと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する
1	11	南風原町幼稚園体育活動充実事業	H28 ～ R3	幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことにより、その後の運動習慣を身に付けられるよう、南風原町内の幼稚園児を対象とし、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施する。	町内4幼稚園での専門的な体育指導の実施	運動する楽しさを実感したか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 今後も事業の必要性や効果を検証しながら園児の体力向上に効果的な事業を実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が楽しさを実感したと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	1	南風原町観光景観美化整備事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光ルートとなる道路及び公園等の美化整備を行う。また、琉球王朝時代の間切番所跡に植樹されているフキギ並木から間切番所跡の石碑までの散策道の整備を行う。	・観光ルートの町道メンテナンス完了 ・公園6箇所の景観美化完了 ・フキギ並木通りの整備完了	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する	【今後のスケジュール】 今後も継続して町道メンテナンス(美化清掃)を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が景観形成が図られたと考えられる数値を設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	2	ヒーローのまちづくり事業	H25 ～ R3	南風原町が輩出した人材の功績を継承するとともに、観光客を本町へ誘客するため、南風原町が輩出した人材の功績や経歴、所有品の展示等のイベント等を実施する。	・イベント開催:1回 ・脚本賞舞台化:1回	・イベント(上映会、凧上げ、金城哲夫展等)来客者数:3,250人	【今後のスケジュール】 観光客を本町へ誘客するため、町が輩出した人材の功績や経歴、所有品展示等のイベント継続的に実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	3	シマじまガイド事業	H24 ～ R3	住民が地元の歴史や文化を学ぶ機会を創出するとともに観光誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を実施する。	・ガイド養成新規2名 ・シマじまガイド開催12回	シマじまガイド参加者:1,700人	【今後のスケジュール】 町内外からの観光客等の誘客を図るため、地域ガイドを活用したまち歩きツアー等を継続的に実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	4	黄金森公園スポーツ施設活性化事業	H25 ～ R3	陸上、サッカー等合宿利用者数の増加及びJリーグキャンプ誘致による誘客を図るため、黄金森公園スポーツ施設のJリーグキャンプ受入体制等の整備を行う。	・陸上競技場及び野球場芝生の管理委託の完了 ・黄金森公園陸上競技場管理職員4名の配置 ・トレーニング機器及び陸上競技用備品整備完了	・陸上、サッカー等合宿利用者数:1,300人 ・Jリーグキャンプ・全国大会来場者数:6,000人	【今後のスケジュール】 今後も継続的にスポーツコンベンション誘致活動を行い、Jリーグキャンプ及び合宿等の定着を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	5		南風原町地域ブランド構築・展開プロジェクト	H24 ～ R3	本町の魅力の発信及び優れた特産品として認証した商品の販売数増加を図るため、町内事業者に対し商品開発やブラッシュアップ等の支援をし、「はえばる良品」の認定及び認定商品の販路開拓を図る。	・町内事業者を対象に商品開発に関するワークショップの開催(5回) ・優れた特産品の町内ブランド「はえばる良品」の認証(2件) ・特産品の販路開拓(テスト販売出展等5回) ・販路開拓セミナーの実施(6回)	・南風原良品の販売個数増 H28年度認定 びよびよシフォン4,486個 ゆめかなえぼしパウンドケーキ473個 澁しカボチャ使って味わうスープの素2,100個 はえばるのまきもの95個 H29年度認定 ウォッチナー116個 SANGOくっしょん803個 沖縄キビまる豚1,260個	【今後のスケジュール】 今後も継続的に地元企業やJA等との連携強化、人材育成、はえばる良品の周知及び販路開拓・拡大を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	6		南風原町観光PR促進事業	H25 ～ R3	本町の認知度向上と地域資源の情報発信を図るため、イメージキャラクターのはえらんや野菜のお友達を活用し、様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを実施する。	・はえらん等利用数:50件 ・イメージキャラクターによる観光PR活動(年間100回)	・観光サイトアクセス数:207,500件	【今後のスケジュール】 町のイメージキャラクターを活用し、県内外の様々なイベントに出演して町特産品や観光関連のPRを継続的に実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	7		南風原南インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R1 ～ R3	企業誘致等による産業振興の発展を図るため、南風原南インターチェンジ周辺の特性を活かした土地利用計画を基に津嘉山地区の実現化方策の策定を行う。	・津嘉山地区実現化方策の策定 ・準備委員会設立支援(意見交換会・勉強会の開催)	南風原南インターチェンジ周辺(津嘉山地区)実現化方策策定完了。	【今後のスケジュール】 関係地権者と意見交換会を重ね、合意形成を図り南風原南インターチェンジ土地利用計画の実現に向けて取り組み企業誘致を図る。	【R4以降の成果目標の考え方】 R1～R3:土地利用計画書 策定 R4以降:事業化に向けた手続き、面的整備
2	8		南風原北インターチェンジ周辺企業集積推進事業	R2 ～ R3	本町の産業振興を図り実現可能な広域商業交流ゾーンの形成を検討するために、土地及び建物に関する権利調査や意向調査等を反映させた土地利用計画(案)を策定する。	・前提条件の整理(まちづくりの現状・課題の整理等) ・区域検討を含む土地、権利調査 ・関係地権者意向調査 ・土地利用計画(案)の策定 ・関係機関との協議支援	南風原北インターチェンジ周辺土地利用計画(案)策定完了	【今後のスケジュール】 関係地権者と意見交換会を重ね、合意形成を図り南風原北インターチェンジ土地利用計画を策定し企業誘致等を図る。	【R5以降の成果目標設定の考え方】 R2～R3:土地利用計画 策定 R5以降:事業化に向けた手続き、面的整備
2	9		南風原町和牛改良支援事業	H27 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため、優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入(2頭)の導入支援完了	導入した優良母牛から生まれた子牛と導入牛以外の牛から生まれた子牛との価格差の割合(牝)104%、(去勢)117%以上	【今後のスケジュール】 導入した優良母牛から生産される子牛を保留し、母牛の改良強化を行うことで子牛のブランド化を図り、農家の経営安定化へ繋げていく。	【R3成果目標設定の考え方】 全体的なセリ価格の高騰や低落等、市場の状況に関わらず、優良母牛から生まれた子牛の価格とそうでない子牛との価格差の割合を一定以上にしておくことにより、優良な子牛のブランド化が図られていると考えられることから、成果目標として設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	1		はえばるリサイクルレープ事業	H24 ～ R3	生ごみを資源化し、一般廃棄物を削減することによりごみ処理処分の長寿命化を図るため、町内で発生する食品廃棄物を分別回収し、養豚用飼料や堆肥を生産する。また、生産された養豚用飼料ではえばる豚を育て販売することにより、食品廃棄物の循環を構築していく。	町内で排出される食品廃棄物を回収、分別、飼料・肥料の生産完了	生ごみ(家庭系)の年間資源化量:29トン	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内で発生する食品廃棄物を分別回収し、食品廃棄物の循環構築を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 生ゴミの資源化量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入されるゴミの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した。 また資源化量は、過去の実績を勘案して設定した。
3	2		草木リサイクル事業	H24 ～ R3	焼却ごみを減らし、環境に負荷の少ない「循環のシステム」を構築によりごみ処理処分の長寿命化を図るため、町内から排出される草木を細かく破碎し堆肥化する。	町内から排出される草木の堆肥化完了	・家庭系草木のリサイクル量(堆肥化):435トン ・町内一斉清掃等草木のリサイクル量(堆肥化):105トン	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から発生する草木を堆肥化し、リサイクル量の増を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 草木のリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される焼却ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した。 またリサイクル量は、過去の実績を勘案して設定した。
3	3		環境保全3R推進事業	R1 ～ R3	環境負荷の少ない循環型社会の形成と、ごみ処理処分の長寿命化を図るため、本町の一般世帯から回収された資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、廃食油、ペットボトル、古着)の分別作業を実施しリサイクルを推進する。	町内から排出される資源ごみを分別及びリサイクルの完了	資源ごみ(古紙、アルミ、スチール、ビン、ペットボトル、古着)の分別量 703トン 廃食油の収集分別量18,317リットル	【今後のスケジュール】 今後も継続して町内から排出される資源ごみを分別し、リサイクル量の増加を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 資源ゴミのリサイクル量を増やし、ごみ処理施設及び最終処分場に搬入される資源ごみの量を減らすことで、施設の長寿命化を図ることができると考え、設定した。 また分別量は、R1年度の収集分別量の実績より算出した。
3	4		低炭素社会化事業(省エネ設備導入事業)	H27 ～ R3	温室効果ガス(CO2)を減らし地球温暖化の抑制に繋げるため、町立幼稚園、小学校、中学校にある室内灯(蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明等への切り替えを行う。	学校施設室内灯(蛍光灯)のLED灯への切り替え(1363灯)実施。	学校施設室内灯(蛍光灯)のLED灯への切り替え(1363灯)完了。	【R4成果目標】 温室効果ガス排出削減量 [136t-co2/年] 【今後のスケジュール】 今後も継続して温室効果ガス(CO2)を減らし地球温暖化の抑制に繋げる。	【R4成果目標設定の考え方】 交換するLED照明1灯当たりの年間CO2排出削減量を算定し変更した灯数で設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	1		放課後児童の居場所づくり支援事業	H24 ～ R3	安心・安全に子供を預けることができ、保護者の子育てへの負担感を軽減するため、民間の賃貸住宅等を利用している本町の学童クラブに対して、家賃の補助を実施する。また、学童クラブが生活保護世帯及びひとり親家庭等の学童利用者に対し利用料を減免した場合の補助を実施する。	(1)家賃補助 12カ所 (2)生活保護世帯及びひとり親世帯等学童クラブ利用料支援補助 97人	安心・安全に子供を預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して学童クラブへの家賃補助及び対象世帯への学童クラブ利用支援の補助を実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が負担感が軽減されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	2		認可外保育園支援事業	R1 ～ R3	出生率の高い沖縄の喫緊の課題である待機児童の受入を担っている認可外保育園の保育の充実、児童の福祉向上を図るため、本町の児童が通園する認可外保育園に対して1.運営補助、2.傷害保険補助、3.歯科検診補助を行うとともに、町外認可外保育園児の保護者に対し、町外認可外保育児童助成の補助を行う。	(1)認可外保育園への補助 3園 1.運営補助 2.傷害保険補助 3.歯科検診補助 (2)町外認可外保育園に通う町内在住者の児童の保護者への助成 31名 1.町外認可外保育児童助成	・園児の保護者に対し、保育の質が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。 ・園児の保護者に対し、助成により保護者負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査を実施し、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 認可外保育施設の質の向上及び保護者の負担軽減を継続的に実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 アンケートについては、保育の質の向上、助成による負担軽減を実感できる保護者を対象とした。 また、成果目標については、大多数が、保育の質が向上した又は助成により負担が軽減され満足したと考えられる値として80%を設定し、合わせて当事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4	3		輸入感染症対策推進事業	R2 ～ R3	外国人観光客の急増により、観光客から麻しん、風しんにかかるリスクが増加していることから、当該感染症の蔓延を予防するとともに沖縄観光や経済への影響を最小限にするため、麻しん風しん(MR)予防接種の受けやすい体制の構築により接種率の向上を図る。	MR 期接種目標率 95% MR 期接種目標率 95%	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	【今後のスケジュール】 流行による感染拡大が起こらないよう、引き続き対象者への接種勧奨を積極的に実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 感染症蔓延を防止するために接種率の向上を図り、集団感染を防ぐことが目的のため集団感染の発生件数を目標値として設定した。
5	1		陸軍病院壕公開活用事業	H24 ～ R3	南風原町の歴史継承及び観光誘客を図るため、沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行うとともに、整備・公開している20号壕を訪れる県内外の見学者に対して、壕内外のガイド案内を実施する。	開壕日数：308日	見学者数10,500人	【今後のスケジュール】 今後も継続して沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行い、県内外からの見学者へのガイド案内を実施していく。 また、新型コロナウイルス禍における見学対応として、屋外の軌跡案内の充実を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去(H28～R1年度)の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南風原町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	2	子ども平和学習交流事業	H24 ~ R3	子どもたちが平和について理解を深めるため、戦争と平和、差別や人権等について、施設を訪ねたり交流や研修を重ね学習する。	・子ども平和学習交流事業参加者数：14人 ・事前学習及び本研修を実施後、報告会を開催	・参加児童の保護者へのアンケートで、子どもにより変化がみられた：90% ・参加後、平和や戦争、人権や差別について社会の問題に興味をわいた児童：90%	【今後のスケジュール】 ・本事業におけるOB会との連携、事後学習の充実を図る。 ・ネットワークづくりや課題を設定したイベントの開催などを実施する。 平成24年度～令和3年度 各年度参加者8～12人 累計124人（H27年は24人） ・令和2年度は新型コロナウイルスの影響で県外宿泊研修ができず、リモート映像配信によるリモート研修を実施した。今後も状況に応じ、リモート研修を検討する。	【R3成果目標設定の考え方】 児童の平和等に対する理解が深まったかについて、大多数が理解していると考えられる数値として「90%以上」と設定した。
6	1	長寿県復活食の応援事業	H25 ~ R3	将来の生活習慣病の予防に向けて、食生活や生活習慣の改善に係る知識の普及を図るため、生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。	生活習慣病予防健診の実施 健診結果説明会の実施	中学2年生の継続受診率60%（平成30年度小学5年生で受診した者のうち、中学2年生でどれだけ健診を継続して受診できたか）	【今後のスケジュール】 生活習慣病予防健診結果を教育委員会や町内学校とも共有することで学童期からの生活習慣病予防を効果的に進めていきたい。	【R3成果目標設定の考え方】 生活習慣病予防のためには健診結果を経年で見ていくことが重要であり、継続受診率を見ることで事業目的の評価を行えると判断した。なお、60%は本町の特定健診継続受診率を参考値とした。
7	1	水難救助車整備事業	R3	水難救助車を配備し、水難事故や災害への消防活動の機能強化を図る。	水難救助車の配備(1台)	水難救助車の配備完了(1台)	【R4成果目標】 ・水難救助訓練(35回/年) 【今後のスケジュール】 ・水難救助車を活用した訓練を実施し、被害防止に努める。	【R4成果目標設定の考え方】 ・水難救助車を活用した訓練を実施することで、管轄内での水難事故対応の強化、さらに関係機関との合同訓練も実施しながら災害への対応強化を図る。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	渡嘉敷村観光総合推進事業	H24 ~ R3	観光需要の回復を図るため、県内外の観光イベントにおけるPR活動や、各種広告媒体を活用した情報発信を継続し、多様な観光ニーズに対応する、withコロナ時代の新しい観光地づくりに取り組む。	・PRツールの制作配布(観光MAP等) ・県内外で行われるイベントでのPR活動 ・広告掲載(観光情報誌掲載) ・外国語スタッフの配置(那覇泊港とまりん)	年間入域観光客数 134,800人以上 観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 イベントにおいては、体験メニューを取り入れたブース運営で、島の魅力を発信する。 ・渡嘉敷島MAP等のツール類については、常に最新の情報を取り入れ増刷しPRに活用するほか、WEBを活用したPRにも力を入れていく。 ・とがしきマラソン参加者の安定確保のため、特色を前面に出したPRを展開する。 ・観光振興実施計画に基づく実績の評価(PDCA)を実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。 大多数の観光客にとって利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	渡嘉敷村美化清掃事業	H24 ~ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施する。	花木植栽10箇所実施 美化清掃10箇所実施	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R3年度まで継続実施し、本村のイメージアップに努める。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	渡嘉敷村観光振興事業	H29 ~ R3	渡嘉敷村の観光振興を図るため、各イベント実行委員会等への支援や、修学旅行等の誘致活動に取り組む観光協会への支援を行う。	・観光協会への支援	年間入域観光客数 85,300人以上 【参考指標 R1実績】 イベント来場者(参加者)数 ・冬季(11月~3月)20,394人 修学旅行受入校数 10校以上/年	【今後のスケジュール】 ・村内観光誘客イベントの継続開催を支援し、あらたな客層の掘り起こしや入域観光客の平準化を図る。 ・修学旅行等誘致活動は、これまでの来島校の継続と、特に関東地区と関西地区の新規開拓に向けた取り組みを強化する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	渡嘉敷村海域安全確保事業	R1 ~ R3	村内の2ビーチ(阿波連ビーチ・渡嘉志久ビーチ)において、ビーチ利用者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。	水難救助員等の配置 ・阿波連ビーチ 2名(3名) ・渡嘉志久ビーチ 2名 (7月、8月 阿波連ビーチ 1名追加)	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故 0件	【今後のスケジュール】 ・ビーチにおける遊泳者等の事故防止及び安全確保に努める。	【R3成果目標設定の考え方】 ・過去の実績を勘案して設定した。	
2	① 自動車航送コスト負担軽減事業	H28 ~ R3	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図るため、渡嘉敷港~那覇泊港間の車輛航送利用者に対し運賃を半額補助する。	年間自動車航送台数 自動車(二輪車を含め) 730台	・沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 離島における生活環境のハンディが解消されることにより、本村への定住促進に繋げる。	【R3成果目標設定の考え方】 住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡嘉敷村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
バ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業	H25 ~ R3	渡嘉敷村営定期船の欠航、または時刻に変更あった場合にヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する	年間補助回数 110回	渡嘉敷村営定期船の欠航時等に代替手段となるヘリコプターの運賃補助を行うことで、利便性が確保されていると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する	【今後のスケジュール】 本事業の継続により離島における村内航路欠航時の移動手段を確保することで利便性を確保する。	【R3成果目標設定の考え方】 住民が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートを用いて検証する。
3			小学校学習支援員配置事業	H24 ~ R3	<p>村立小学校に学習支援員を配置し、児童の学力に応じた個々の学習指導を行う。</p> <p><R3取組> 配置人数 村立小学校2校に各2名、計4名</p>	<p>渡嘉敷小学校へ支援員を2名派遣</p> <p>阿波連小学校へ支援員を2名派遣</p>	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+3.1ポイント以上	【今後のスケジュール】 児童の学力向上及び離島の教育環境の改善を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 R1年度の沖縄県学力到達度調査において、県の平均正答率と村の平均正答率を比べ、その差をR3年度成果目標に設定。
			児童・生徒派遣支援事業	H25 ~ R3	<p>村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会県大会や全国大会等に参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。</p> <p><補助概要> 対象経費:交通費、宿泊費等 自己負担:一律2千円/回</p>	島外の人との競争や交流の機会を確保することで児童生徒に広い視野を持たせる。	児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 離島の教育的ハンディの克服及び教育意欲の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 保護者へアンケートを取り、児童生徒の視野が広がったと考える保護者80%以上を成果目標に設定。
3			家庭教育支援事業	H28 ~ R3	小学校5年生～中学3年生を対象にWebシステムを用いた授業による学習塾を実施する。	<p>オンライン学習塾の開校</p> <p>小学校5年(国語・算数)76授業 小学校6年(国語・算数)76授業 中学校1年(数学・英語)76授業 中学校2年(数学・英語)76授業 中学校3年(数学・英語・国語)148授業</p>	学習塾内で実施するテスト(全国規模)において、全国と本村の平均点の差を-14.1以内とする。	【今後のスケジュール】 オンライン塾の実施継続を行い、児童生徒の学力向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 オンライン学習塾を継続し、全国平均との差を縮小する。
4	①		渡嘉敷村低炭素な村づくり推進事業	R2 ~ R3	低炭素社会への転換の推進と、地球温暖化対策へ寄与するなどの環境に配慮した村づくりの推進を図るため、村内に設置されている水銀灯や蛍光灯のLED化事業を実施する。	村内の防犯灯、街灯(水銀灯、蛍光灯)のLED化。新たな箇所への景観に配慮したLEDの設置や撤去等の工事を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・村内防犯灯街灯のLED化工事 ・撤去する防犯灯の決定 ・地球温暖化防止対策の寄与の観点からCO2排出削減に繋げていく。 ・省電力量「7.9%」比較 年間CO2排出量「4.3%」比較 	【今後のスケジュール】 環境負荷の少ないLED化への切替えによる低炭素社会への転換と環境と景観に配慮した村づくりの推進に繋げていく。	【R3成果目標設定の考え方】 村内既存の防犯灯、街灯のLED化を行う。LED化に切替えることによる二酸化炭素排出量の削減に繋げていき、低炭素社会の実現に繋げていく。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			座間味村海域安全隊事業	H24 ~ R3	村内指定の3ビーチにおいて、観光客の増加する4月中旬から11月中旬の期間、海洋事故防止及び安全確保並びに自然環境の保全活動を図るためライフセーバー員等を配置する。	ライフセーバー員等の配置 ・古座間味ビーチ 2名(3名) ・阿真ビーチ 2名 ・北浜ビーチ 2名 (7月、8月 古座間味ビーチ 1名追加) ・11月 各ビーチ1名配置	ライフセーバー配置期間中の死亡事故:0件	【今後のスケジュール】 ライフセーバー人材の確保と水難救助講習会による人材育成に努め、より安全な海水浴場づくりに注力する。	【R3成果目標の考え方】 水難事故そのものを0にするのは極めて困難なため、引き続き村指定の3ビーチにライフセーバーを配置し水難死亡事故0件を目指す。
1			座間味村がんばる観光支援事業	H24 ~ R3	観光客誘致を図るため、各イベント実行委員会へ補助金の交付するとともに、県外での観光PR活動を行う。	各種イベント実行委員会への補助金交付。県内外PRイベントの実施。	入域観光客数112,000人	【今後のスケジュール】 一層の入域増につなげるよう、イベント内容を改善しながら、実施してゆく。	【R3成果目標の考え方】 観光客数が国立公園指定当時ほどの増加率で推移しないが、数のみならずリピーターづくりに努める。
1			座間味村観光受入拠点事業	H24 ~ R3	観光客の利便性確保及び観光誘客を図るため、座間味村観光協会が実施する観光誘客活動及び観光案内業務等の取り組みに対して補助を行う。	・観光案内所年中無休(台風時等閉鎖) ・村内外観光客誘客活動年5回 ・観光事業者スキルアップ講座 新規メニュー開発 4回 心肺蘇生講習会 2回	・観光客の利便性が図られたか(80%以上)を含め、観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・観光客へのおもてなしに活用できると感じたか(80%以上)を含め、講習会に参加した観光事業者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続してアンケートを実施し、効果を測定することにより、観光客の満足度向上を図る。	【R3成果目標の考え方】 大多数の事業所から評価が得られたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。村内事業所の意見を聞くことで、観光協会職員の意識向上、スキルアップを図る。
1			座間味村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	H29 ~ R3	平和学習を目的とした修学旅行の誘致を図るため、村内に点在する戦跡や記念碑等の周辺環境整備を行う。	案内看板・説明看板設置及び進入路・周辺整備工事の発注及び施工管理委託発注	戦跡等の周辺環境整備の完了	【今後のスケジュール】 平和未来プロジェクトと連動し、平和学習等に活用する。 【R4成果目標】 修学旅行学校数 10校 座間味村の沖縄戦に関する歴史への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業の成果について検証する。	【R4成果目標の考え方】 修学旅行誘致の見込みが減少傾向にあるため、観光協会との協議を踏まえて目標を設定している。 大多数の児童生徒が平和学習を通じて戦争への理解を深めることが出来たと考えられる数値として「80%以上」と設定。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			座間味村ウェルカム・パーク整備事業	R1 ～ R3	座間味港背後地において、環境省による博物展示施設の整備にあわせ、観光客や村民が憩い、交流できる場を創出するため、交流施設「ウェルカム・パーク」を整備する。	ウェルカム・パークの整備工事の実施	ウェルカム・パークの整備工事の完了	【今後のスケジュール】 令和3年度公園を整備し、公園利用者に対しアンケート調査を実施する。「憩い、交流の場として活用出来たか(80%)」を目標とする。 【R4成果目標】 憩い、交流の場として活用出来たか(80%)を含め公園利用者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【R4成果目標の設定の考え方】 公園整備工事完了を目標としR4年度にアンケート調査を実施する。数値については、概ね肯定的であると考えられている数値として、80%以上と設定。
1			座間味村観光イベント施設整備事業	R1～R3	歴史文化・健康づくり拠点施設に隣接して、主に観光客を対象としたイベントを実施するための野外ステージを整備する。	ステージ屋根設置及び歩道整備の実施	ステージ屋根設置、歩道整備の完了	【今後のスケジュール】 R2～3 野外ステージの設置工事 R4 供用開始 【R4成果目標】 ・イベントへの参加者数(観光客) 5,040人	【R4成果目標の設定の考え方】 過去3年間の各イベント動員数実績に基づく成果目標の設定。
1			阿嘉地区観光道路整備事業	H26 ～ R3	観光客の多様なニーズに対応するため、地域特性を活用した魅力ある山林観光道路を整備する。	阿嘉地区観光道路の整備実施 整備延長L=350m	阿嘉地区観光道路の整備完了 整備延長L=350m	【R4成果目標】 阿嘉島観光客の10%以上が本道路を利用することを目標とし、アンケートにより把握する。 【整備スケジュール】 H26年度実施設計 H27～H30 用地交渉 R1～R2ケラマトカゲモドキ生息確認により道路整備修正 R3道路整備完了	【R4成果目標の考え方】 現在、阿嘉島を訪れる観光客のほぼすべてが海を目的として来島しており、新たな観光資源として本道路をアピールしR4年度は10%を目標とする。
2			座間味村島ちび解消移動手段安定化対策事業	H24 ～ R3	定期船欠航時等の沖縄本島への移動手段を確保し、離島の不利性解消を図るため、那覇～座間味村間のヘリコプターチャーター便利用に係る運賃負担に補助を行う。	村営船舶航路欠航時におけるヘリコプターチャーター費用の支援実施。	利用者アンケートを実施し「利便性が確保された」との回答80%以上を目標とする。	【今後のスケジュール】 利用者アンケート内容も参考に運航会社に機材の追加導入や予約時の利便性向上を求めていく。	【R3成果目標の設定の考え方】 大多数の利用者の満足が確保されたと考えられる数値として「80%以上」と設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

座間味村		計画 期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業 番号	事業名		R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		座間味村自動車航送運賃低減化事業	H25 ～ R3	村民が沖縄本島へ移動しやすい環境を構築することで離島における定住環境の改善を図るため、座間味村～那覇港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。	車両航送運賃の低減化支援	利用者へアンケートを行い、フェリーの自動車輸送費補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 定住促進のため、経済的な負担を軽減し、住みよい環境づくりにつなげることで、定住を促す。 本事業について住民がどの程度継続を希望しているかも含めて、アンケート分析を行う。

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		R3成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
1		環境美化促進事業	H24 ～ R3	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。	・美化・緑化活動の実施 観光地：5箇所 アクセス道路：13路線	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R2～R3: ・美化・緑化活動の実施 観光地：5箇所 アクセス道路：13路線	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1		ハブ対策事業	R2 ～ R3	ハブ捕獲・駆除を行うことにより、地域住民や観光客の安心安全が確保され、観光振興と安全な生活条件の整備を図る。	・作業員の配置(2人) ・捕獲器の設置(130台)	・ハブ咬傷被害：0件	【今後のスケジュール】 個体数の減と咬傷被害ゼロのため捕獲事業を継続して実施し、観光客地域住民の安全安心を確保する。	【R3成果目標の考え方】 令和2年度からハブ対策事業を開始し、車両購入、捕獲器130基を購入し設置した。令和2年4月から12月現在まで16匹のハブが捕獲された。(うち捕獲器で確保したハブ7匹)。引き続きハブ駆除を積極的にいき、離島である本村の特色的な自然環境、歴史、文化などの資源を活用した着地型観光を促進するためにも、個体数の減と咬傷被害ゼロを目指す。	
1		照喜名原地区整備事業	H27 ～ R3	キャンプ場に必要の備品を購入し、観光客の利便性の確保を図るため整備する。	バーベキューコンロ備品、テント備品、清掃用備品、清掃用車両等を購入する。	年間利用者：900人	【今後のスケジュール】 キャンプ場としての整備を拡張し、観光誘客のためのツアーやイベント等を実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2		学力向上支援事業	H27 ～ R3	島内の児童生徒の学習環境の充実及び児童生徒の学力向上を図るため、村内に村営塾を設置する。	5月から翌年3月まで月80コマの村営塾の実施	・沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校：2ポイント以上 中学校：3ポイント以上	【今後のスケジュール】 県学力到達度調査で県平均以上を上回る状況を継続する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2		児童・生徒派遣事業	H27 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される大会等及びその指導者等に対し、運賃等の補助を行う。	・児童・生徒の島外の大会及び教育活動への参加への参加の支援	・対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 児童生徒の派遣を今後も継続し村外での教育活動を通じ、交流活動を続けていく。児童生徒の生きる力を育む。	【R3成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		粟国村小学校3・4年生副読本制作事業	R3	<p>児童一人ひとりが粟国村の産業・文化等に興味を持ち、副読本の活用により地域社会を学べる環境づくりを確保するため、小学校3・4年生用副読本「わたしたちの粟国村(仮称)」を制作する。</p> <p>副読本の制作 作成予定数:200部</p> <p>配布予定 令和4年度</p>	<p>副読本の制作 作成予定数:200部</p> <p>配布予定 令和4年度</p>	<p>[R4年度成果目標] 保護者へのアンケートにて「粟国村の歴史・文化等への理解が深まった。」の回答が80%以上</p>	<p>[R4成果目標設定の考え方] 大多数の保護者が児童生徒の粟国村の歴史・文化に理解が深まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>	
3		粟国村交通移動手段安定化対策事業	H27 ~ R3	<p>島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、航空路線の運航日以外にチャーターヘリコプターを利用した場合の運賃を一部支援する。</p> <p>航空路線の運航日以外に島民及び来島者のチャーターヘリ利用料金支援</p>	<p>・ヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該事業のあり方を検証する。</p>	<p>[今後のスケジュール] 週7日の定期航空路が再開するまで事業を継続する。</p>	<p>[R3成果目標設定の考え方] 大多数の利用者が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>	
3		粟国村自動車航走運賃低減化事業	R2 ~ R3	<p>粟国 那覇間の車両航走利用者に対して往復運賃の半額補助を行う。</p> <p>自動車航走運賃を低減するための支援実施</p>	<p>運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。</p>	<p>[今後のスケジュール] 定住促進のために、経済的・精神的負担を軽減し、住みよい環境を整備することで、村の総合計画にて目標としている人口増加に努める。</p>	<p>[R3成果目標設定の考え方] 利用者の大多数が移動しやすい環境が構築されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>	
3		子育て支援事業	R2 ~ R3	<p>子育て世代を含む、島外への人口流出により、人口減少率が全国的にみてもかなり高い水準にある現状を踏まえ、子育て世代が安心安全に利用できる児童公園の遊園整備を行う。</p> <p>新設公園1箇所 既存公園遊具更新1箇所</p>	<p>新設公園1箇所 既存公園遊具更新1箇所の整備工事の完了</p>	<p>[R4成果目標] 子育て支援の充実的な整備が行われたか(80%以上)を含め、保育園・幼稚園・小学生の保護者等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。</p> <p>[今後のスケジュール] R3 整備工事 R4 供用開始</p>	<p>[R4成果目標設定の考え方] 対象者のうち、大多数が子育て支援の充実的な整備が行われたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

粟国村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	粟国村慰霊碑周辺環境整備事業	R2 ~ R3	高齢者が訪問しやすい場所へ地上戦で犠牲になった島民の慰霊碑を移設し、併せて平和学習の場として、地域住民が集えるよう東屋や駐車場、展示パネルを整備する。	粟国村慰霊碑周辺環境整備工事	粟国村慰霊碑周辺環境整備工事の完了	<p>【R4年度成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校生徒へのアンケートにて「効果的な平和学習の促進が実施可能な環境整備がなされた」の回答が80%以上 慰霊祭出席者へのアンケートにて「世代間のコミュニケーションの活性化が実施可能な環境整備がなされた」の回答が80%以上 <p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> R3 整備工事 R4 供用開始 	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <p>対象者のうち、大多数が子効果的な平和学習の促進および世代間のコミュニケーションの活性化が実施可能な環境整備が行われたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>	
3	粟国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業	R3	粟国村へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。	交流人口を対象とした航空運賃割引の実施	粟国村への観光入域者数：2,900人以上	<p>【今後のスケジュール】</p> <p>第四次粟国村総合計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。</p>	<p>【R3成果目標の考え方】</p> <p>第四次粟国村総合計画に基づき、設定した。</p>	
4	集出荷場施設整備事業	R3	集出荷場の「もちきび」選別機械を強化し、安定的な出荷を可能とし、農業振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 「もちきび」選別機械の撤去、新しい機械の導入。 「もちきび」の集出荷場に従事する新しい担い手確保：1名 	<ul style="list-style-type: none"> 「もちきび」選別機械の撤去、新しい機械の導入。 「もちきび」の集出荷場に従事する新しい担い手確保：1名 	<p>【R4年度成果目標】</p> <p>一年の従事時間</p> <p>目標値：現在の2名体制から1名体制になるので、既存機械従事時間は2名×7.5時間×83日(令和4年5月～8月中の平日日数)=1,245時間。</p> <p>目標値は1名×7.5時間×83日=622.5時間とし、従事時間50%減を目標値とする。</p> <p>【今後のスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> R3 機械導入・担い手1名確保 R4 供用開始 	<p>【R4成果目標設定の考え方】</p> <p>効果的な担い手不足が改善された値として、人員の削減が成されたと考えられる値として設定した。</p> <p>目標値の設定については、「もちきび」生産量によって稼働日数が異なる場合があるが、令和4年度の平日日数を従事時間とした。</p>	

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

渡名喜村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			環境保全・美化推進事業	H24 ～ R3	集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。	<p>【集落外】 緑化及び美化活動:17箇所程度 外来植物駆除:10箇所程度 在来植物保全育成 1箇所程度 合計28箇所程度</p> <p>【集落内】 集落内美化:88箇所程度</p>	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 これまで同様事業を実施し、渡名喜らしい観光地づくりをめざし、観光客や地域の方々の安心・快適に過ごせるよう事業を継続していく。</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
2			離島苦解消移動手段安定化対策事業	H25 ～ R3	島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリー欠航時に代替手段となるヘリタシーを利用した場合の運賃を一部支援する。	観光客及び島民に対するフライト実施の支援回数50回	フェリー欠航時に代替手段となるヘリタシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 年間フライト数(見込み) R3年度:50回</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が事業の目的である利便性が確保されていると感じたか考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。</p>
4			渡名喜村多目的拠点施設整備事業	H26 ～ R3	本村の貴重な文化財を住民や観光客へ紹介し、島の文化の振興に寄与するため、その発信源となる村多目的拠点施設内歴史民俗資料館に展示品についてレイアウト等の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・展示制作工事(2工区) ・工事施工監理業務委託 ・ガイダンスシステム業務委託 ・収蔵品管理業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示制作工事(2工区)の完了 ・工事施工監理業務の完了 ・ガイダンスシステム業務の完了 ・収蔵品管理業務の完了 	<p>【R4成果目標】 供用開始後1年目 年間利用者数 1,100人</p> <p>【今後のスケジュール】 (歴史民俗資料館機能強化) R3: 展示制作工事(2工区)、展示制作工事監理業務委託、展示ガイダンス作成業務委託、収蔵品管理業務委託 R4: 供用開始</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 過去の観光客数などから、80%の方が当該施設を訪れると予測し、利用者数を設定した。</p>
5			渡名喜村防災行政無線デジタル化整備事業	R3	既存のアナログ防災行政無線を新方式のデジタル方式へ更新し、村民や観光客等に向けた災害情報及び避難情報等の防災情報伝達体制を強化する。	親局設備機器設置1台 屋外拡声子局設置5局	防災行政無線機器のデジタル化整備完了	<p>【R4成果目標】 村民や観光客が参加する避難訓練を実施(1回以上/年)し、参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか(80%以上)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R3: 整備工事 R4: 供用開始</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 大多数の参加者が安全・確実に避難行動をとることができたと考えられる値として設定した。 また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。</p>

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	健康診査専門スタッフ派遣渡航費用支援事業	H24 ～ R3	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。又、検診等に使用する胸部レントゲンを2年に1度、南大東村診療所より保守管理料の1/2を使用料として折半する。	1. 胸部レントゲン使用料の折半。 2. 検査技師等スタッフ来島渡航費の支援。	集団検診受診率35.8%以上。	【今後のスケジュール】 引き続きR2年度以降も過去の集団健診受診率を上回るようにし、最低限過去の受診率の平均を下回らないように努める。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の集団検診受診率の実績を勘案して設定した。	
1	専門病院受診渡航費助成事業	H25 ～ R3	村内の医療機関では対応できない専門的な治療等を継続して受けられるようにするため、沖縄本島での治療、検査等にかかる渡航費を支援する。	専門病院受診等渡航費助成の実施。	渡航費支援が必要な人への支援率100%。	【今後のスケジュール】 引き続き渡航費支援が必要な人への支援を行い、継続した医療受診につなげる。	【R3成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受けなければならない人に対して、全員が中断することなく受診できる環境の提供を目標として設定した。	
1	離島食品・日用品輸送費等支援実証事業	H28 ～ R3	離島における割高な生活コストの低減を図るため、沖縄本島から南大東島へ輸送される食品(米・パン・冷凍食品・酒類以外の飲料品)紙製品の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。	食品(米・パン・冷凍食品・酒類以外の飲料品)紙製品の輸送経費及び作業経費の支援。	生活必需品等の価格について、沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前と比較した縮小幅25.9ポイント以上。	【今後のスケジュール】 今後も沖縄本島から南大東島へ輸送される食品(米・パン・冷凍食品・酒類以外の飲料品)紙製品の輸送経費及び作業経費の支援により、生活コストの低減を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	花いっぱいクリーン環境整備事業	H25 ～ R3	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 10箇所、アクセス道路 2箇所)	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃や植栽を行い観光地としての魅力向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	観光案内看板整備事業	R3	観光案内の看板が未整備で、観光地への誘導が不十分であることから、各所に案内看板を設置し観光客の受入環境を整備する。	各所への案内看板の設置(島内10カ所、星野洞内12カ所)。	観光案内板の設置完了:22基	【R4成果目標】 事業完了後に観光客へのアンケートを実施し満足度(80%以上)の確認と、不満の解消を図りながら更なる改善と観光支援策を講じていく。	【R4成果目標設定の考え方】 観光案内看板を設置することにより、島内の観光地等へスムーズに誘導が図れる事を想定して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

南大東村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	人材育成派遣事業	H25 ~ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やし、児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。	児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施。	派遣された児童生徒が広い視野を持たか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証する	【今後のスケジュール】 引き続き各種大会派遣に対する支援を実施し、島外での交流等により広い視野を持たせ人材育成につなげる。	【R3成果目標設定の考え方】 引き続き対象者のうち大多数が広い視野を持たせたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	南大東村安らぎ空間複合施設整備事業	H30 ~ R3	本村には葬祭場がないため各自宅で葬儀を行っているが、準備等は地域の住民の協力で行われており、遺族や関係者に負担がかかっている。そのため、葬祭場等の複合施設を整備し、葬儀に係る住民の負担軽減を図る。	建築工事及、設備工事、備品購入の完了。	建築直接工事、電気設備直接工事、機械設備直接工事、備品購入完了。	【R4成果目標】 複合施設の火葬場利用件数に対する葬祭場利用件数の割合80%以上。 【今後のスケジュール】 令和元年度 建築工事 令和2年度 建築工事完了 令和3年度 建築工事、設備工事、備品購入の完了 令和4年度 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 大多数が葬儀に係る負担が軽減されたと考えられる数値として80%以上とした。	
5	循環型農業推進事業	R3	高コストや病虫害侵入の懸念から堆肥の積極的活用が行われていないため、倒木や除去した水草を活用した土壌改良材の自製を図る。	水草除去装置(浮き丸)1機及び、木材破砕機一式を整備	水草除去装置(浮き丸)1機及び木材破砕機一式購入	【R6成果目標】 サトウキビ生産量5%増	【R6成果目標設定の考え方】 本村のさとうキビ増産プロジェクト取組計画において、5%程度の生産増を目標としている。	
6	大池周辺自然観察施設整備事業	R3	天然記念物である「大池のオヒルギ群落」等の野生動植物が生息する、特有の自然環境を活用するため、自然観察施設を整備する。	設計業務及び監理業務、建築工事の実施。	設計業務及び監理業務、建築工事の完了。	【R4年度以降成果目標】 自然観察施設整備完了後、環境保全を図ると共に、島内観光客数の増を5%以上とする。	【R4成果目標設定の考え方】 過去5年間の観光客数の平均(3,497人)に概算の見込みで5%(175名)以上と設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光アクセス道路美化緑化推進事業	H24 ～ R3	観光地周辺・重要アクセス道路の 修景及び美化を実施し、魅力的な 観光地としての景観形成を図る。	・アクセス道路及び周回道路の美化実 施:2,500m(10箇所) ・作業員配置4名	・魅力的な景観形成が図られたか(80% 以上)を含め、観光客等を対象としたア ンケートにより、本事業のあり方につ いて検証する。	【今後のスケジュール】 ・修景及び美化の実施を継続する。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形 成が図られたと考えられる数値として設 定した。また、本事業のあり方につ いて、アンケートにより検証する。	
2	オンライン双方向授業 支援モデル事業	H25 ～ R3	村営塾を開講し、児童生徒の 個々の学力に応じた学習支援員に よる指導、及びICTを活用した現役 東大生によるオンライン双方向授 業を実施することにより、児童生徒 の学力向上を図る。	・学習支援員(塾講師)配置:1名 ・東大生によるオンライン双方向授 業数66授業/年、講師10名	・令和2年度沖縄県学力到達度調査に おける県と北大東村との平均正答率の 差 小学校 県平均以上 ・3年生から6年生の実施 中学校 県平均以上 ・1年生、2年生の実施	【今後のスケジュール】 ・今後も支援員配置及びオンライン双方 授業等を実施し児童生徒の学力向上を 図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	離島の定住促進に向け た子育て基盤構築事業	H24 ～ R3	保護者の育児への負担感を軽減 するため、小学校就学前の子供に 対する保育及び教育を行うものの 支援員を配置し、認定こども園を実 施する。	・認定こども園支援員配置:6名	・対象となる幼児の保護者へのアン ケートで、安心・安全に子供を預けるこ とができ、育児の負担感が軽減され たと感じた割合(80%以上)を含め事業の あり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ・認定こども園の運営する。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が育児の 負担感が軽減されたと考えられる数値 として設定した。また、本事業のあり方 について、アンケートにより検証する。	
3	離島の児童生徒の交流 促進事業	H24 ～ R3	児童生徒の島外・県外へのス ポーツや交流学習における派遣渡 航費の補助を行い、児童生徒に広 い視野を持たせる。	・渡航助成の実施	・派遣された児童生徒が広い視野を持 てたか(80%以上)を含め、保護者に対 するアンケートにより本事業を検証す る。	【今後のスケジュール】 ・スポーツや交流学習派遣を継続する。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持 てたと考えられる数値として設定した。ま た、本事業のあり方について、アンケ ートにより検証する。	
3	離島特別医療質確保推 進事業	H24 ～ R3	島内で対応できない専門医療を 受ける際の渡航費の一部助成を行 うとともに、専門医療従事者を招聘 して相談や検診を行うことにより村 民の心身の健康に関する不安を解 消する。	・特定重病患者等の検診助成の実施 ・専門医療従事者の招聘	・渡航費支援が必要な人への支援率: 100% ・心身の健康に関する不安が解消され たか(80%以上)を含め、受診者へのア ンケートにより本事業のあり方を検証す る。	【今後のスケジュール】 ・特定重病患者等の検診の際の渡航 費・滞在費助成を継続する。 ・専門医療従事者招聘のための渡航 費・滞在費助成を継続する。	【R3成果目標設定の考え方】 島では対応できない専門治療等を受け なければならない全員が中断すること なく受診できる環境を提供することを 目標として設定した。	
4	北大東村景観形成事業	H26 ～ R3	北大東村特有の地域性にあった 景観づくりに向けて、海岸道路沿 いの周辺環境に配慮した景観整備 を行い、魅力的な観光地としての景 観形成を図る。	・村一周海岸道路の植樹環境整備 工事の実施:350m ・過年度実施個所の給水	・魅力的な景観形成が図られたか(80% 以上)を含め、観光客等を対象としたア ンケートにより、本事業のあり方につ いて検証する。	【今後のスケジュール】 ・村特有の岩礁や風景を活かした景観 形成を行う事で、観光客の誘致、観光 産業の振興に繋げる。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形 成が図られたと考えられる数値として設 定した。また、本事業のあり方につ いて、アンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	北大東島歴史的情報発信環境整備事業	R3	国内でも稀な歴史や文化の情報発信環境の整備することで、来訪者の島の認知度を向上させる。	・歴史的情報発信環境整備	・歴史的情報発信環境整備	[R4成果目標] ・来訪者が島の歴史文化や生業を知ることが出来たか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 ・民俗資料館来訪者数 1,000人以上 [今後のスケジュール] ・R3:環境整備 ・R4:供用開始	[R4成果目標設定の考え方] ・対象者のうち大多数が島に対する認識が向上したと考える数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 ・過去5年の平均来訪者が500人なので倍の1,000人の来訪者を目標とする。	
6	子育て環境整備事業	R3	子育て世代を含む人口流出が大きな課題となっており、子ども達が安全に遊べる遊具を整備することで、子育て世代の満足度を向上させる。	・公園遊具の撤去及び整備	・公園遊具の撤去及び整備	[R4成果目標] ・子どもが安全に遊べる環境が図られているか(80%以上)、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 [今後のスケジュール] ・R3:公園遊具の撤去及び整備 ・R4:供用開始	[R4成果目標設定の考え方] 保護者のうち大多数が子育て世代の環境整備がされていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
7	土づくり推進事業	R3	大東島の土壌は、特殊な土壌であり作物栽培を行う上での悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを促進し、農産物生産量を増加させる。	・土壌カルテ作成(120圃場)	・土壌カルテ作成(120圃場)	[R6成果目標] ・農産物生産量 26,809t以上 [今後のスケジュール] ・R3:土壌カルテ作成 ・R4:土壌改善 ・R5:改善土壌への作付 ・R5-6:改善土壌での収穫 ・R7:R5-6の生産量確定値	[R6成果目標の考え方] 直近7年中最大及び最小を除いた5年の農産物生産量の年間平均値に、過去の平均的な増減率を乗じた値以上を目標として設定した。	
8	緊急車両(消防車)導入事業	R3	緊急車両(消防車)を導入し、災害時の被害抑制等、防災体制の向上を図る。	・緊急車両(消防車)の導入	・緊急車両(消防車)の導入	[R4成果目標] ・消防訓練の実施 6回 [今後のスケジュール] ・R3:緊急車両(消防車)の導入 ・R4:供用開始	[R4成果目標の考え方] 消防団による災害対応訓練や防災避難訓練等での活用を通じ防災体制の向上を図るために設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

北大東村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
9		北大東村観光基本計画策定事業	R3	北大東島周辺の漁場や特異な文化・趣きのある観光メニューの開発を行い、観光振興を図る。	・観光需要調査及び実施計画等を含めた観光基本計画の策定	・観光需要調査及び実施計画等を含めた観光基本計画の策定	[R6成果目標] ・観光メニューの開発 3件 [今後のスケジュール] ・R3:観光基本計画の策定 ・R4～R8:実施	[R6成果目標の考え方] 北大東島の観光に対する需要調査を行い、調査結果を反映した北大東島特有な文化や趣きのあるメニューの開発を行うために設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	商工観光産業支援事業	H24 ～ R3	民泊利用者の増加を図るため、伊平屋島観光協会の活動を支援する。	・1団体約250名規模の大型の修学旅行を誘致すべく、参画民家50軒を維持できるよう地域(各戸別訪問)を継続的に実施 ・年間受入観光客数 延べ4,000人以上の受入を目指し他県でのPR活動を実施	民泊利用者数 4,987人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に伊平屋島観光協会の活動を支援し、民泊利用者の増加を図る。	【R3年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	観光地等イメージアップ推進事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光地や観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光ルート等の雑草の除去および清掃作業を実施する。 ・観光地 : 15カ所 ・アクセス道路 : 10路線	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に美化清掃作業を実施し、観光地としての魅力向上を図る。	【R3年度成果目標の考え方】 対象者のうち大多数が魅力向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	誘客イベント推進事業	H24 ～ R3	観光誘客を図るため、イベントの開催及び開催支援等を行う。	・委託事業6件 ・補助事業1件	村内入域観光客数 13,315人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントの開催及び開催支援を行い観光誘客を図る。	【R3年度成果目標の考え方】 当初の成果目標を入域観光客数17,943人以上としていたが、緊急事態宣言の発令により、渡航自粛要請の影響や、フェリーの減便、開催イベントの中止が相次いだことから、前年度並みの13,315人以上に修正する。	
1	公園修景等整備事業	H28 ～ R3	国指定を受けた念頭平松を中心とした、景観に配慮した、休憩施設の多目的広場等の整備を行い、快適性、利便性の向上とともに観光地としてのイメージアップ、伊平屋らしい原風景の創出を図る。	広場工事 発注 東屋撤去 発注 駐車場・園路工事 発注 修景植栽工事 発注 園路仕上工事 発注 防風緑陰植栽工事 発注	広場工事 完了 東屋撤去 完了 駐車場・園路工事 完了 修景植栽工事 完了 園路仕上工事 完了 防風緑陰植栽工事 完了	【今後のスケジュール】 令和3年度も引き続き残工事の実施を行う。公園整備(R3年:・園路下地工事、修景植栽工事、園路仕上工事、東屋撤去工事、防風緑陰植栽工事) 令和4年度4月から供用開始、令和4年度の成果目標を利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が確保されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	伊平屋村「琉球の兆し」普及啓発事業	H30 ～ R3	文化資源及び観光資源としての価値を高めるために村文化財の保存継承を図り、観光客の利便性の向上に取り組む。	・展示ケースの製作 ・本村民俗資料館での特別展示 ・賀陽城跡案内板制作	・展示ケースの完成 ・特別展示会の実施 ・賀陽城跡案内板設置	【今後のスケジュール】 螺鈿靴修復以降も継続的に文化財の価値向上、案内サイン版設置等により利便性向上を図り、観光客数の増加を目指す。 R4年度の成果目標を歴史民俗資料館の入館者数1,326人以上とする。	【R4成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	ポートターミナル機能強化事業	R2 ~ R3	島の玄関口である前泊港ポートターミナルの機能強化を行い、観光地にふさわしい景観および施設の利便性向上を図る。	・電源供給設備新設工事の実施 ・仮設建設設計業務委託の実施	・電源供給設備新設工事の完了 ・設計業務の完了	【今後のスケジュール】 令和3年度から4年度にかけ工事を実施する。 令和5年度4月から供用開始、令和5年度の成果目標を利便性が向上されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。	【R5成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性が向上されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	病害虫防除事業	H24 ~ R3	さとうきびの生産量低下の原因となっている病害虫の防除を図るため、ほ場に薬剤を設置する。	薬剤(性フェロモンチューブ)設置:160ha	・さとうきびの生産量 5,277トン ・病害虫の発生件数の抑制 平均 6.00匹/日以内	【今後のスケジュール】 生産量の安定確保に努めるべく、適宜JAと調査・指導を行う	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
2	伊平屋村優良繁殖牛導入事業	H26 ~ R3	本村の畜産業の振興を図るため、畜産農家の優良繁殖牛導入に係る経費の一部を支援し、経営の安定化を図ると共に計画的な優良繁殖牛の導入を行う。	優良母牛導入の支援 14頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合102%以上	【今後のスケジュール】 今後も畜産振興を図るため、農家に導入支援を行う。	【R3年度成果目標の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	伝統文化継承支援事業	H24 ~ R3	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、地域人材バンク登録者との連携による課外講座を月1回伝統文化学習の日を定め実施する。又、失われつつある本村特有の伝統芸能を継承していくため、保存会及び各集落の活動に対して支援を行う。	・伝統文化学習の日の開催(毎月第3水曜日) ・各支部・団体への支援(6団体) ・島外芸能公演の開催出演	伝統文化教室への参加率 100% 伝統芸能演舞者数 80名 来場者数 300名	【今後のスケジュール】 児童・生徒の要望等も鑑み多様な学びの機会を提供する。長期的な展望をもち、継続して後継者を育成する。 今後も、芸能保存活動並びに独演会等の企画運営を支援していく。	【R3年度目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	特別支援教育支援員配置事業	H25 ~ R3	特別支援を要する児童生徒に対応し特別支援員を配置するとともに、小・中学校での習熟度に遅れのある通級児童生徒を対象とした学習支援員の配置、また家庭学習支援として中学1年から3年生までを対象とした村営塾を開講し、個々にあったきめ細かい学習支援を図る。	・特別支援を必要とする児童へ支援員の配置 1名 ・学習支援員の配置 3名	対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか(80%以上)を含め、当事業のあり方を検証する。 沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科) - 5ポイント以上 中学校(国語・数学・理科・社会・英語) - 4.3ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に応じた支援指導を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善、学力及び学習意欲向上を図る。	【R3年度目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	英語学習支援事業	H25 ~ R3	グローバルな時代に適應できる国際性豊かな人材を育成するため、小中学生を対象としたイングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化体験する機会を与え、将来の本村及び地域社会へ貢献できる人材の育成を図る。	・海外短期留学(アメリカ)派遣 3名 ・イングリッシュキャンプ開催 30名	保護者へのアンケートで、海外での生活・体験や外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に海外での生活体験や外国人講師との交流を通して、国際的な視野を持つ人材育成を図る。	【R3年度目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
3	伊平屋島児童・生徒島外派遣等支援事業	H26 ~ R3	村外で実施されるスポーツ大会及び交流や文化交流等各種教育活動の派遣にかかる負担を支援し、他地域校の児童生徒等との交流や各種スポーツ大会の参加による児童生徒の意識の向上やスポーツの技術向上等様々な面で離島の抱える教育的なハンディを克服する。	・島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(小学生9回・135名) ・島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(中学生6回・324名)	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に島外で実施される各種大会への参加を支援し、児童生徒に広い視野を持たせる。	【R3年度目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
3	伊平屋島起業家人材育成事業	H26 ~ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、キャリア教育を実施する。	・商品開発を通した生徒への研修 ・パッケージデザイン決定 ・本島への職場体験(商品の販売)及びマナー講座 ・商品開発、職場体験を通した発表会	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(85%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的にキャリア教育を実施し、児童生徒の就業意識向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が働くことへの興味・関心が湧いたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	学校給食機能強化事業	R3	安心・安全で安定的な学校給食の提供と、施設従事者の就労環境の改善を図るため、調理施設のドライ運用化と衛生管理の機能強化を行う。	実施設計業務 1件 給食配送車 一台	実施設計業務の完了 給食配送車の納車	【R5成果目標】 微生物検査における衛生管理点数90点以上 就労者へのアンケート調査で就労環境が改善されたか(100%) 【今後のスケジュール】 R3: 実施設計・備品購入 R4: 建築工事・供用開始	【R5成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。現施設は、ウェット方式であり、調理時の室温が40℃以上、湿度100%と過酷な環境であるため、すべての施設就労者が環境改善が図れたと回答することで、効果が図れる値として設定した。	
4	自動車航送コスト負担軽減事業	H24 ~ R3	島民に対しフェリー自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送運賃の低減 R1年度: 年間6,300台	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に自動車航送費の支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊平屋村		計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業名		R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	伊平屋村救急体制強化事業	R3	住民及び観光客等の安心安全を確保するため、消防団活動及び防災体制の機能強化を図る。	備品購入(消防車)に係る契約締結	緊急車両(消防車)1台の導入完了	<p>【R4成果目標】 消防団の訓練の実施(12回以上/年)により、緊急車両(消防車)の活用のあり方を検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 R3:実施設計・備品購入 R4年4月:供用開始</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 本来災害時の被害抑制等を設定すべきであるが、実際に災害が発生しないことには検証が困難なため、当該車両を活用した消防団の訓練の実施・検証を行うことで、防災体制の向上に繋がると考え、成果目標と設定した。</p>

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	観光地等クリーンアップ事業	H24～R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設等の美化緑化作業を実施する。	花木の植栽及び肥培管理:16カ所 緑化除草作業及び海浜清掃:16カ所	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検討する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光施設等の環境美化を実施し、魅力的な観光地としての景観形成を図る	【R3成果目標設定の考え方】 島内を訪れる観光客を対象に魅力的な観光地としてふさわしい景観形成が図られたと考えられる値として設定し、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	H24～R3	観光誘客を図るため、尚円王に関する旧蔵品などの修復・復元を行う。	旧蔵品の復元・整備を完了 評価委員会の実施	旧蔵品を活用した祭事来場者数:250人以上 アンケート調査:満足度80%以上	【今後のスケジュール】 計画的に旧蔵品等の整備・復元を行い、観光誘客を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 R1の実績を勘案し設定した。 修復後の旧蔵品を展示する、ふれあい民俗館来館者を対象にアンケート調査を実施し、満足度を把握する。	
1	沖縄らしい風景づくり推進事業	H24～R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体に支援する。	景観形成への支援 団体支援 5団体	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、観光地としての魅力向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数が観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	伊是名海岸環境整備事業	R3	地域資源を活かした心安らく魅力的な観光地を目指すため、伊是名海岸周辺整備を行う。	伊是名海岸環境整備基本計画の策定	伊是名海岸環境基本計画策定完了	【今後のスケジュール】 R3 基本計画の策定 R4 実施設計 R5 整備工事 R6 供用開始	【R6成果目標設定の考え方】 供用開始後1年目(令和6年度) 年間観光入客数 36,071人 上記の数値は過去の実績を勘案し設定した。	
2	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	H24～R3	島民に対し、フェリーの自動車航送費へ支援を行い、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	自動車航送往復運賃(伊是名 運天港)の負担軽減	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して自動車航送往復船運賃の負担軽減し、沖縄本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたかを含めアンケートにより本事業のあり方を検証するものとした。	
2	定住促進住宅整備事業	H30～R3	ターン・リターンによる移住者の定住促進を図るため。	建築工事(仲田区、内花区)の周辺外構整備を行う。	建築工事に係る周辺外構整備の完了	【R3成果目標】 仲田区:1人 【今後のスケジュール】 R3: 周辺外構整備工事(仲田区、内花区)	【R3成果目標設定の考え方】 建築後、供用開始から毎年度2世帯ずつ入居することで定住促進が図られていると判断し設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
2	子育て環境づくり整備事業	R3	子供から大人までを対象とした遊具及び健康器具を整備し、子育て親子同士や世代間の交流を促進させる。	・実施設計の実施 ・整備工事の実施	・実施設計完了 ・整備工事完了	【R4成果目標】 子育て環境の構築が図られたか(80%以上)を含めアンケート調査による当該事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 R3 実施設計業務完了 整備工事 R4 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 子育て環境の構築が図られたか(80%以上)を含めアンケート調査による当該事業のあり方を検証する。	
3	児童生徒島外諸教育活動支援事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせるため、島外で実施される各種教育活動への参加を支援する。	島外教育活動への派遣費の支援 活動団体数:7団体	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に支援し、人材育成を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が島内ではできない経験及び交流ができたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	幼稚園預かり保育支援事業	H24 ～ R3	預かり保育の実施により、保護者の育児における負担感の軽減を図る。	保育士の雇用:2人	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担軽減が図ることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に雇用し、保護者の負担軽減を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が負担軽減が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	学習支援事業	H24 ～ R3	学校への学習支援員の配置及び放課後教室・学習塾の開講を行い、学力の向上を図る。	週3日程度の学習塾を開講 学習支援員の確保:4人	令和2年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 ・小学校:-11.4ポイント以上 ・中学校:-1.1ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習塾を開講し、人材育成を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 R2年度の実績を踏まえて設定した。	
4	伊是名村土づくり支援事業	H24 ～ R3	安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上のため、沖縄本島からの堆肥購入費及び海上輸送費を支援する。	堆肥導入数量:2,000t	さとうきびの単収:5,500kg	【今後のスケジュール】 今後も継続的に堆肥を導入し、生産物の増量を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業	H25 ～ R3	畜産業の振興を図るため、肉用牛繁殖農家等に対し、導入費用の一部を支援する。	優良繁殖雌牛導入頭数:20頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:104%以上	【今後のスケジュール】 計画的に繁殖牛を導入し、畜産振興を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 R2年1月-11月の子牛販売実績平均価格より設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

伊是名村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
パ	細							
4		水産物加工施設機能強化事業	R3	もずくカゴ及びリサイクルプラ缶洗浄作業の効率化やもずく加工施設で製缶したもずくの出荷量の増加を図ること及び衛生管理に必要な洗浄機の整備を行う団体を支援する。	もずく運搬用カゴ及び製缶用リサイクルプラ缶の洗浄機械の導入。	もずく運搬用カゴ及び製缶用リサイクルプラ缶の洗浄機械購入及び設置の完了	【今後のスケジュール】 もずく生産の繁忙期は12月～5月となっており、もずくカゴ洗浄機を導入後は、繁忙期の真っ只中にあることから、すぐに利用し、利用状況の現状確認を行いながら引き続き、成果目標の達成につなげていく。また、平均の洗浄カゴ数と製缶量が増加しているのかの確認も同時に実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 1日平均10トン程度の製缶作業を平均7名で製缶していたが、もずく洗浄機後は、製缶作業に1人増員できることから8名となり、これを換算すると約11トン程度、製缶が可能となる。それに伴い、生産性が向上し、生産体制の効率化が図られる。また、手作業で洗浄した場合は不安定であった衛生管理のムラがなくなり、衛生管理が促進される。

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			優良雌牛導入事業	H26 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛を導入する畜産農家または優良繁殖雌牛を導入し農家へ貸付を行う団体に対し、導入に係る経費の支援を行う。	R3導入目標:50頭	導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:105%以上	【今後のスケジュール】 今後は優良雌牛導入牛から生まれた子牛の一部を母牛候補として積極的に保留する取り組みを実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			水産物加工場機能強化事業	R3	水産物加工品が安定生産、安定供給できる体制を整え、出荷量の増加を図るため、水産物加工処理施設の生産機能強化への支援を行う。	加工機械の整備 ・真空包装機 ・急速冷凍機 ・高速脱水機 ・アーサ洗浄前ほぐし機 ・レトルト釜 ・専用運搬保冷コンテナ ・冷凍ショーケース	水産物加工処理施設で製品化された水産物の出荷量及び直売実績 130,000kg以上/年 直売予想 500千円	【今後のスケジュール】 整備した加工機械を活用し、水産物加工品の安定生産、安定供給により、水産物の出荷量及び加工販売の増加を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 出荷量の実績及び漁協の販売計画を勘案して設定した。
1			久米島町循環型農業促進事業	H25 ～ R3	地域資源を活用した循環型農業の構築を促進するため、堆肥センターの生産ラインの機能強化を行う。	・堆肥袋積み付け機整備 ・堆肥ふるい分機整備 ・ホイルロード整備 ・堆肥集積置場測量設計 ・堆肥集積置場造成工事	袋詰め堆肥出荷量 17,000袋以上/年	【今後のスケジュール】 機能強化により袋詰め堆肥の安定供給を確立後、島外出荷を含めて販路を拡大する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			冷蔵コンテナ導入事業	R3	島の農産物が気温に左右されず安定して供給できる体制を構築するため、冷蔵コンテナを導入し、出荷体制機能強化を図る。	冷蔵コンテナ導入完了 電気工事完了	冷蔵コンテナ導入完了 電気工事完了	【今後のスケジュール】 冷蔵コンテナを活用し生産額の増加を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 R3年度に導入し、R4年供用開始とする。 【R4成果目標設定の考え方】 過去の生産額実績を勘案して設定した。
2			久米島紬販売促進事業	H24 ～ R3	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、久米島紬事業協同組合が実施する販促活動を支援する。	物産展等への出展 呉服店(問屋)へのセールス 新商品開発(10反)	久米島紬及び関連商品の年間売上高 反物売上額 6,300万円以上 小物売上額 1,200万円以上	【今後のスケジュール】 これまで開発した商品を活用し、久米島紬に係る商品の売上増加に繋げる。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			久米島特産品販路開拓事業	H25 ~ R3	島の特産品の売上増加を図るため、久米島商工会が行う特産品の販促活動やPR活動へ支援を行う。	県内外での物産展開催、出展(5回) 県外でのビジネスマッチング(1回)	・開催、出展した物産展における島特産品の販売額:3,550万円以上 ・ビジネスマッチングによる新規取引総数:5件	【今後のスケジュール】 これまで獲得した取引先および販路を活用し、継続的に島の特産品の売上増加を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			地域型就業意識向上支援事業	H30 ~ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。	・ジョブシャドウイング(小) ・インターンシップ(高) ・職場体験(中) ・職業人講話(小高) ・教員向けキャリア教育研修 ・グッジョブ連携協議会の開催 ・追跡調査の実施	各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、「職業に対して『良いイメージ』と回答した割合(90%以上)」により本事業の効果を検証する。	【今後のスケジュール】 これまで蓄積してきたキャリア育成に係るノウハウを活用し、継続的に児童生徒の就業意識の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 大多数の児童生徒の就業意識が向上したと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
3			観光誘客促進事業	H26 ~ R3	観光地としての知名度向上を図るため、「久米島観光の日」イベントの開催や県内外のイベントでのPR活動を行う。また、観光客の利便性を確保するため、久米島空港内に観光案内所を設置する。	・観光広報活動(「久米島観光の日」イベント開催、県内イベント参加4件、県外イベント参加1件) ・久米島空港観光案内業務	島外でのイベント来場者にアンケートを実施し、久米島に「いま訪れたい」と回答した割合80%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 来島した観光客へアンケートを実施し、観光案内所があることで利便性が確保されていると回答した割合80%以上を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 第二次久米島観光振興計画に基づく観光入域数の目標達成に向けて、観光振興施策を実施する。 【目標】 ・R3 122,000人 ・R4 126,000人	【R3成果目標設定の考え方】 アンケート対象者の大多数にとって利便性が確保された、観光地として認知されたと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。
3			体験交流型観光商品開発販売促進事業	H26 ~ R3	観光関連商品の売上増加を図るため、観光体験プログラムの販売促進及び民泊受入体制の整備・強化を行う。	・観光体験プログラムの販売促進 ・民泊受入体制の整備、強化	観光体験プログラム売上額 14,035,802円以上	【今後のスケジュール】 今後も体験プログラムの質の向上や人材育成に取組み、観光関連商品の売り上げ増加を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			航空運賃コスト負担軽減事業	H30 ~ R3	久米島へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補填する。	交流人口を対象とした航空運賃割引の実施	久米島町への観光入域者数:122,000人以上	【今後のスケジュール】 ・第二次観光振興基本計画に基づき、入域観光客数の増加を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 久米島町観光振興基本計画に基づき設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業番号 パ 細	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
					R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			久米島観光プロモーション	H26 ~ R3	久米島町の観光誘客を図るため、プロモーションに効果的な戦略を構築し、国内外へプロモーションを実施する。	・国内向けプロモーション ・国外向けプロモーション	久米島町への観光入域数：122,000人以上	【今後のスケジュール】 ・第二次観光振興基本計画に基づき、入域観光客数の増加と観光消費額の増加を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 久米島町観光振興基本計画に基づき設定した。
4			島外保育士確保対策事業	R3	待機児童の解消に必要な保育士の確保を図るため、島外からの保育士誘致等を行う。	島外保育士の渡航費、転居費の支援	保育所等利用待機児童数調査における待機児童数 0人/R4.4.1時点	【今後のスケジュール】 今後も保育士誘致に取り組み、待機児童の解消に必要な保育士の確保を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
5			文化遺産保存活用事業	H24 ~ R3	地域の歴史文化の継承を図るため、古文書の修復及び翻刻並びに口語訳を行う。	・古文書修復 件数：229件 ・翻刻・口語訳 件数：30件 ・修復資料速報展示を行う	・修復を行った古文書の利用件数 120件以上 ・調査利用者 5名以上 ・修復資料の見学者数 6319人以上	【今後のスケジュール】 今後は、修復した資料を積極的に展示会及び研究紀要等において公開し、併せて研究者への調査利用も積極的に受け入れ、得られた調査成果の公開も行っていく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6			英語指導員配置事業	H24 ~ R3	小学生の英語への興味・関心を高めるため、小学校に英語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。	英語指導員を配置し、外国語授業等での支援実施	管内6小学校の児童が英語に対する興味・関心が高まったか(85%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、英語指導員を配置し、外国語授業等の支援に取り組むことで、小学生の英語への興味関心を高める。	【R3成果目標設定の考え方】 ・対象児童の大多数が興味・関心が高まったと考えられる数値として設定した。
6			基礎学力向上学習支援員配置事業	H26 ~ R3	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う。	基礎学力学習支援員を配置し、学習支援を実施	・沖縄県達成度調査において、国語・算数で 小学生(5年生・6年生) 県平均+2点以上	【今後のスケジュール】 今後も、学習未定着児を対象とし個々の習熟に応じた学習支援に取り組み、児童の学力向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
6			特別支援教育支援員配置事業	H26 ~ R3	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を各学校に配置する。	特別支援教育支援員を配置し、必要とする児童生徒の支援を行う。	・特別支援教育支援員の対応への満足度(85%以上)を含め、対象児童生徒の保護者へのアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も、困難を抱える児童生徒に対して支援を行い、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

久米島町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
6		児童・生徒各種大会派遣支援事業	H27 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を確保し、生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会・コンクールへ参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う。	中学校の課外学習である久米島町外開催の各種大会等への渡航費用等への補助金支給。	派遣によって生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も各種大会派遣における渡航費等を補助することで島外の人との競争や交流の機会を確保し、生徒に広い視野を持たせる。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者児童・生徒の大多数が広い視野を持ってたと考えられる数値として設定した。また、アンケートにより本事業のあり方について検証する。

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	八重瀬町外国語指導強化事業	H24～R3	小中学校の発達過程に応じ、外国文化への興味関心や英語能力を高め、国際化社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、英語指導助手を配置する。	英語指導助手：5人配置 小学校4校：3人配置(分担) 中学校2校：2人配置	小学校 英語に対する興味・関心が高まった(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 中学校 沖縄県学力到達度調査(英語)における、県と本町との平均正答率の差+1.0以上	【今後のスケジュール】 小中学校全ての児童生徒に外国語にふれ合う機会を与えることにより、コミュニケーション能力の定着を図り、国際社会で活躍できる人材を育成する。	【R3成果目標設定の考え方】 小学校については、児童のうち大多数が英語に対する興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 中学校については、過去の実績を勘案して設定した。	
1	八重瀬町ICT支援員配置事業	H24～R3	児童生徒の情報機器操作能力や情報活用能力の向上を図るための支援を行い、教員による電子黒板などのICT機器を活用した分かりやすい授業が展開ができるよう支援を行うため、小中学校にICT支援員を配置する。	ICT支援員：2人配置 小学校4校・中学校2校：2人配置(分担)	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ICT支援員の配置を継続し、児童生徒の情報機器の操作能力や情報活用能力の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち、大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	八重瀬町学力向上支援事業	H25～R3	学習の遅れがちな児童生徒へ授業中や放課後学習の支援を行い、基礎基本の学力を定着させ学力の向上を図るため、小中学校へ学習支援員を配置する。	学習支援員：6人配置 小学校4校：4人配置 中学校2校：2人配置	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。 沖縄県学力到達度調査における、県と本町との平均正答率の差 小学校(国語・算数) -0.1ポイント以上 中学校(国語・数学) 平均以上	【今後のスケジュール】 学習支援員の配置を継続し、学習意欲の向上を図るとともに、基礎学力の定着・理解力等の向上を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
1	八重瀬町特別支援員配置事業	H27～R3	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を配置する。	特別支援員：19人配置 幼稚園4園：9人配置 小学校4校：8人配置 中学校2校：2人配置	対象となる幼児児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 特別支援員の配置を継続し、特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象となる児童生徒の保護者のうち、大多数が特別支援員の対応に満足したと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	ICT教育強化事業	H26 ～ R3	町内小中学校にICT機器を整備する。 GIGAスクール構想の実現に向けて、校内ネットワークへの接続や学習用端末と連携が可能な電子黒板を新規で導入し、主体的な学びの意欲向上及び学びの深化を図る。	ICT機器の整備 【新規】 ・電子黒板60台 ・電子黒板用PC60台	・町内小中学校の全教室へ電子黒板及びパソコンを導入する。また、中学校に整備されている電子黒板は、校内ネットワークとの接続に対応していないため、一部の教室へ校内ネットワークとの接続可能な電子黒板等の整備を進める。 (R3年度の目標値:100%) ・児童生徒へのアンケートにより、ICT機器を活用した授業が分かりやすかった(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 ICT機器を活用した授業を実施する中で、児童生徒の授業に対する興味・集中力を高めるとともに、情報活用能力の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 児童生徒のうち、大多数にとってICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
2	八重瀬町観光地美化作業事業	H24 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光施設及びアクセス道路の美化作業を実施する。	観光地や施設及びアクセス道路の美化作業 観光地:13箇所 アクセス道路:45箇所	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続して美化清掃を行い、観光地としての魅力向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が観光地として、ふさわしい景観及び道路環境であると考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	港川フィッシャー遺跡整備事業	H24 ～ R3	港川人の出土地である「港川フィッシャー遺跡」の教育及び観光資源としての活用に向けて周辺整備を行う。	港川フィッシャー遺跡の整備実施	港川フィッシャー遺跡の整備完了	【R4成果目標】 観光客等の来訪者に対してアンケートを行い、魅力的な教育・観光資源としての活用が図られているか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。 【今後のスケジュール】 R1～R3 整備工事 R4 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 観光客等の来訪者のうち、大多数が魅力的な教育・観光資源としての活用が図られていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
2	運動公園施設等整備事業	H24 ～ R3	スポーツキャンプの誘致を図るため、運動施設の整備を行う。	・サッカー場プロ仕様芝生整備 ・東風平野球場の芝生用肥料及び資材等の購入	野球キャンプの受入れ 5件以上 サッカーキャンプの受入れ 4件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して運動施設の整備を行い、スポーツキャンプの誘致を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2		八重瀬町サッカーキャンプ事業	H26 ～ R3	本町でキャンプを行うチームとの事前受入調整を行いキャンプ受入時に必要なものを揃えることで、キャンプの誘致を行う。また、チームの集客力を活かした誘客と来場者が町内周遊できる仕組みづくりを実施する。	・プロサッカーチームのキャンプ誘致 ・観光客を誘客し、周遊・消費を促す。	サッカーキャンプチーム4チーム誘致 周遊ツールを活用し、150万円の消費を促す。	【今後のスケジュール】 キャンプチームの定着を図り、誘客のプロモーションを強化する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2		八重瀬町イベント事業	H24 ～ R3	町の観光資源である桜を活用して観光客の誘致を図るため、桜まつりへの支援を行う。	・やえせ桜まつり開催支援	・桜まつりの来場者数 7,400人以上	【今後のスケジュール】 地域資源を活用したイベントの開催支援を行い観光客の誘致を図る。また、実施体制・内容の検証、イベント内容の見直しを行い、さらなる観光客の誘致や伝統芸能の継承につながる取り組みを実施する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3		八重瀬町観光プロモーション事業	H26 ～ R3	町内への観光誘客のため、観光プロモーションを実施する。	・プロモーション企画実施 6回以上 ・SNS等による情報発信 100回以上	主要観光施設の入域客数 107,000人以上	【今後のスケジュール】 今後も八重瀬町観光拠点施設を中心とした誘客プロモーションを継続し、観光キャラクターや地域資源を活用した観光PRを実施することにより、観光地としての認知度向上及び八重瀬町観光ブランドの構築を図る。	【R3成果目標の設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4		八重瀬町和牛改良支援事業	H31 ～ R3	農家の経営安定化に向けて、子牛のブランド化を推進するため優良母牛導入の支援を行う。	優良母牛導入頭数：20頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して県内外の優良母牛の導入を行うことで、価値の高い子牛を生産し、町のブランド牛としての確立を図っていく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4		乳用牛改良支援事業	H29 ～ R3	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付ける者に対し支援を行う。	優良乳用牛導入頭数：24頭	生産乳量：4,469,000kg以上 乳質(脂肪率)：3.9%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して優良乳用牛の導入を行うことで、生産乳量の増加、乳質の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
5	「夢・未来」スポーツレベルアップ事業	H27 ～ R3	八重瀬町民のスポーツへの意識を高めるとともに、沖縄県及び全国レベルの各種競技大会での八重瀬町出身選手の活躍を支援する。	サッカー・バレーボールクリニックの開催 児童生徒の県外派遣費の助成	スポーツ教室へ参加した児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒のスポーツへの意識が更に高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 派遣された児童生徒の保護者へのアンケートで、児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続してトップアスリートによるスポーツ教室を開催し、児童生徒のスポーツへの意識を高める。また、県外で実施される各種大会参加への支援を行い、児童生徒に広い視野を持たせる。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち、大多数がスポーツへの意識が更に高まった又は広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
6	運動公園省エネ化推進事業	H28 ～ R3	運動公園の既存照明をLED化することにより、二酸化炭素と消費電力を削減し、地球温暖化の防止を図るため運動公園の省エネ化の推進を図る。	具志頭多目的広場及びトイレ等の資材単価調査、LED照明設置	具志頭運動公園の1ヶ月あたりの二酸化炭素排出削減量4.1t/月	【今後のスケジュール】 公共施設のLED化を町民へ周知することにより、環境に対する意識の向上を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 二酸化炭素排出量を勘案して設定した。	
7	若い世代からの健康づくり推進事業	R1 ～ R3	健康相談や育児教室等の保健事業にて実物大のフードモデル(食育SATシステム:体験型栄養教育システム)を活用し、事業参加者の食に対する意識や健康観の向上を図る。	食育SATシステムを活用した理解しやすい事業の展開	各種事業参加者の食に対する意識や健康観の向上(80%以上)を含め、アンケートにより当該事業のあり方について検証する	【今後のスケジュール】 アンケート調査による事業の検証を行い、継続的にSAT(体験型栄養教室システム)を各保健事業にて有効に活用し、沖縄県や町の現状を伝え、食や健康に関する意識を高め、生活習慣病の予防を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 参加者のうち大多数が食に対する意識や健康観の向上が図られたと考えられる値として設定した。また本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
7	具志頭運動公園健康増進機能強化事業	R2 ～ R4	地域住民や利用者の健康増進を図るため、公認パークゴルフ場やウォーキングコース等を整備する。	・施設整備(健康増進分)の実施 ・監理業務(健康増進分)の実施 ・パークゴルフ場整備工事の実施 ・物件補償の実施	・施設整備(健康増進分)の完了 ・監理業務(健康増進分)の完了 ・パークゴルフ場整備工事の実施 ・物件補償の完了	【R5成果目標】 ・年間利用客数6千人の増加 ・生涯スポーツに対する意識や健康観の向上が図られたか(80%以上)を含め、利用者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 【今後のスケジュール】 R3: 整備工事実施、物件補償の完了、備品購入の完了 R4: 整備工事の完了 R5: 供用開始	【R5成果目標設定の考え方】 ・平成29年度に策定された具志頭地区観光スポーツ活性化基本計画にて示された数値等を参考に設定した。 ・対象者のうち大多数が生涯スポーツに対する意識や健康観の向上が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

八重瀬町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
8		輸入感染症対策推進事業	R2 ~ R3	近年沖縄県内において、外国からの観光客が急増しており、麻しん及び風しんの感染拡大が懸念されることから、予防接種事業をさらに強化することにより、感染症の蔓延防止を図る。	・麻しん及び風しん予防接種の実施(接種率95%以上)	外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数 0件	【今後のスケジュール】 流行による感染拡大が起こらないよう、引き続き対象者への接種勧奨を積極的に実施していく。	【R3成果目標設定の考え方】 感染拡大を防止するために必要な接種率は95%以上であることから、目標値として設定した。

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	美化緑化推進事業	H25 ～ R3	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行う。	公園9ヵ所の美化・緑化を実施し、観光客等が気持ちよく利用できるように取り組む。	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、本事業のあり方についてアンケート調査により検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に観光関連施設及びアクセス道路の美化・緑化を行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 来村者のうち大多数が観光地としてふさわしい景観及び道路環境と感じていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
1	「たらま島一周マラソン大会」磨き上げ事業	R3	多良間村への観光誘客を図るため、既存の観光コンテンツとなる「たらま島一周マラソン大会」のイベント実施内容磨き上げを行う。島民の事業への参加も促し、島民全体で創り上げる事で、一過性ではなく持続的な誘客が可能なイベントへ磨き上げを図る。	『ヤギに出会える“演出”』など、多良間ならではのブランディング確立 大会期間中に使用可能な『地域通貨』を発行。地域全体の波及効果を創出 アフターパーティにて『島民による手作りマルシェ』を実施。特産や島民の手作り料理販売 コロナ対策イベントマニュアル作成	一周マラソン大会 島外参加者数：200名	【今後のスケジュール】 今後も「たらま島一周マラソン大会」を起点に観光誘客を図る。また、コロナ対策イベントマニュアルを活用し、島内イベント運営に活かす。	【R3成果目標設定の考え方】 過去3年間の平均を上回る値として設定した。 イベント参加者数 【実績】 平成30年度：329人（うち島外参加者176名）	
1	多良間村の自然を活用した観光コンテンツ開発事業	R3	1人当たりの村民所得が県内でも低位にある多良間村において、滞在型観光を推進し、誘客促進及び島内消費額の増加を図るため、地理的特性や地域資源を生かした、体験型観光コンテンツを開発する。	・コンテンツ開発 2つ ・ガイド育成 3名	・コンテンツ開発 2つの完了 ・ガイド育成 3名の完了	【R4成果目標】 開発されたコンテンツ(商品)を活用しての観光来島者 240名 【今後のスケジュール】 体験型プログラムの開発や人材育成を行い、観光客の1人当たり消費額の増加につなげ、本村観光の振興を図り、村民所得の向上に繋げることで、沖縄振興に寄与する。	【R4成果目標設定の考え方】 今年度育成されたガイドが、今年度開発されたコンテンツプログラムを活用した来島者(観光客)を受け入れることにより、観光関連所得の向上を図ることができる。	
2	優良繁殖雌牛導入支援事業	H27 ～ R3	生産農家の経営の安定化及び良質な肉用牛の改良推進を図る為、優良繁殖雌牛導入を支援する。	優良繁殖雌牛の導入頭数：20頭	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 115.3%以上	【今後のスケジュール】 H29～R3の5年間で107頭の優良繁殖雌牛の導入計画達成に向けて推進していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	児童生徒島外教育諸活動助成事業	H27 ～ R3	島外の人と競争や交流する機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、本村の児童生徒がスポーツ、文化活動において、島外へ派遣される際の渡航費を支援する。	児童生徒の島外派遣に係る渡航支援	派遣された児童・生徒及び教諭、保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒が広い視野を持つことを目標に大会派遣への支援を行う	【R3成果目標設定の考え方】 派遣対象児童生徒のうち大多数が広い視野を持たせたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを記載している。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	学力向上推進ALT活用事業	H27 ~ R3	児童生徒の英語学習意欲や英語学力の向上を図るため、ALTを招聘する。	ALT招聘・年間20回	小学校 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、対象児童へのアンケート調査により当該事業のあり方を検証する。 中学校 英検4級の保有割合:35%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にALTを活用し、国際化社会に対応できる国際感覚を養いながら児童生徒の学力の向上を図る。	【R3 成果目標設定の考え方】 (小学生) 対象児童のうち大多数が英語に対する興味関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 (中学生) 過去の実績を勘案して設定した。	
3	村営学習塾開設事業	H28 ~ R3	児童生徒の学力の向上を図るため、村営学習塾を開講し、国語・算数(数学)・英語を中心とした学習支援を対面で実施する。また、社会情勢を鑑みたくて臨機応変に対応できるように、オンライン方式での支援も視野に入れ実施する。	村営学習塾の開設	沖縄県学力到達度調査における、県と本村学習塾受講生との平均正答率の差 ・小学校(国語・算数) -4.5ポイント以上 ・中学校(国語・数学・英語) -5.0ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も社会情勢に合わせた方法(オンライン)も取り入れながら継続的に村営学習塾を開設し、学習支援員(2名)を配置することにより、効果的に学習できる環境を整え、学校外学習支援を強化することで、児童生徒の学力向上を図る。	【R3 成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
3	多良間村就業意識向上支援事業	H30 ~ R3	児童生徒の就業意識の向上を図るため、職業体験等のキャリア教育を行う。	・沖縄本島へ小学6年生(14名)、引率者(5名) ・宮古島市へ中学1年生(15名)、引率者(5名) ・沖縄本島へ中学2年生(8名)、引率者(5名)	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も社会情勢に合わせた方法(オンライン)も取り入れながら、継続的にキャリア教育を行い、児童生徒の就業意識の向上を図る。	【R3 成果目標設定の考え方】 対象児童のうち大多数の就業意識が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	多良間村自然文化継承事業	H30 ~ R3	多良間村の歴史・文化・自然の継承及びこれらを活用した観光誘客を図るため、ふるさと民俗学習館の郷土資料の修復や自然環境の調査等を行い、資料を整理する。	・郷土資料等の修復、公開及びシンポジウム開催 ・自然図鑑の制作発行	ふるさと民俗学習館の村民利用者数 178人以上 ふるさと民俗学習館の観光客利用者数 622人以上 シンポジウム来場者数 50人以上	【今後のスケジュール】 R3年度 修復電子化・現代語訳・WEB公開システム作成・資料の翻刻・解説版の出版・企画展等	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	多良間村自動車航送負担コスト軽減事業	H27 ~ R3	村民が島外へ移動しやすい環境を構築することで、小規模離島における定住環境の改善を図るため、村民の自動車航送に係る運賃の一部を補助する。	宮古島 多良間島間の自動車航送運賃の補助	運賃補助によって島外へ移動しやすい環境となっているか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 自動車航送コストの負担軽減により、離島の地理的条件の不利性を軽減し定住環境の改善に繋げる。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって宮古島へ移動しやすい環境となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

多良間村		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考		
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		R3成果目標(指標)	今後の展開方針等	補足説明等
5		多良間村心身障害児等渡航費助成事業	R3	本村では対応できない心身障害児及び療育児等が、島外専門医療機関に通院する際の旅費を助成する。	対象者の申請に対し助成金交付する	渡航費支援が必要な児童への支援率：100%	【今後のスケジュール】 今後も障害児及び療育支援を必要とする幼児、児童保護者の経済的負担を軽減する為に旅費助成を引き続き行う。	【R3成果目標設定の考え方】 障害者(児)アンケートで旅費支援のニーズが多かった。医療、福祉、教育の現場から療育支援の必要な児童に関する情報を参考に設定した。 1件あたりの金額は難病患者等の渡航費助成制度と同じ同額で設定した。 宿泊費は他の離島村を参考にした。	
6		多良間村トゥブリ道整備事業	R3	トゥブリ道を整備して、多良間島の青い海を村民はもとより観光客の親水の場として活用し、観光振興に繋げる。また、トゥブリ名の標柱を設置し貴重な生活文化の遺産として残し、児童生徒の郷土学習の場とする。	測量設計業務 整備工事 標柱設置	測量設計、整備工事及び標柱設置業務の完了	【R4成果目標】 多良間を訪れる観光客数：10,825人 住民へアンケートを行い、「多良間村の歴史・文化への理解が深まった(80%)」について、事業の効果を検証する。	【R4成果目標設定の考え方】 多良間を訪れる観光客数については、「多良間村観光振興計画(H28)」にも規定されている観光施策の一つとしてトゥブリ道を整備するため、同計画で設定した観光客数を成果目標とした。 観光客数：10,825人(R4) 本事業の目的「歴史・文化の継承」を図るため、住民に対し「歴史・文化への理解が深まったか」どうかを含めてアンケートを行うことにより、事業の効果を検証する。 目標値については、住民の大多数が歴史・文化への理解が深まったと考えられる値(80%)とした。	

R3活動目標(指標)：令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたもの。

R3成果目標(指標)：令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	西表東部公園整備事業	H29 ~ R3	西表東部地区に公園を整備し、地域住民の福祉向上を図る。	公園整備工事、補足設計業務の実施	施設利用者満足度(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。	<p>【R4成果目標】 施設利用者満足度(80%)を含め、当該施設のあり方をアンケートで検証する。</p> <p>【今後のスケジュール】 H29 基本設計 H30 実施設計 R1~R2 整備工事(造成、遊具等) R3 一部供用開始、整備工事(園路等) R4 全域供用開始</p>	<p>【R4成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が施設に満足していると考えられる値として設定した。また、当該施設のあり方について、アンケート調査により検証する。</p>	
1	健康診査用機材搬送事業	H26 ~ R3	<p>島嶼地域において健康診査を受けられる機会を確保し、健康診査の受診促進を図るため、検診に必要な検診車両を各島へ海上輸送する。</p>	<p>集団検診時に検診車両を輸送</p> <p>年3回×5島6地区=18回</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診、健康診断 胃がん検診 婦人がん検診 <p>石垣発 竹富島 黒島 小浜島 波照間島 西表島(上原) 西表島(大原)</p>	<p>特定健診対象者の受診率 60%以上</p> <p>胃がん検診対象者の受診率 8.7%以上</p> <p>婦人がん(子宮頸がん)検診対象者の受診率 18.8%以上</p>	<p>【今後のスケジュール】 令和3年度の各種健診実施について、早期にスケジュールの確定を行い、各種お知らせ、広報誌、インターネット、SNSを通じて広く告知をし、成果目標の達成を図る。</p> <p>また、胃がん検診については特定健診と同時実施予定の為、受診率の向上を図る。</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 国が定めている特定健診受診率の目標値及び過去の実績を参考に設定した。</p>	
1	竹富町民等船賃負担軽減事業	H27 ~ R3	町民が島嶼間を移動しやすい環境を整備し、生活の利便性を確保するため、町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。	町民等が町内各地点及び石垣市間を移動する際の船賃の一部を補助する。	本事業について、利用者へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	<p>【今後のスケジュール】 運賃補助による利便性確保状況を検証しながら、より効率的・効果的で持続可能な住民の利便性確保策を検討する。</p>	<p>【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が利便性の確保が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。</p>	

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			複合型福祉施設整備事業	H27 ~ R3	保護者の育児負担の軽減、児童の就学前教育機会の確保及び高齢者の健康増進を図るため、保育所、幼稚園及び高齢者の交流施設の各機能を含んだ複合型福祉施設を整備する。	【小浜】 ・建築設備工事の実施(造成工事、建築設備工事、工事監理、備品整備) 【竹富】 ・建築設備工事の実施(建築設備工事、工事監理、備品整備) 【西表東部】 ・外構(駐車場)工事の実施	【小浜】 ・建築設備工事の完了(造成工事、建築設備工事、工事監理) 【竹富】 ・建築設備工事の完了(建築設備工事、工事監理) 【西表東部】 ・外構(駐車場)工事の完了	【R4成果目標】 (保育所機能) 本事業について、保護者へアンケートを行い、育児負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 (幼稚園機能) 本事業について、幼稚園機能利用児の保護者へアンケートを行い、児童の教育機会が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 (高齢者交流機能) 介護認定率20%以下 【今後のスケジュール】 ○R3年度 ・竹富建設工事 ・小浜建設工事 ・西表東部外構工事 ○R4年度 ・竹富供用開始 ・小浜供用開始 ・東部供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 (保育所及び幼稚園機能) 利用児の保護者のうち大多数が「育児負担が軽減された」、「教育機会が確保された」と考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 (高齢者交流機能) 過去の介護認定率の実績を勘案して設定した。
2			竹富町観光誘客・受入対策事業	H24 ~ R3	滞在型・着地型観光を推進し、観光客の満足度の確保を図るため、竹富町観光に関する情報発信や受入体制強化を行う。	・観光関連イベントに出展PR ・自然・文化を活用した観光案内を行う人材の育成 ・町内での消費を促すポイントカードシステムの運用・島内で消費喚起をする観光メニューの創出	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、「非常に満足」(5段階評価の最高評価)と回答した割合(60%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 満足度調査を継続的に実施しながら取組の効果を検証し、将来的には観光消費額の目標値を設定して持続可能な観光振興に取り組む。	【R3成果目標設定の考え方】 半数以上の観光客が5段階評価の最高評価をつけることを目標に設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2			竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	R2 ~ R3	竹富町の自然・歴史・文化の継承及びそれらを活用した観光客の満足度向上と、住民の学習機能と観光交流機能を有する複合施設を整備する。	基本計画の策定	基本計画策定の完了	【R4成果目標】 策定する基本計画の中で、来館者数等、文化振興及び観光交流に係る目標値を設定し、当該数値の達成に向けた整備につなげる。 【今後のスケジュール】 R3 基本計画策定 R4 基本設計 R5 実施設計	【R4成果目標設定の考え方】 当該計画で設定した目標値の達成に向けた整備事業を実施していくことを成果目標として設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

竹富町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
3	児童生徒等派遣費補助事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、児童生徒がスポーツ、文化活動で島外へ派遣される際の渡航費を補助する。	派遣費補助児童生徒人数 600名/年度	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に児童生徒に広い視野を持たせる事を目標に大会派遣への支援を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 派遣された児童生徒のうち大多数が広い視野を持てたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
3	外国語指導助手派遣事業	H27 ～ R3	幼稚園児及び小学児童の外国語への興味・関心を高めるため、小学校と幼稚園に英語指導助手を派遣し、外国語学習のサポートを行う。	英語ネイティブの外国語指導助手を町内幼稚園・小学校に派遣 150回/年度	幼児児童の外国語への興味・関心が高かったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 幼児児童は年度ごとに年次があがっていき、新入園入学・卒園卒業もあるため、継続して取り組む必要がある。各幼稚園・学校教諭へ担当者が日本語でヒアリングを行い、改善点を見つけてより良い体制をつくっていく。	【R3成果目標設定の考え方】 授業を受けた幼児児童のうち大多数が外国語への興味関心が高まったと考えられる数値として設定した。また、本事業のあり方についてアンケートにより検証する。	
4	竹富町和牛生産推進事業	H24 ～ R3	町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、農家が優良繁殖雌牛を導入する際の導入費用を支援する。また、離島港湾入口に靴底消毒用マットを設置する。	・優良母牛導入支援 ・離島港湾靴底消毒用マット設置6箇所(竹富、小浜、黒島、波照間、西表大原・上原)	導入した優良母牛から産れた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 110.8%以上	【今後のスケジュール】 発育能力の高い優良繁殖雌牛の導入を継続して支援し、母牛から産まれた子牛の平均価格の向上を目指す。	【R3成果目標】 過去の実績を勘案して設定した。	
4	文化財美化保全事業	H24 ～ R3	観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光スポットとして観光客が訪れる文化財等の美化保全(除草・清掃)を行う。	美化保全(除草・清掃)業務の実施	事業対象の文化財について、観光スポットにふさわしい景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 美化保全を引き続き実施しながら文化財巡視や観光コース化等、文化財の活用を図る	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数にとって観光地としてふさわしい景観となっていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。	
4	竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	H24 ～ R3	イリオモテヤマネコの生息環境を保護するため、逸失した飼い猫等によるイリオモテヤマネコへの病気感染等を防ぐ。	ペット適正飼養推進協議会の取組 逸失ペットの保護収容 保護収容個体・傷病鳥獣への対応(獣医師の常駐) 適正飼養の普及啓発 逸失ペットの生息状況確認調査 竹富町猫飼養条例の周知	逸失ペットの保護収容個体を11頭以内。 特定の感染症に新たに感染する個体の件数0件	【今後のスケジュール】 西表島における全ての猫が責任を持って適正に飼養できる飼い主の元で飼養される状態を達成し、さらにこれを維持することによって、イリオモテヤマネコをはじめとする自然環境へ悪影響を与えない島の環境を実現したい。さらに、今後はねこ以外のペットについても、その頭数は少ないが、適正に飼養される環境づくりを目指したい。その目標を実現するために、改正竹富町猫飼養条例に基づく取り組みを強化していく。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。	

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1			与那国島特産品アピール力強化事業	H25 ~ R3	与那国島産品の売上増加を図るため、商工会等が実施する物産展出展や特産品の商品力及び販売力強化の取組を支援する。	講習会の開催、特産品の県内及び県外の物産展への出展 講習会4回 県内出展1回、県外出展1回	全体参加の物産展ごとの売上1,700千円以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して物産展への出展を支援し、与那国島産品の売上増加を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
1			誘客促進活性化事業	H30 ~ R3	県内外へのプロモーション、観光パンフレット作成、トップセールス及び観光意識調査を行うことで、観光誘客に繋げる。	・与那国島観光物産・伝統芸能フェアの開催 ・トップセールスによる空路開拓、商品造成 ・PRツール作成 ・既存事業の内容充実とPR強化 ・観光客意識調査や市場調査等による情報収集と分析	・観光物産・伝統芸能フェア来場者数延べ5,000人以上 ・航空機チャーター便による来島者数1,750人以上 ・クルーズ船による来島者数600人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して県内外へのプロモーションを実施し、観光誘客を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 類似事業の過去の実績等を勘案して設定した。
1			与那国民謡の文化継承事業	R3	地域資源としての価値が埋もれつつある与那国島の民謡について、その価値や魅力を保存・継承する。	・解説板設置工事完了(3基) ・講習会・民謡発祥地巡りの実施(1回)	講習会受講者へアンケートを行い、「与那国島の歴史・文化への理解が深まったか(80%)」について、事業の効果を検証する。	【今後のスケジュール】 今後は継続して解説板を活用した教育プログラムを実施し、郷土に誇りを持ち、将来の地域を担う人材の育成を図る。また、解説板を活用した観光振興について、担当部局へ提案していく。	【R3成果目標設定の考え方】 参加者のうち大多数が理解に役立ったと考えられる数値として設定した。また、本事業の在り方について、アンケートにより検証する。
2			優良牛繁殖雌牛導入事業	H25 ~ R3	農家の経営の安定化に向けて、町内の繁殖農家が生産する子牛の品質及び価格を向上させるため、優良繁殖雌牛導入を支援する。	・優良母牛導入の支援:30頭	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 11.4%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して優良母牛導入の支援を行い、子牛のブランド化を推進することで農家の経営の安定化を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			農水産物輸送コスト負担軽減事業	H25 ~ R3	本町で生産または水揚げされた生鮮農水産物の販路確保を図るため、農水産業団体等が与那国町から沖縄本島への生鮮農水産物を出荷する際の輸送費の一部を補助する。	・生鮮水産物の空路輸送費支援の実施 ・農産物の空路輸送費支援の実施	・生鮮水産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:24.3% ・農産物:出荷量に占める沖縄本島への出荷割合:54.7%	【今後のスケジュール】 生鮮水産物及び農産物の出荷量に占める沖縄県内への出荷割合が、過去3年の平均値以上となることを目指し、島外への出荷量を増加させ、農水産業の活性化を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2			与那国町漁業担い手育成プラン実施事業	H26 ~ R3	漁業従事者の維持確保を図るため、漁業の担い手に漁船や漁業設備を貸し付ける団体に対し、漁船等の導入費用の一部を補助する。	・漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入支援の実施	・漁業従事者数の維持確保:38人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続して与那国町の漁業従事者団体による漁業設備の貸し付けに対して支援を行い、漁業従事者の維持確保を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
パ	細				R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3			家庭学習支援モデル事業	H24 ～ R3	学校外でも学びたい児童生徒の学習環境を整備し、学力向上を図るため、町営学習塾を開設し、児童生徒を対象に学習指導を行う。	町営学習塾において学習指導の実施	R3全国学力・学習状況調査(R4.4月実施予定)へ向けた学習指導の実施	【今後のスケジュール】 〔設定年度(R4年度)〕 全国学力・学習状況調査(毎年4月小6、中3実施)において、直近3年間(R3調査含む)の全国平均正答率と町平均正答率の差 【小学生】 国語:-1.0ポイント以上 算数:-0.8ポイント以上 【中学生】 国語:+1.6ポイント以上 数学:-1.9ポイント以上	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
3			教育諸活動助成事業	H24 ～ R3	島外の人との競争や交流の機会を確保し、児童生徒に広い視野を持たせるため、児童生徒がスポーツ、文化活動で島外へ派遣される際の渡航費を補助する。	派遣児童生徒数 小学校:延べ230名 中学校:延べ300名 参考:H30実績:延べ477名	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 今後も事業を継続し、教育環境の充実を図っていく。	【R2成果目標設定の考え方】 大多数の保護者が児童生徒の視野が広がったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
4			安心・安全のまちづくり支援	H25 ～ R3	教育時間終了後の幼稚園児等及び小学校低学年児童の安全な居場所を確保し、子育てに関する負担軽減を図るため、指導員を配置し預かり保育を行う。	・預かり保育の実施 ・お迎えバスの運行	子育てに対する負担感の軽減が感じられた(88%以上)を含め、利用児童の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	【今後のスケジュール】 今後は子育てに関する負担軽減のみならず、保育の質も高めていくこととする。	【R3目標設定理由】 利用児童の保護者のうち大多数にとって子育て負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
5	①		少子高齢化対策事業	H24 ～ R3	島内の妊産婦が良質かつ適切な医療を受ける機会を確保するため、妊産婦が島外の病院へ通院する際に必要な渡航費等の経費を補助する。	・妊産婦定期健診の実施 ・妊産婦一人当たり受診回:12回/人	・島外での妊婦健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合 100%	【今後のスケジュール】 島内の周産期医療体制が不十分であることを踏まえ、妊産婦が必要な医療を受けられるよう、引き続き支援を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 支援を必要とする妊産婦に対して漏れなく支援を行うことを目指す。
6			公共交通路線支援事業	H24 ～ R3	島内を移動しやすい環境を整え、島民及び来島者の利便性を確保するため、島内を巡回する無料路線バスを運行する。	公共交通路線バス運行費用への支援	島内移動の利便性が確保されているか(80%以上)を含め、島民及び来島者を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 生活路線バスの安定的な運営を維持し、島民及び来島者の利便性の確保を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 島民及び来島者のうち大多数にとって島内移動の利便性が確保されていると考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和3年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

与那国町		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			R3活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
6	与那国町国境交流結節点化推進事業	R1 ~ R4	1. 祖納港、久部良港の港湾使用手続きのためのサンプル申請書類等の作成 2. C・I・Q臨時設置手続き要件の整理、配置計画書の作成等 3. 船舶代理店との契約協議 4. 乗船・下船時の誘導路確保・導線計画および警備員配置計画 5. 海上保安庁手続きのためのサンプル必要書類作成 6. 船舶調達のための調査 7. 港湾区域等衛生管理調査実施計画の作成 8. 令和4年度以降の社会実験実施計画書の作成 9. C・I・Q合同会議の運営支援、打合せ協議等、取り纏め報告書作成	姉妹都市である花蓮市(台湾)とのチャーター高速船(または超高速船)就航事業を「社会実験」として令和4年度実施するため、令和2年度で作成した「国際船舶就航事業の各種実施手順」を基に次年度以降の実証実験が円滑に進むための各種の手続き等に着手する。そして、事業PRを通して本町の活性化に向けての礎とする。	(1)令和3年度 与那国町国境交流結節点化推進事業報告書(全体版) (2)令和3年度 与那国町国境交流結節点化推進事業報告書(概要版) (3)模擬手続書(手続サンプル集) (4)港湾区域等衛生管理調査実施計画書(案)	【令和4年度】 実証実験参加人数、日本側から一航海150人 【令和9年度以降】 与那国-台湾間の就航により交流人口が5,000人増加(R9年)	与那国-台湾から合わせて年間5千人程度の利用がみこまれる。 (週2回の往復で平均50人の乗船を仮定した場合)	

R3活動目標(指標): 令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものを。

R3成果目標(指標): 令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。